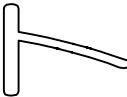
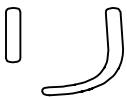
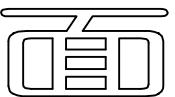
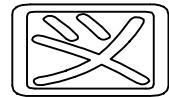


# 令和元年度 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業 武田畜産 牛舎等 新築工事

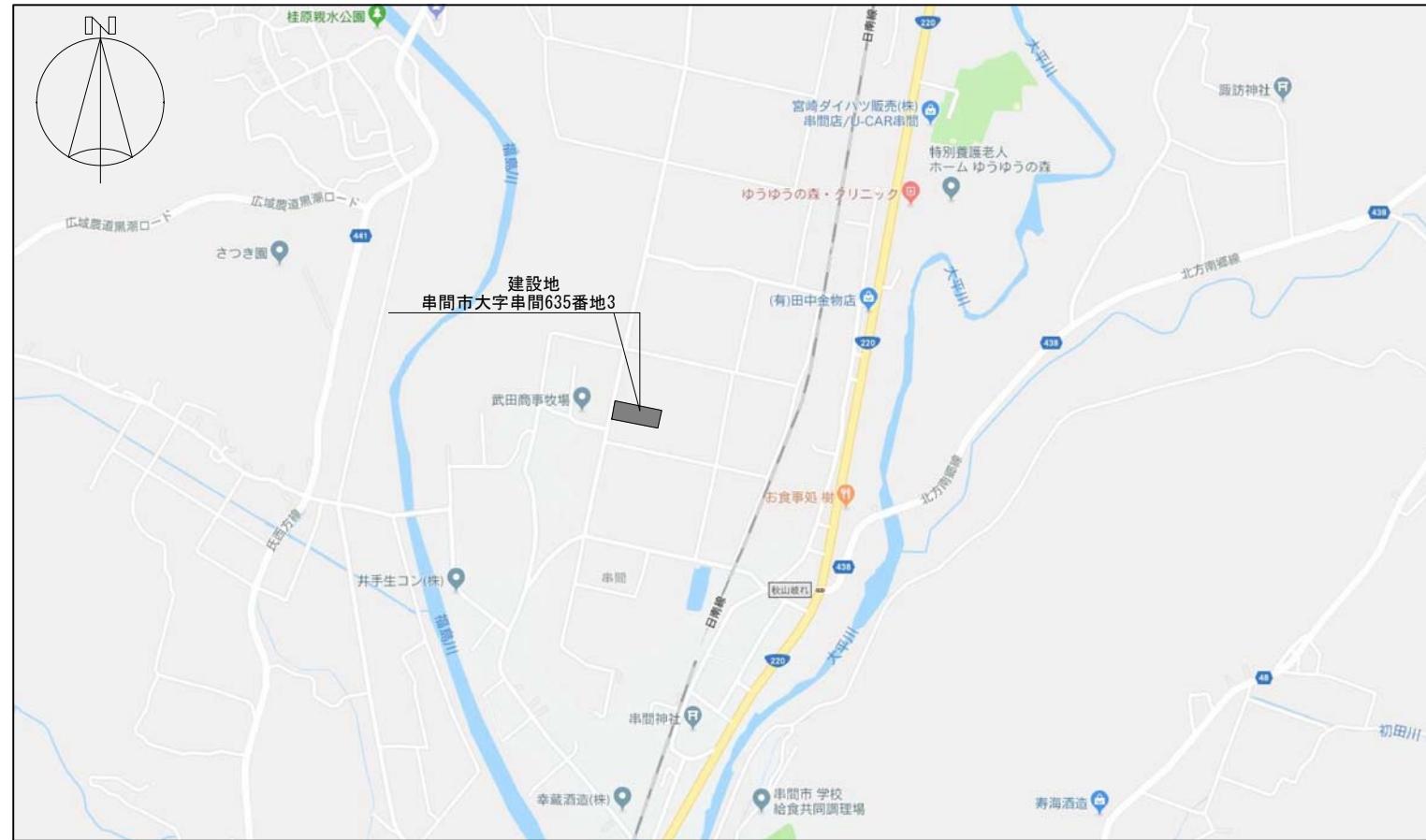


図面番号	TITLE	SCALE	図面番号	TITLE	SCALE	図面番号	TITLE	SCALE
A-01	図面リスト	-	A-19	【育成牛舎】柵位置図・リスト	1/30, 1/200	S-14	【育成牛舎】金物詳細図	1/20
A-02	建築工事特記仕様書（その1）	-	A-20	【堆肥舎】設計概要・仕上表・求積図・平面図	1/150, 1/300	S-15	【育成牛舎】架構詳細図	1/50
A-03	建築工事特記仕様書（その2）	-	A-21	【堆肥舎】立面図	1/50	S-16	【堆肥舎】基礎・土台伏図、基礎詳細図	1/30, 1/150
A-04	案内図、配置図	1/300	A-22	【堆肥舎】矩計詳細図	1/20, 1/50	S-17	【堆肥舎】小屋伏図、軸組図	1/150
A-05	【繁殖牛舎】設計概要・仕上表・求積図	1/300						
A-06	【繁殖牛舎】平面図	1/150	S-01	構造設計標準仕様・配筋標準図	-	E-01	電気設備特記仕様書	-
A-07	【繁殖牛舎】屋根伏図	1/150	S-02	木構造標準図	-	E-02	案内図、配置図	1/300
A-08	【繁殖牛舎】立面図	1/150	S-03	木工事特記仕様書	-	E-03	盤負荷リスト	-
A-09	【繁殖牛舎】矩計詳細図 (1)	1/50	S-04	【繁殖牛舎】基礎伏図・基礎詳細図	1/30, 1/150	E-04	【繁殖牛舎】動力設備平面図	1/150
A-10	【繁殖牛舎】矩計詳細図 (2)	1/50	S-05	【繁殖牛舎】陸梁伏図	1/150	E-05	【繁殖牛舎】電灯・コンセント設備図	1/150
A-11	【繁殖牛舎】部分詳細図	1/20	S-06	【繁殖牛舎】小屋伏図	1/150	E-06	【育成牛舎】動力設備平面図	1/150
A-12	【繁殖牛舎】柵位置図・リスト	1/30, 1/200	S-07	【繁殖牛舎】軸組図 (1)	1/150	E-07	【育成牛舎】電灯・コンセント設備図	1/150
A-13	【繁殖牛舎】柵リスト (1)	1/30	S-08	【繁殖牛舎】軸組図 (2)	1/150			
A-14	【育成牛舎】設計概要・仕上表・求積図	1/300	S-09	【繁殖牛舎】金物詳細図	1/20	P-01	給水設備 案内図、配置図	1/300
A-15	【育成牛舎】平面図、屋根伏図	1/150	S-10	【繁殖牛舎】架構詳細図	1/75	P-02	【繁殖牛舎】給水設備 平面図	1/150
A-16	【育成牛舎】立面図	1/150	S-11	【育成牛舎】基礎伏図、基礎詳細図	1/30, 1/150	P-03	【育成牛舎】給水設備 平面図	1/150
A-17	【育成牛舎】矩計詳細図	1/50	S-12	【育成牛舎】陸梁・小屋伏図	1/150			
A-18	【育成牛舎】部分詳細図	1/20	S-13	【育成牛舎】軸組図	1/150			

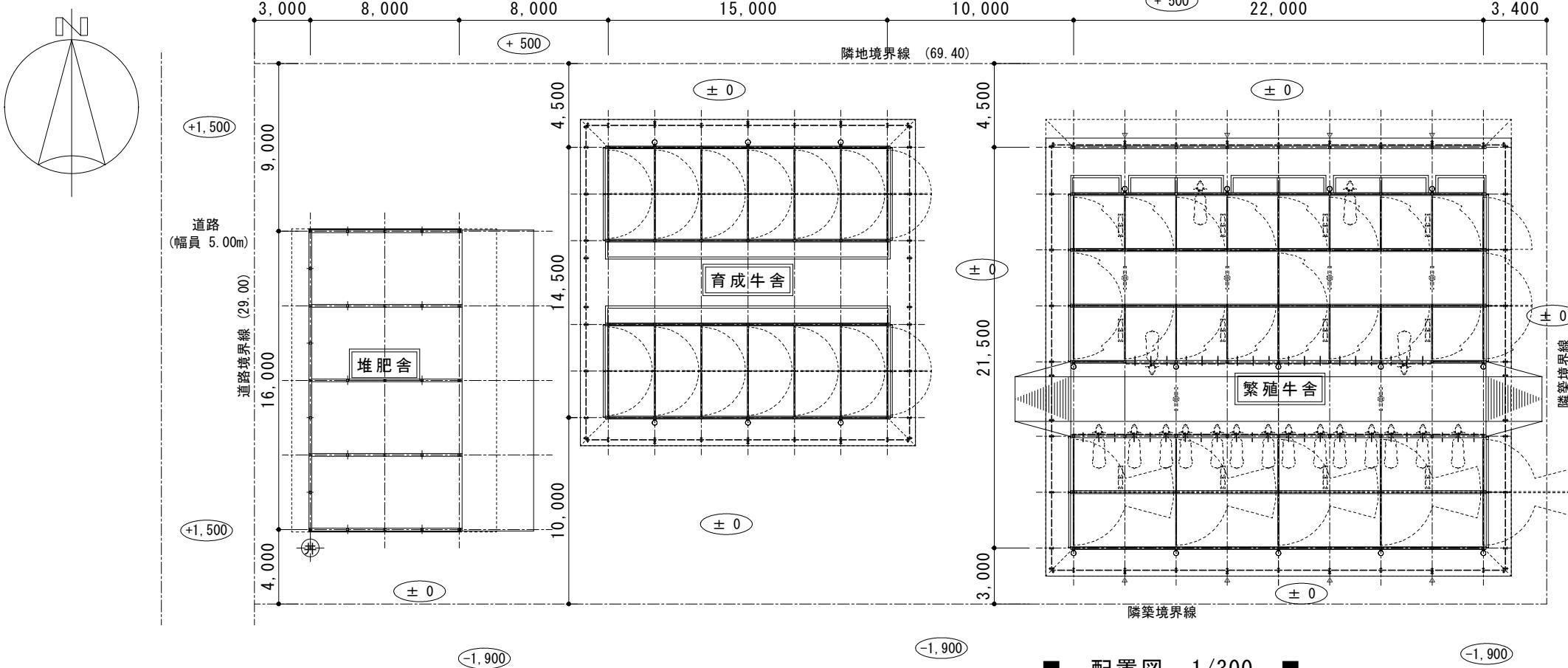
記 事		 <b>アトリエ匠</b> <b>(SHOW)</b> <b>一級建築士事務所</b> 宮崎県知事登録 第D2281号 一級建築士大臣登録 第206727号 橋口 芳弘	COPY	DESIGN	SCALE	-	TITLE 令和元年度 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業 武田畜産 牛舎等 新築工事	No. A - 0 1
			DRAW	CHECK	DATE	2019-09	ITEM 図面リスト	

令和元年度 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業 武田畜産 牛舎等 新築工事		工事設計図			
平成 年 月(全 枚)					
仕様書					
I 工事概要					
1. 工事場所 宮崎県串間市大字串間 635番地3					
2. 敷地面積 2,012.60 m <sup>2</sup>					
3. 工事種目 牛舎、堆肥舎					
II 建築工事仕様					
1. 共通仕様					
(1) 国面及び特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官府部建築課監修の「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(最新版)」(以下「規格」といふ。)による。					
2. 特記仕様					
(1)番号に○印の付いたものを適用する。 (2)特記事項に○印の付いたものを適用する。 ○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。 ○印と※印の付いた場合は、共に適用する。					
(3)特記事項に記載の( )内表示番号は、標示の当該項目、該当箇所又は当該表を示す。 (4)特記事項に記載の(別 )は(5.3.)による別図「各部配筋」の当該項目を示す。 (5)製造所名は五十音順にして株式会社等の記載は省略する。また( )内は製品名を示す。 (6)□印は「国等による環境物品等の調達の推進に関する法律」の特定調達品目を示す。					
III 項 目 特 記 事 項					
1.1 適用基準等					
(1)建築工事標準詳細図(国土交通省大臣官房官府部建築課監修 最新版) (2)工事写真の撮り方(改訂第二版)建築編(国土交通省大臣官房官府部建築課監修)					
(1.2.2)建築基準法に基づく風圧区分等を必要とする場合は次による。 ※風圧(Vo= 36) ※地表面粗度区分 I II III IV ・積雪区分 建告示第1455号 別表( )					
1.2 工事実績情報の登録					
1.3 電気保安技術者					
1.4 条件明示項目					
1.5 発生材の処理等					
1.6 建築材料等					
2. 化学物質の濃度測定					
3. 完成図					
4. 完成写真					
5. 機械工事					
6. 設備工事との工事区分表					
○印は工事範囲を示す					
工事内容					
本工事(建築工事) 電気設備工事 機械設備工事					
電気関係 配電盤・制御盤の基礎 屋内 屋外 自家発電機の基礎(アンカーボルトを除く) クレブアンテナ基礎( # ) 銀蓄電池の基礎( # )					
機械関係 施工設備 施工設備(床架、アンカーボルトを除く) 屋外設備 架台、アンカーボルト(電気及び機械関係以外) 特記した基礎(電気及び機械関係以外)					
開口部 梁、床、壁 梁、床、壁 梁、床、壁 貨物型枠 梁、床、壁 天井ボード類の切込 梁、床、壁 梁、床、壁 壁内分電盤、端子盤等の型枠 上記開口部の補強 上記開口部の墨出し スリーパーの穴埋め(型枠の穴埋めを含む) OAアダプタ接続器具 点検口 床、壁、天井 外部取付ガラフ ダクト、チャンバーの接続用フランジを含む 温湯室のフード 換換扇の取付け 流し台 排水トラップ共 防油槽 オイルサービスタンクの防油槽 自家栄用 空調用 保水槽のシンボル 雨水 排外排水管 汚水、雑排水 雨水立管(床下ドrain) 身障者用便所手すり はめ込み洗面器用カウンター(前板共) ガスボンベ・転倒防止用の鎖 自動ドア及び電動シャッタなどの制御部と操作スイッチ間の配管配線及び操作スイッチ 電気配管配線 防火扉レバース 電機機器 既製門扉仕切壁(ペネル工法)の配管及び埋込ボックス 配管ビット及びふた 別途機器などへの接続 ガス漏れ検知器 電気錠 TENキー及び制御盤 ルベーター出入用三方栓(金属製) シリコーンゴム(エニシットバ) ウォーターカップ(本体) 同上 排糞工事					
別表-1 設備工事との工事区分表					
○印は工事範囲を示す					
7. 化学物質を発散する建築材料等					
8. 特殊な材料の工法					
9. 技能士					
10. 化学物質の濃度測定					
11. 完成図					
12. 完成写真					
13. 設備工事との取扱い					
14. 設計GL					
15. 工事写真					
16. 仮設工事					
17. 土工事					
18. 地業工事					
19. 場所打ちコンクリート杭地業					
20. 砂利地業					
21. 末下防湿層					
22. 鉄筋工事					
23. コンクリート工事					
24. 補強材の種類					
25. 補強材の種類					
26. コンクリート工事					
27. 補強材の種類					
28. コンクリート工事					
29. 補強材の種類					
30. 補強材の種類					
31. 補強材の種類					
32. 補強材の種類					
33. 補強材の種類					
34. 補強材の種類					
35. 補強材の種類					
36. 補強材の種類					
37. 補強材の種類					
38. 補強材の種類					
39. 補強材の種類					
40. 補強材の種類					
41. 補強材の種類					
42. 補強材の種類					
43. 補強材の種類					
44. 補強材の種類					
45. 補強材の種類					
46. 補強材の種類					
47. 補強材の種類					
48. 補強材の種類					
49. 補強材の種類					
50. 補強材の種類					
51. 補強材の種類					
52. 補強材の種類					
53. 補強材の種類					
54. 補強材の種類					
55. 補強材の種類					
56. 補強材の種類					
57. 補強材の種類					
58. 補強材の種類					
59. 補強材の種類					
60. 補強材の種類					
61. 補強材の種類					
62. 補強材の種類					
63. 補強材の種類					
64. 補強材の種類					
65. 補強材の種類					
66. 補強材の種類					
67. 補強材の種類					
68. 補強材の種類					
69. 補強材の種類					
70. 補強材の種類					
71. 補強材の種類					
72. 補強材の種類					
73. 補強材の種類					
74. 補強材の種類					
75. 補強材の種類					
76. 補強材の種類					
77. 補強材の種類					
78. 補強材の種類					
79. 補強材の種類					
80. 補強材の種類					
81. 補強材の種類					
82. 補強材の種類					
83. 補強材の種類					
84. 補強材の種類					
85. 補強材の種類					
86. 補強材の種類					
87. 補強材の種類					
88. 補強材の種類					
89. 補強材の種類					
90. 補強材の種類					
91. 補強材の種類					
92. 補強材の種類					
93. 補強材の種類					
94. 補強材の種類					
95. 補強材の種類					
96. 補強材の種類					
97. 補強材の種類					
98. 補強材の種類					
99. 補強材の種類					
100. 補強材の種類					
101. 補強材の種類					
102. 補強材の種類					
103. 補強材の種類					
104. 補強材の種類					
105. 補強材の種類					
106. 補強材の種類					
107. 補強材の種類					
108. 補強材の種類					
109. 補強材の種類					
110. 補強材の種類					
111. 補強材の種類					
112. 補強材の種類					
113. 補強材の種類					
114. 補強材の種類					
115. 補強材の種類					
116. 補強材の種類					
117. 補強材の種類					
118. 補強材の種類					
119. 補強材の種類					
120. 補強材の種類					
121. 補強材の種類					
122. 補強材の種類					
123. 補強材の種類					
124. 補強材の種類					
125. 補強材の種類					
126. 補強材の種類					
127. 補強材の種類					
128. 補強材の種類					
129. 補強材の種類					
130. 補強材の種類					
131. 補強材の種類					
132. 補強材の種類					
133. 補強材の種類					
134. 補強材の種類					
135. 補強材の種類					
136. 補強材の種類					
137. 補強材の種類					
138. 補強材の種類					
139. 補強材の種類					
140. 補強材の種類					
141. 補強材の種類					
142. 補強材の種類					
143. 補強材の種類					
144. 補強材の種類					
145. 補強材の種類					
146. 補強材の種類					
147. 補強材の種類					
148. 補強材の種類					
149. 補強材の種類					
150. 補強材の種類					
151. 補強材の種類					
152. 補強材の種類					
153. 補強材の種類					
154. 補強材の種類					
155. 補強材の種類					
156. 補強材の種類					
157. 補強材の種類					
158. 補強材の種類					
159. 補強材の種類					
160. 補強材の種類					
161. 補強材の種類					
162. 補強材の種類					
163. 補強材の種類					
164. 補強材の種類					
165. 補強材の種類					
166. 補強材の種類					
167. 補強材の種類					
168. 補強材の種類					
169. 補強材の種類					
170. 補強材の種類					
171. 補強材の種類					
172. 補強材の種類					
173. 補強材の種類					
174. 補強材の種類					
175. 補強材の種類					
176. 補強材の種類					
177. 補強材の種類					
178. 補強材の種類					
179. 補強材の種類					
180. 補強材の種類					
181. 補強材の種類					
182. 補強材の種類					
183. 補強材の種類					
184. 補強材の種類					
185. 補強材の種類					
186. 補強材の種類					
187. 補強材の種類					
188. 補強材の種類					
189. 補強材の種類					
190. 補強材の種類					
191. 補強材の種類					
192. 補強材の種類					
193. 補強材の種類					
194. 補強材の種類					
195. 補強材の種類					
196. 補強材の種類					
197. 補強材の種類					
198. 補強材の種類					
199. 補強材の種類					
200. 補強材の種類					
201. 補強材の種類					
202. 補強材の種類					
203. 補強材の種類					
204. 補強材の種類					
205. 補強材の種類					
206. 補強材の種類					
207. 補強材の種類					
208. 補強材の種類					
209. 補強材の種類					
210. 補強材の種類					
211. 補強材の種類					
212. 補強材の種類					
213. 補強材の種類					
214. 補強材の種類					
215. 補強材の種類					
216. 補強材の種類					
217. 補強材の種類					
218. 補強材の種類					
219. 補強材の種類					
220. 補強材の種類					
221. 補強材の種類					
222. 補強材の種類					
223. 補強材の種類					
224. 補強材の種類					
225. 補強材の種類					
226. 補強材の種類					
227. 補強材の種類					
228. 補強材の種類					
229. 補強材の種類					
230. 補強材の種類					
231. 補強材の種類					
232. 補強材の種類					
233. 補強材の種類					
234. 補強材の種類					
235. 補強材の種類					
236. 補強材の種類					
237. 補強材の種類					
238. 補強材の種類					
239. 補強材の種類					
240. 補強材の種類					
241. 補強材の種類					
242. 補強材の種類					
243. 補強材の種類					
244. 補強材の種類					
245. 補強材の種類					
246. 補強材の種類					
247. 補強材の種類					
248. 補強材の種類					
249. 補強材の種類					

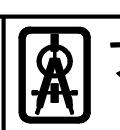




■ 案内図 ■



記事	

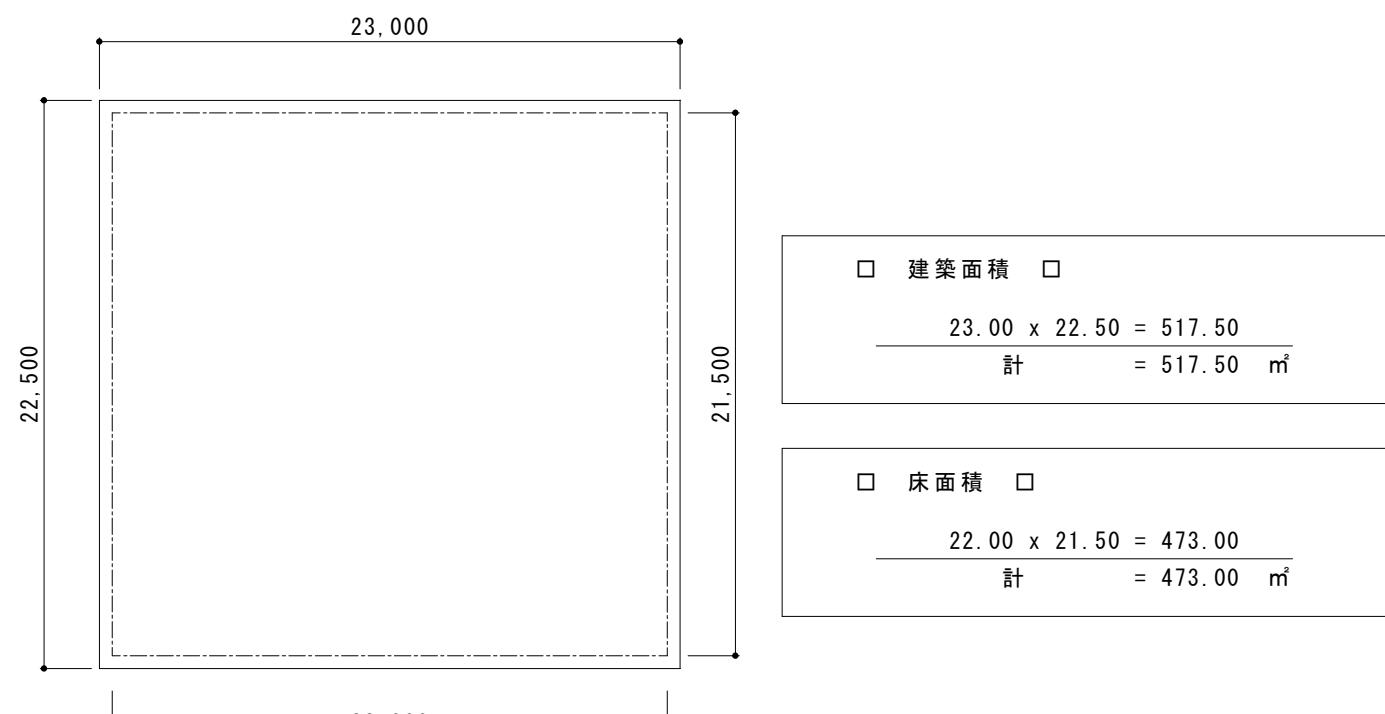


アトリエイチ (SHOW)  
一級建築士事務所  
宮崎県知事登録第D2281号  
一級建築士大臣登録第206727号 橋口芳弘

COPY	DESIGN	SCALE	TITLE
DRAW	CHECK	1/300	令和元年度 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業 武田畜産牛舎等新築工事

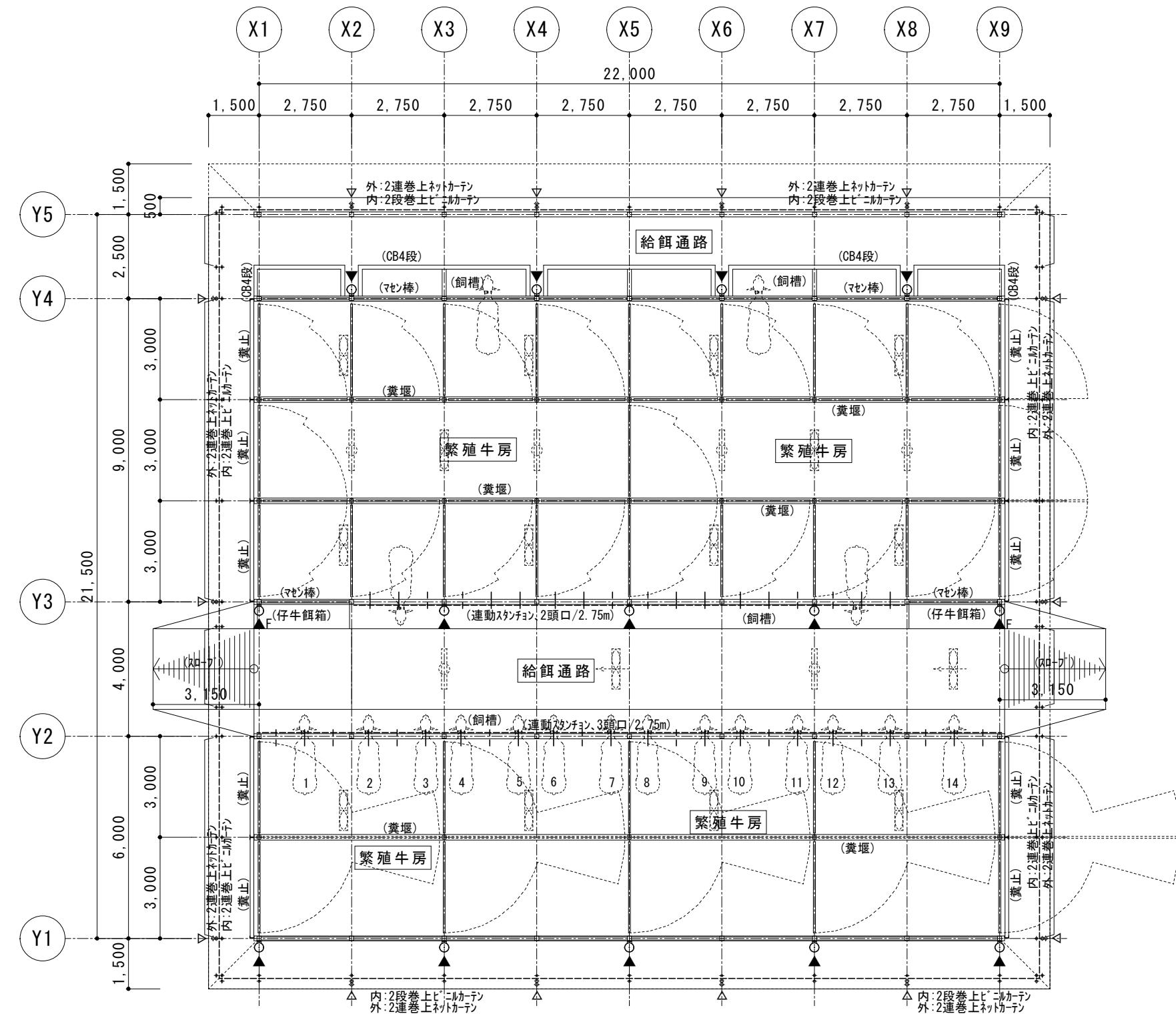
No. A-04  
案内図、配置図

設 計 概 要	地名地番：串間市大字串間635番地3	用途地域：指定無し	外 部 仕 上 表	部 位	仕 上 、 仕 様	部 位	仕 上 、 仕 様	
	防火地域：無し	その他の地域：無し		屋 根	ガルバニュウム鋼板(スレート小波、^フ裏貼t=4)葺 t=0.4 棟・ケラバ包：ガルバニュウム鋼板 t=0.4	外 壁	ガルバニュウム鋼板(スレート小波)張 t=0.4 水切：ガルバニュウム鋼板 t=0.4	
	主要用途：畜舎	工事種別：新築		軒 裏	屋根材現し	外 巾 木		
	構造規模：木造、平家建て			樋	軒樋：塩ビ製、W=150 堅樋：VU 100φ	犬 走 り	コンクリート直仕上(木ごて)	
	敷地面積：2,012.60 m <sup>2</sup>							
	建築面積：517.50 m <sup>2</sup>							
	延床面積：473.00 m <sup>2</sup>							
内 部 仕 上 表	室 名	床	巾 木	腰 壁	壁	天 井	高さ 回縁	備 考
	繁殖牛房	コンクリート直仕上(木ゴテ)	GL+ 100	コンクリート打放	500	ガルバニュウム鋼板現し(妻面のみ)	屋根材現し	NC 回転柵、マセン棒、スタンション、ウォーターカップ
								糞止：杉1等、加圧注入材、90x90-3段
	給餌通路	コンクリート直仕上(木ゴテ)	450			ガルバニュウム鋼板現し(妻面のみ)	屋根材現し	NC 飼槽、餌箱
特 記 事 項								
								※ 建築物に使用する材料は、法第37条に適合するものとする。
								※ 電気設備関係 法第32条に適合するものとする。
								※ 設備関係令第129条の2の5の配管設備に適用するものとする。



■ 求積図 1/300 ■

記 事	(SHOW)  アトリエイチ 一級建築士事務所 宮崎県知事登録 第D2281号 一級建築士大臣登録 第206727号 橋口 芳弘	COPY	DESIGN	SCALE	TITLE	No. A-05
		DRAW	CHECK	1/300	令和元年度 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業 武田畜産 牛舎等 新築工事	
		DATE	2019-09	ITEM	【繁殖牛舎】設計概要・仕上表・求積図	

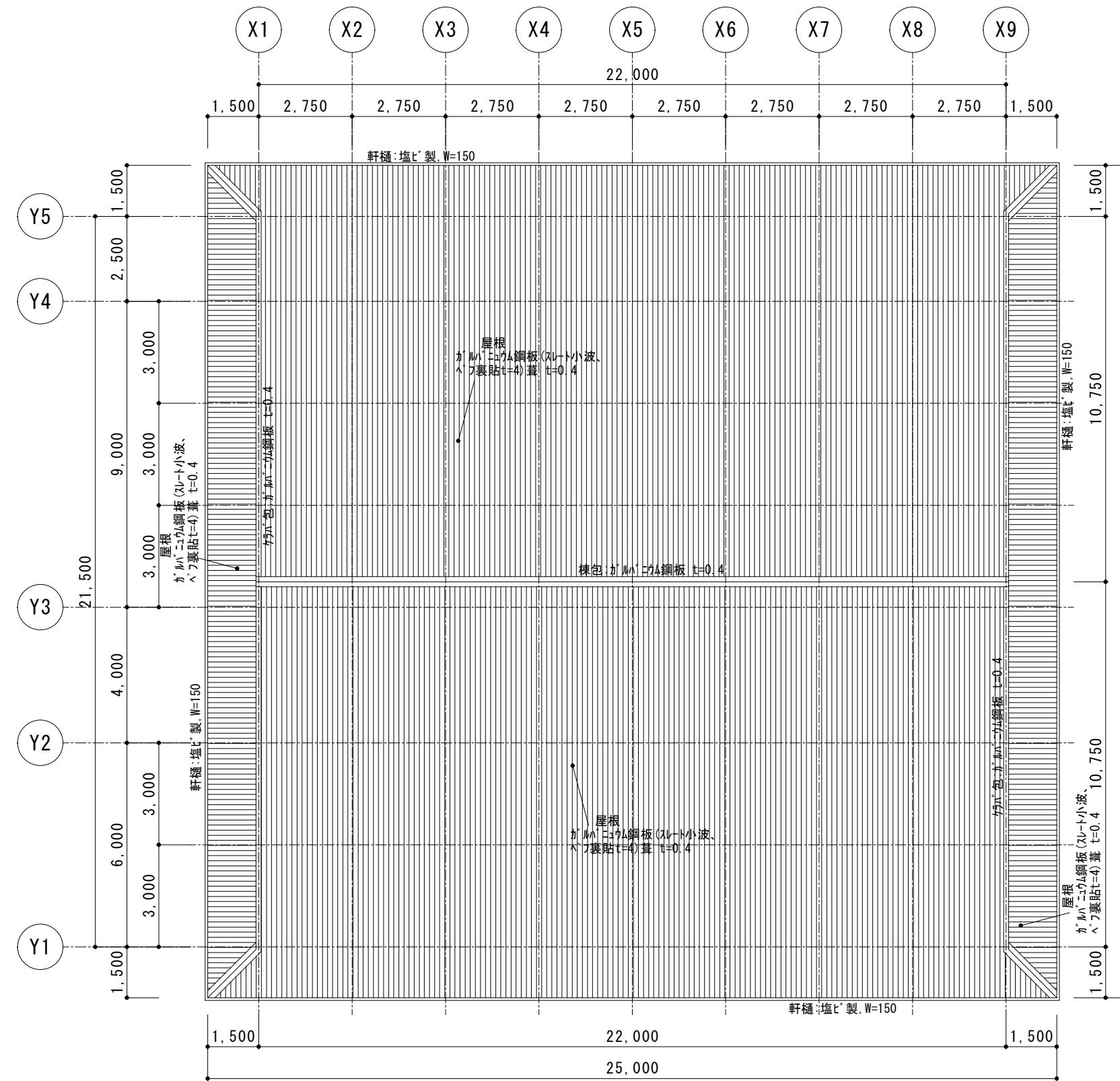


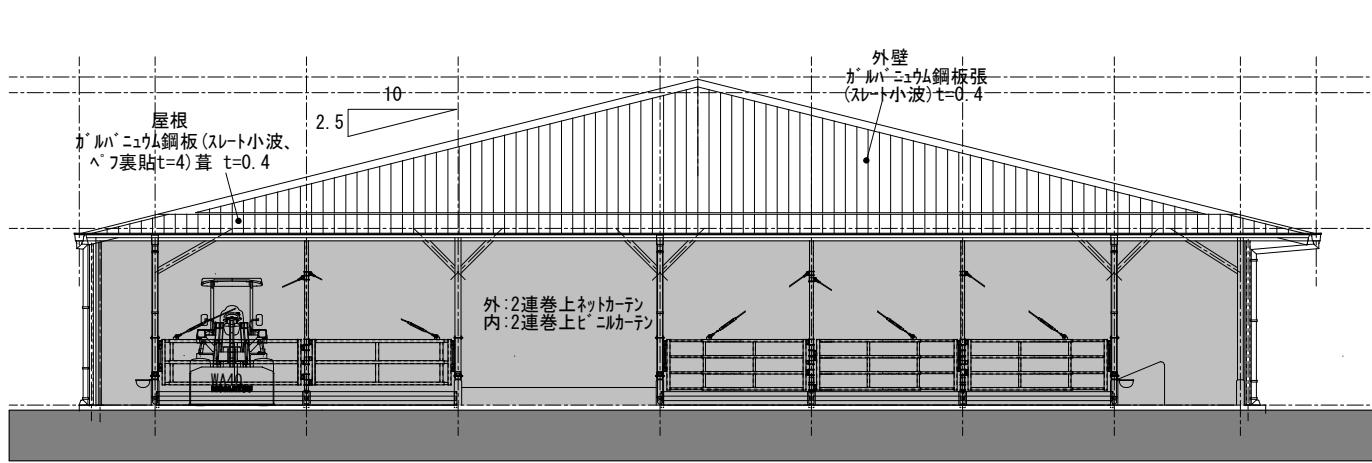
■ 平面図 1/150 ■

凡例

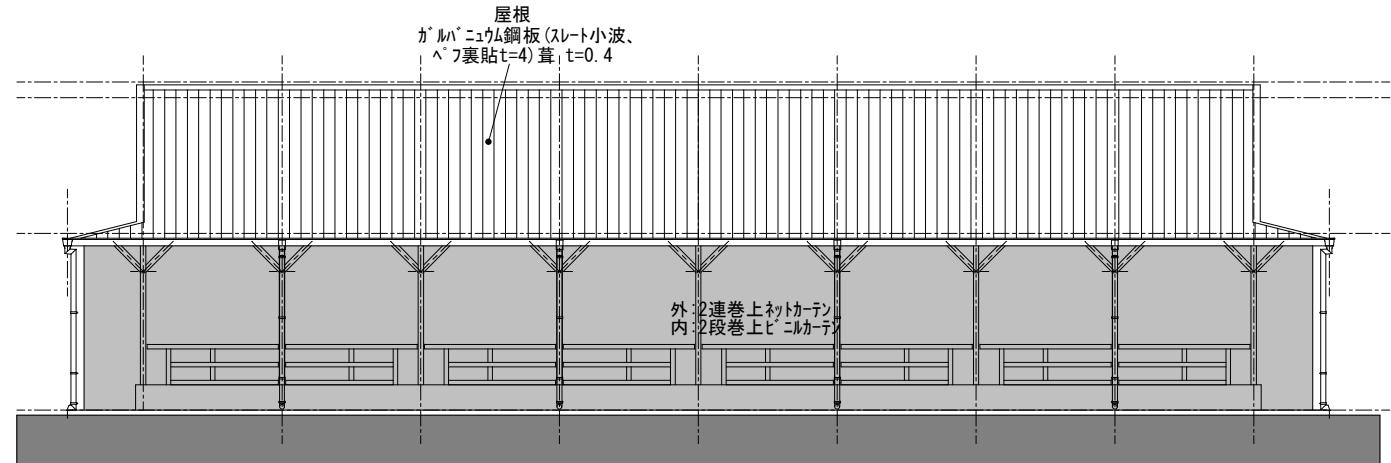
- ▼ ウォーターカップ(△口式)(9箇所)
- ▼F ウォーターカップ(フロート式)(2箇所)
- ▽ 竪樋、VU100φ(14箇所)
- 換気扇、1000φ(16箇所)
- 蛍光灯(6箇所)



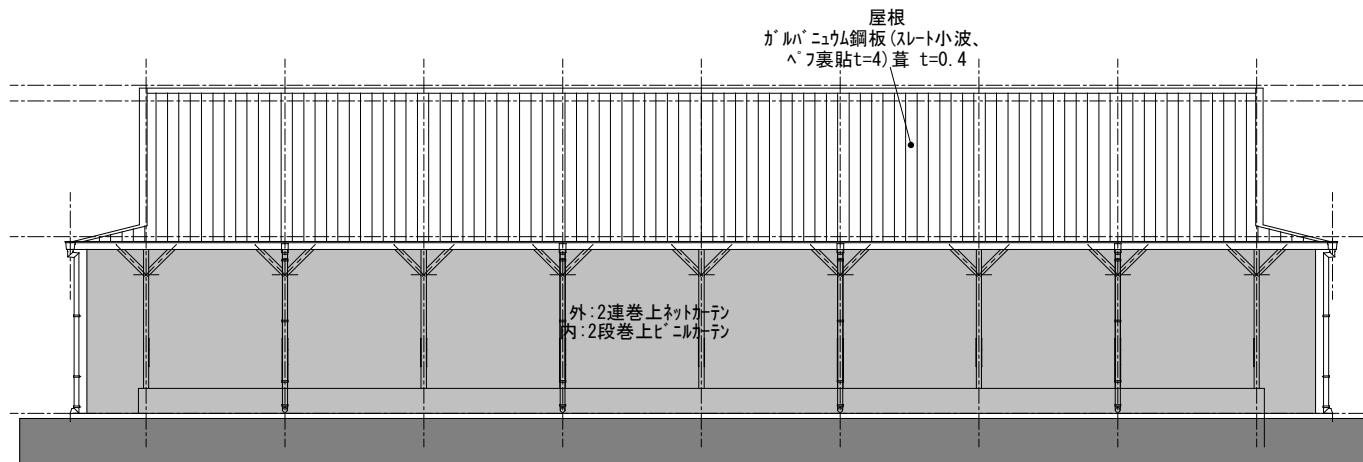




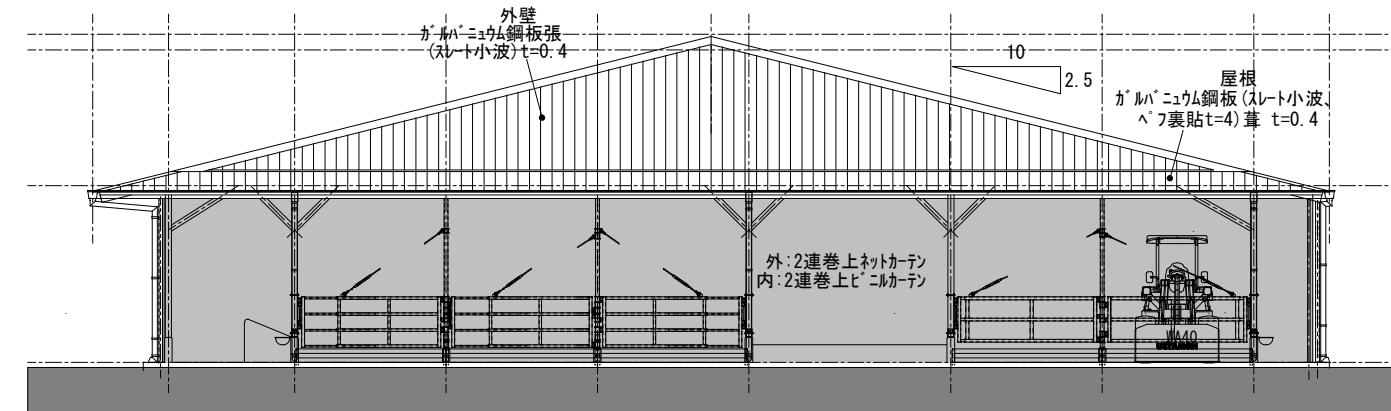
■ 東側 立面図 1/150 ■



■ 南側 立面図 1/150 ■



■ 北側 立面図 1/150 ■



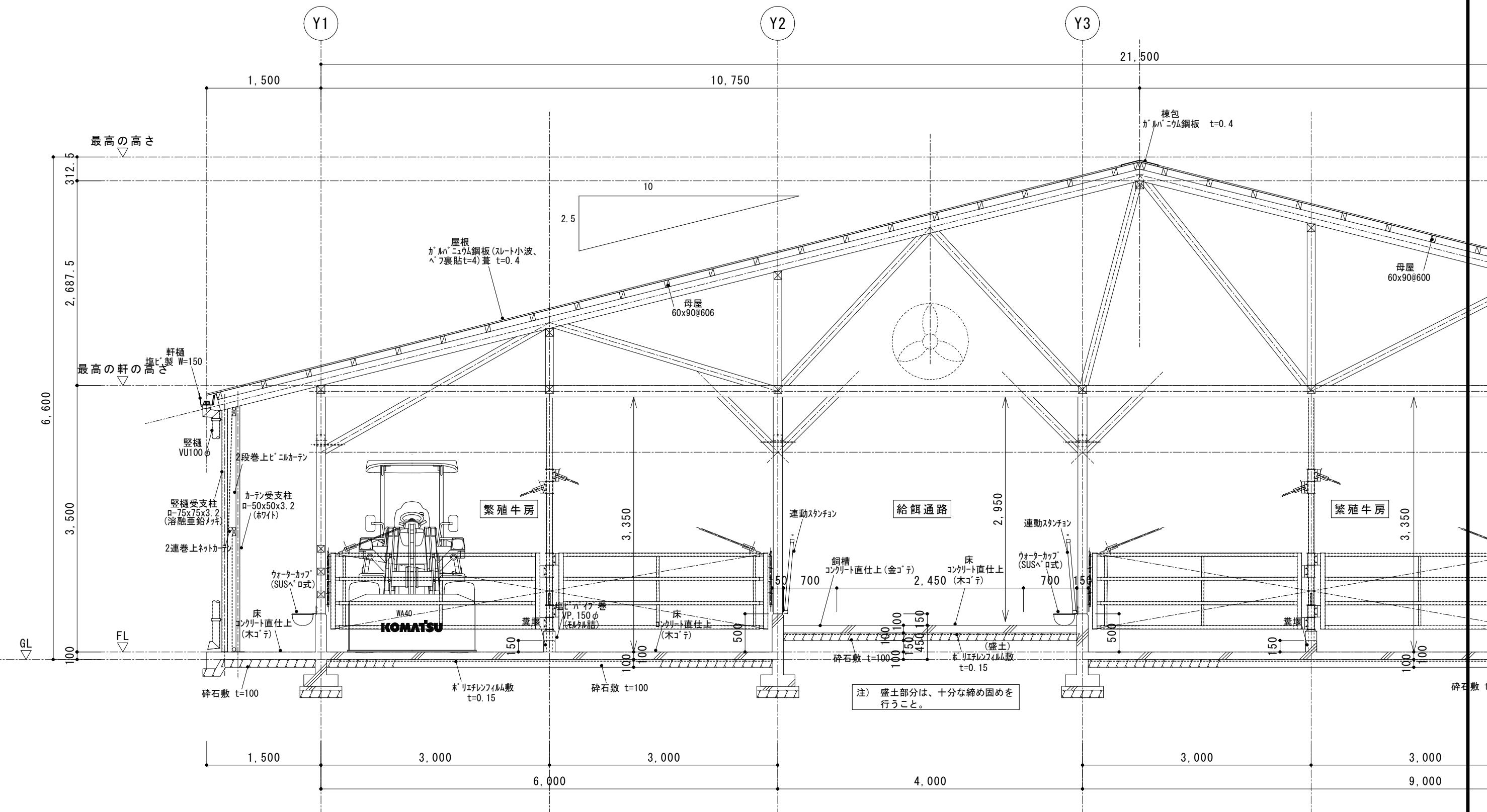
■ 西側 立面図 1/150 ■

記事	



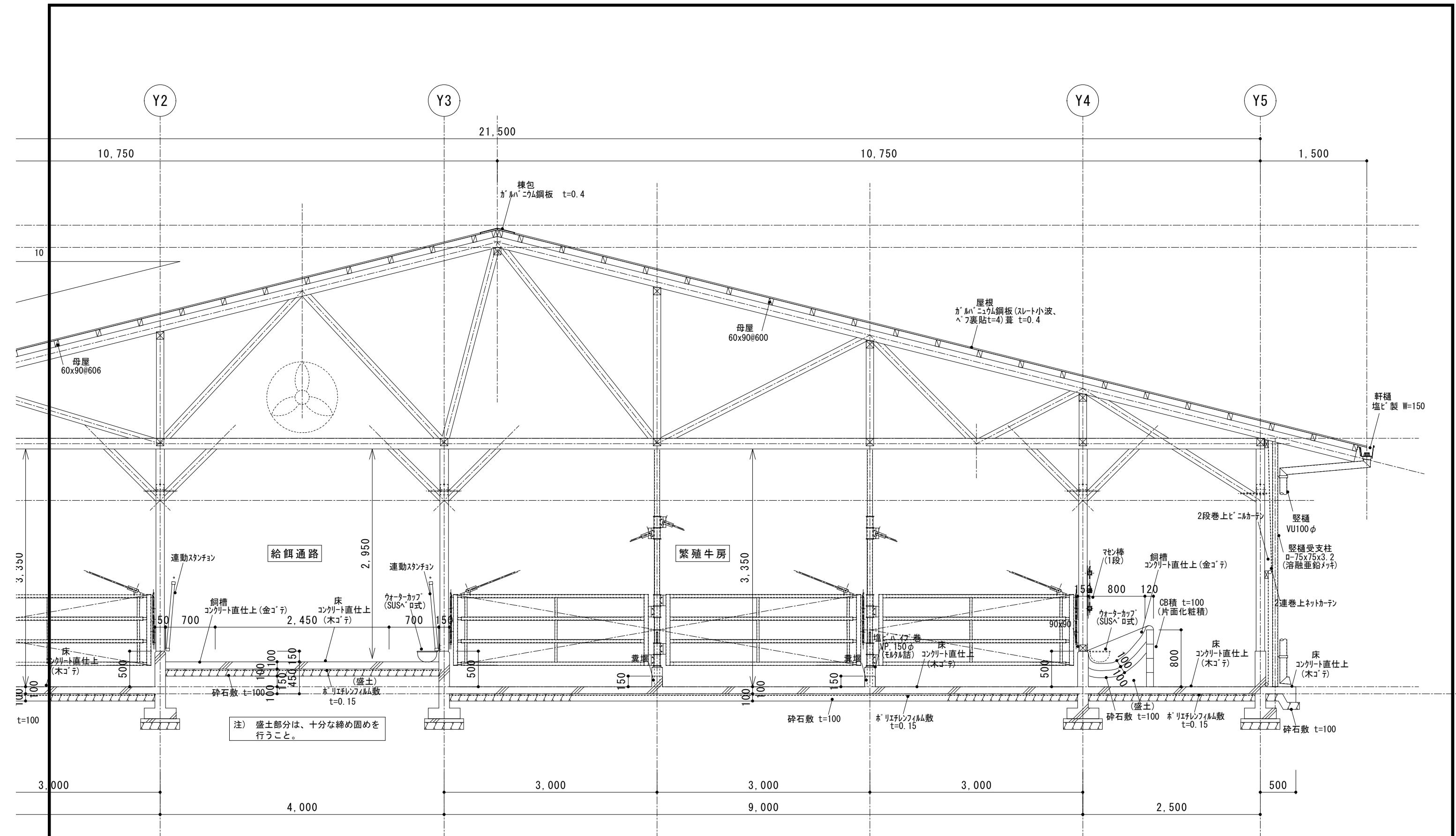
アトリエイイチ (SHOW)  
一級建築士事務所  
宮崎県知事登録第D2281号  
一級建築士大臣登録第206727号 橋口芳弘

COPY	DESIGN	SCALE	TITLE	No.
DRAW	CHECK	DATE	ITEM	
		1/150	令和元年度 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業 武田畜産牛舎等新築工事	A-08
		2019-09	【繁殖牛舎】 立面図	



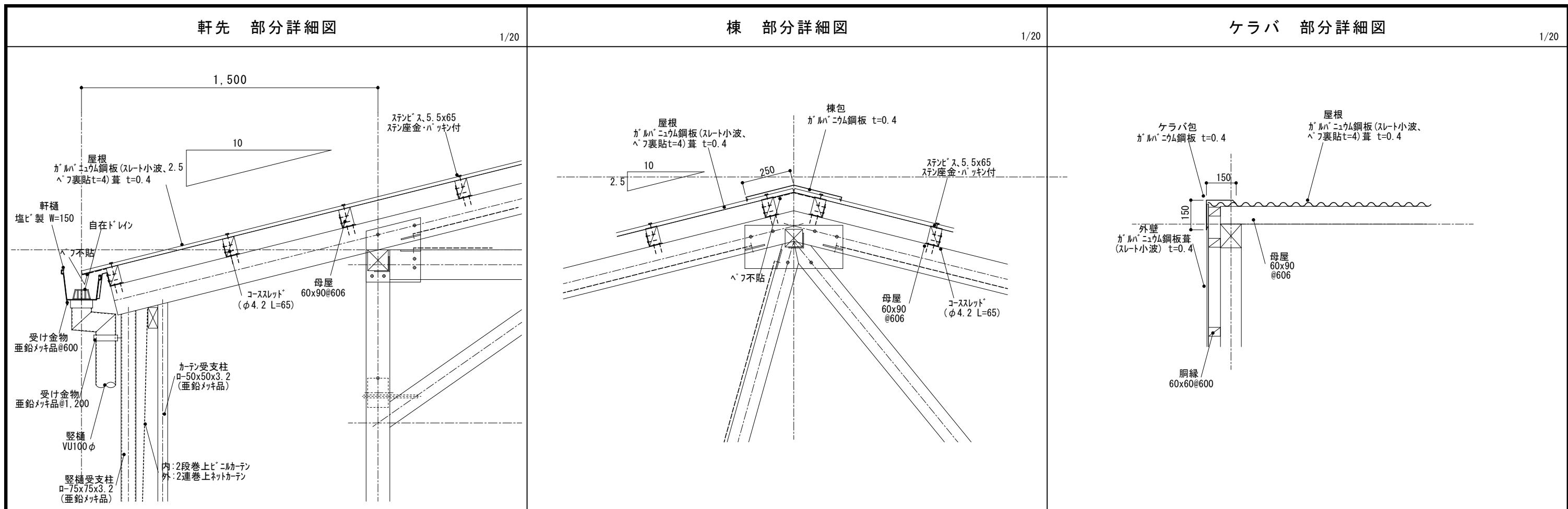
■ 矩計詳細図 1/50 ■

記 事		 <b>アトリエ</b> 斧 (SHOW) <b>一級建築士事務所</b> 宮崎県知事 登録 第 D2281 号 一級建築士 大臣登録 第 206727 号 橋口 芳弘	COPY	DESIGN	SCALE 1/50	TITLE 令和元年度 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業 武田畜産 牛舎等 新築工事	No. A-09
			DRAW	CHECK	DATE 2019-09	ITEM 【繁殖牛舎】 矩計詳細図 (1)	



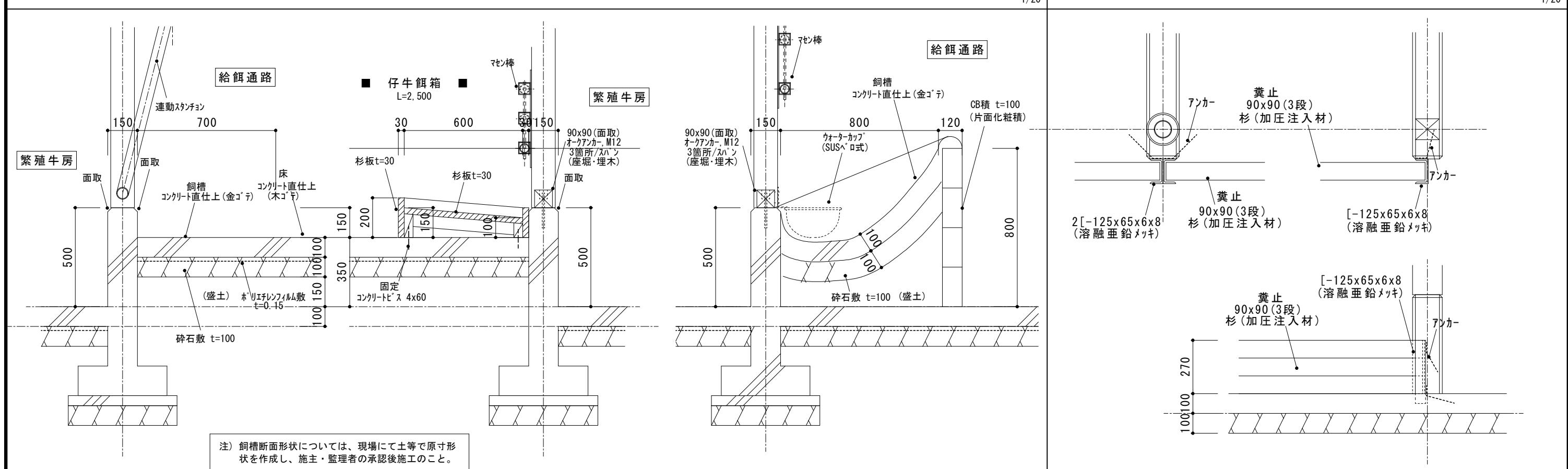
■ 矩計詳細図 1/50 ■

記 事		 <b>アトリエ 斧 (SHOW)</b> <b>一級建築士事務所</b> 宮崎県知事登録 第 D2281 号 一級建築士大臣登録 第 206727 号 橋口 芳弘	COPY	DESIGN	SCALE 1/50	TITLE 令和元年度 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業 武田畜産 牛舎等 新築工事	A - 1 0
			DRAW	CHECK	DATE 2019-09	ITEM 【繁殖牛舎】 矩計詳細図 (2)	



## 飼槽 部分詳細図

## 糞止め 部分詳細図



注) 飼槽断面形状については、現場にて土等で原寸  
状を作成し、施主・監理者の承認後施工のこと

記事



アトリエ 匠 (SHOW) 一級建築士事務所  
宮崎県知事 登録 第 D2281 号  
一級建築士 大臣登録 第 206727 号 橋口 芳弘

COP

COPY

DESIGN

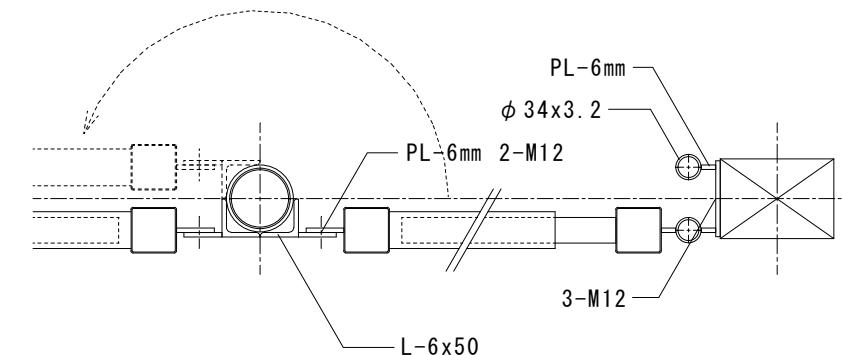
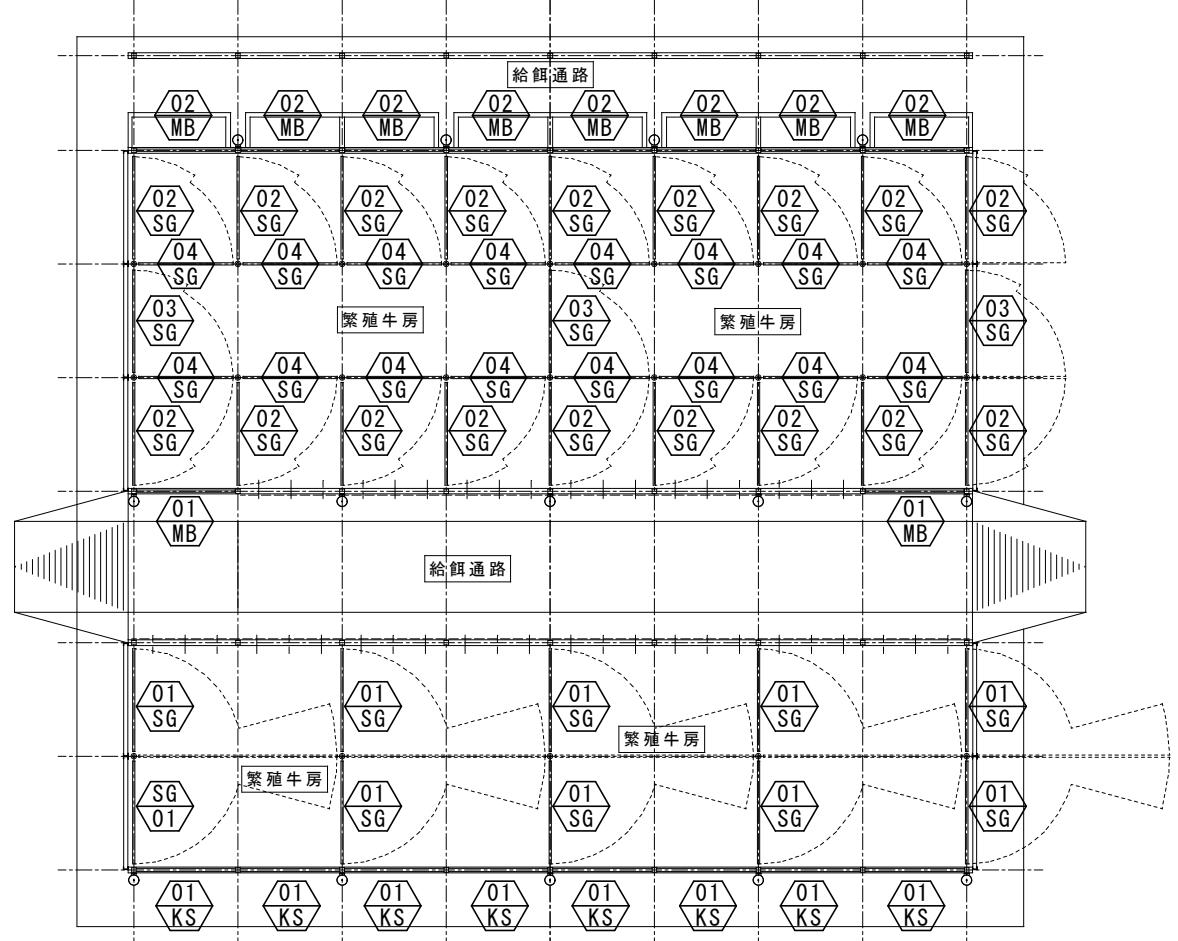
2014

CHECK DATE 2019-09

**TITLE 令和元年度 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業  
武田畜産 牛舎等 新築工事**

ITEM 【繁殖牛舎】 部分詳細図

No. A - 1 1



■ SG-01, SG-02, SG-04 部分詳細図 1/10 ■

注)  
・柵の形状については、現場にて部分変更の可能性が有るので施主監理者と打合せの上承認後決定とする。

■ 柵 位置図 1/200 ■

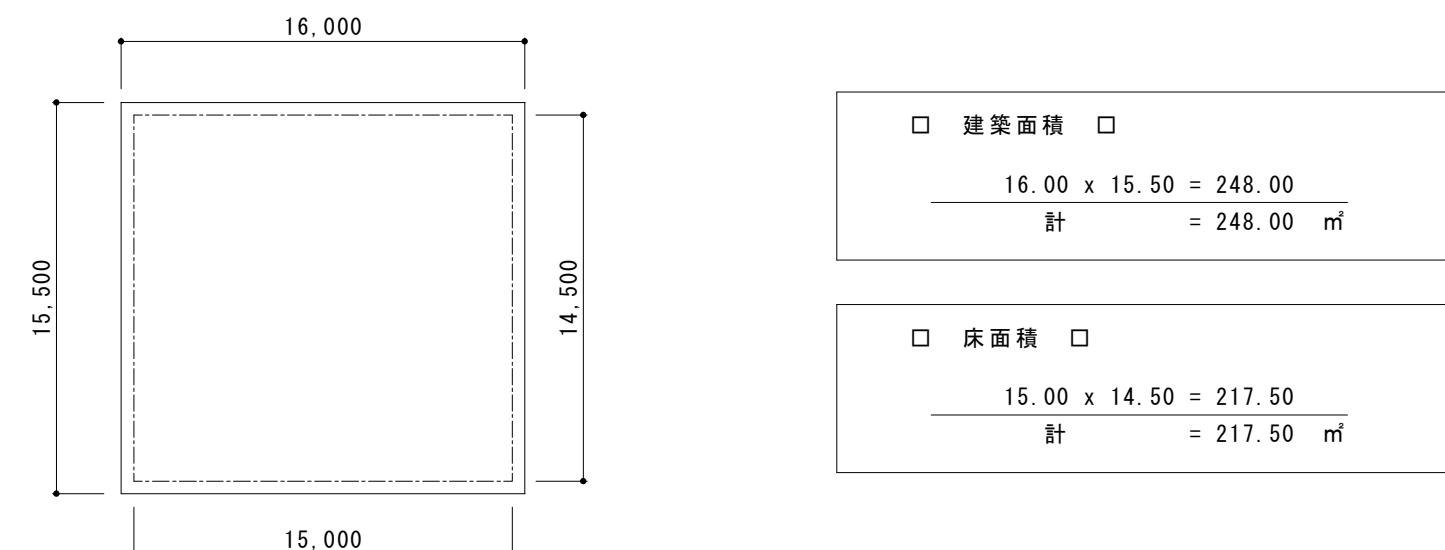
■ 柵 リスト 1/30 ■

記 号	01 SG 伸縮回転柵(吊り付)	02 SG 伸縮回転柵(吊り付)	03 SG 伸縮回転柵(吊り付)
寸 法 状 況	<p>3,000~5,500</p>	<p>3,000~2,500</p>	<p>3,000~2,500</p>
場所 / 数量	繁殖牛房 / 10箇所	繁殖牛房 / 18箇所	繁殖牛房 / 3箇所
型式・見込	60	60	60
仕 様	□60x60x2.3, 60.5φx2.3, 48.6φx2.3 (溶融亜鉛メッキ HDZ50)	□60x60x2.3, 48.6φx2.3, 34.0φx2.3 (溶融亜鉛メッキ HDZ50)	□60x60x2.3, 48.6φx2.3, 34.0φx2.3 (溶融亜鉛メッキ HDZ50)
金 物	BR-6, カンヌキ19φ L=600	BR-6, カンヌキ19φ L=600	BR-6, カンヌキ19φ L=600
備 考	回転軸部：中ポルト 2-M12 ※半数は、反転形	回転軸部：中ポルト 2-M12 ※半数は、反転形	回転軸部：中ポルト 2-M12
記 事	<p>(SHOW) アトリエ一級建築士事務所 宮崎県知事登録第D2281号 一級建築士大臣登録第206727号 橋口芳弘</p>		
	COPY DRAW	DESIGN CHECK	SCALE DATE TITLE ITEM No.
			1/30, 1/200 2019-09 【繁殖牛舎】柵位置図・リスト A-12

■ 構 リスト 1/30 ■

記号	04 SG 伸縮回転柵(潜り付)		01 KS 木製固定柵	
寸法状				
場所／数量	繁殖牛房 / 16箇所		繁殖牛房 / 8箇所	
型式・見込	60		木製、90x90	
仕様	□60x60x2.3, 48.6φx2.3, 34.0φx2.3(溶融亜鉛メッキ HDZ50)		杉、1等	
金物	R-6, カンヌキ19φL=600		取付金物：溶融亜鉛メッキ	
備考	回転軸部：中ボルト2-M12		※半数は、反転形	
記号	01 MB マセン棒	02 MB マセン棒		
寸法状				
場所／数量	繁殖牛房 / 2箇所	繁殖牛房 / 8箇所		
型式・見込				
仕様	48.6φx2.3 1段(溶融亜鉛メッキ HDZ50)	48.6φx2.3 1段(溶融亜鉛メッキ HDZ50)		
金物	B-R-6, □60x60x3.2, カンヌキ13φL=700	BR-6, □60x60x3.2, カンヌキ13φL=700		
備考				
記事		(SHOW) アトリエ 斧 一級建築士事務所 宮崎県知事登録第D2281号 一級建築士大臣登録第206727号 橋口 芳弘	COPY DRAW DESIGN CHECK SCALE 1/30 DATE 2019-09 TITLE 令和元年度 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業 武田畜産 牛舎等 新築工事 ITEM 【繁殖牛舎】 構リスト (1)	No. A-13

設 計 概 要	地名地番：串間市大字串間635番地3		用途地域：指定無し		外部仕上表	仕上、仕様		部位	仕上、仕様			
	防火地域：無し		その他の地域：無し									
	主要用途：畜舎		工事種別：新築			ガルバニウム鋼板(スレート小波、 $\wedge$ フ裏貼t=4)葺 t=0.4			ガルバニウム鋼板(スレート小波)張 t=0.4			
	構造規模：木造、平家建て					棟・ケラバ包；ガルバニウム鋼板 t=0.4			水切：ガルバニウム鋼板 t=0.4			
	敷地面積：2,012.60 m <sup>2</sup>					屋根材現し						
	建築面積：248.00 m <sup>2</sup>											
	延床面積：217.50 m <sup>2</sup>					軒樋：塩ビ製，W=150			コンクリート直仕上(木ごて)			
						豎樋：VU 100φ						
内部仕上表	室名	床	GL+	巾木	腰壁	壁	天井	高さ	備考			
	育成牛房	コンクリート直仕上(木コテ)		100			コンクリート打放	500				屋根材現し(妻面のみ)
	給餌通路	コンクリート直仕上(木コテ)	100	コンクリート打放	500		ガルバニウム鋼板現し(妻面のみ)	屋根材現し	NC	糞止：杉1等、加圧注入材、90x90-3段		
										飼槽		
特記事項										※ 建築物に使用する材料は、法第37条に適合するものとする。		
										※ 電気設備関係 法第32条に適合するものとする。		
										※ 設備関係令第129条の2の5の配管設備に適用するものとする。		



記事



アトリエ  
一級建築士事務所  
宮崎県知事登録 第D2281号  
一級建築士大臣登録 第206727号 橋口 芳弘

COPY

DESIGN

SCALE  
1/300

TITLE 令和元年度 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業  
武田畜産 牛舎等 新築工事

DRAW

CHECK

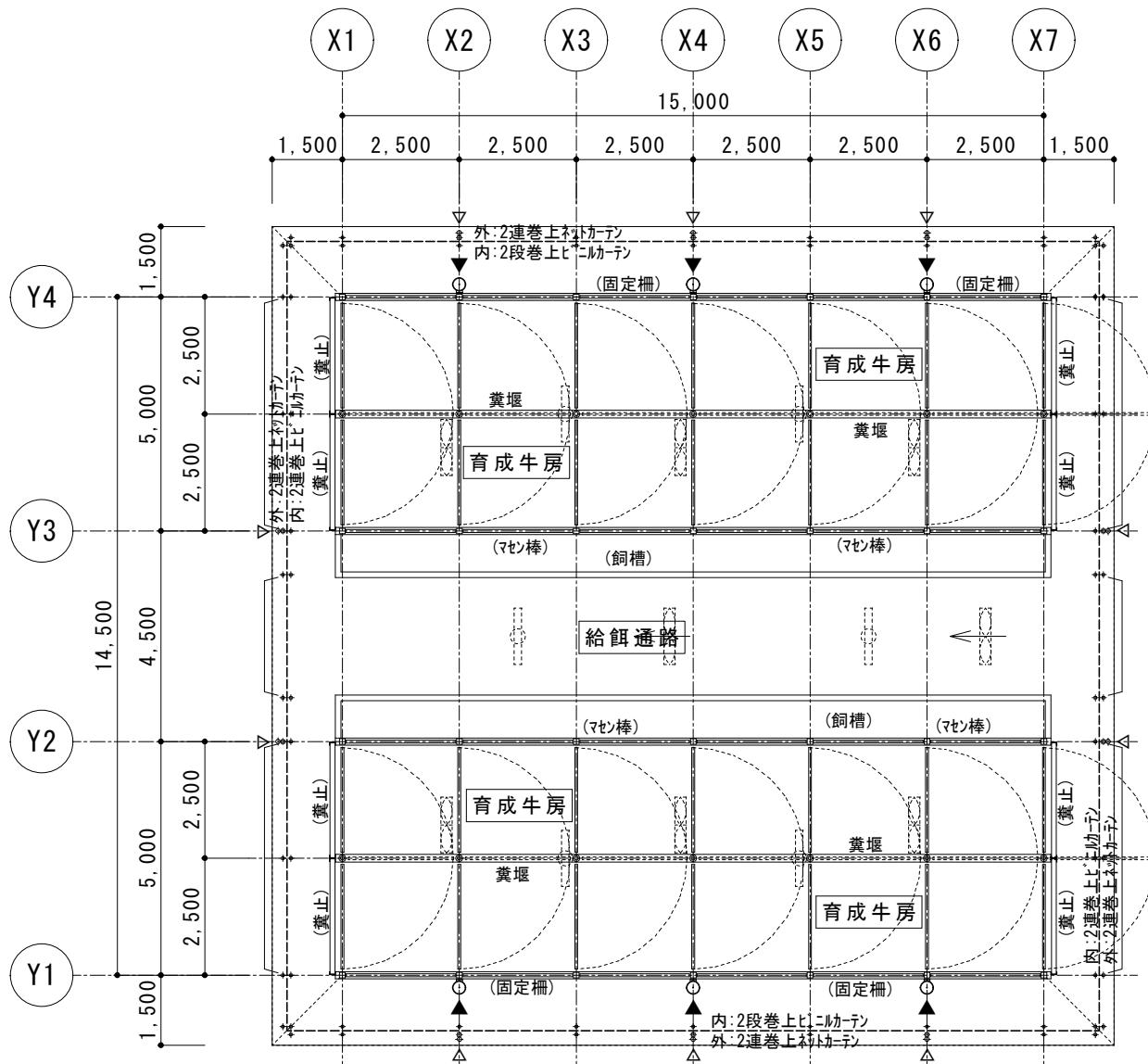
DATE

2019-09

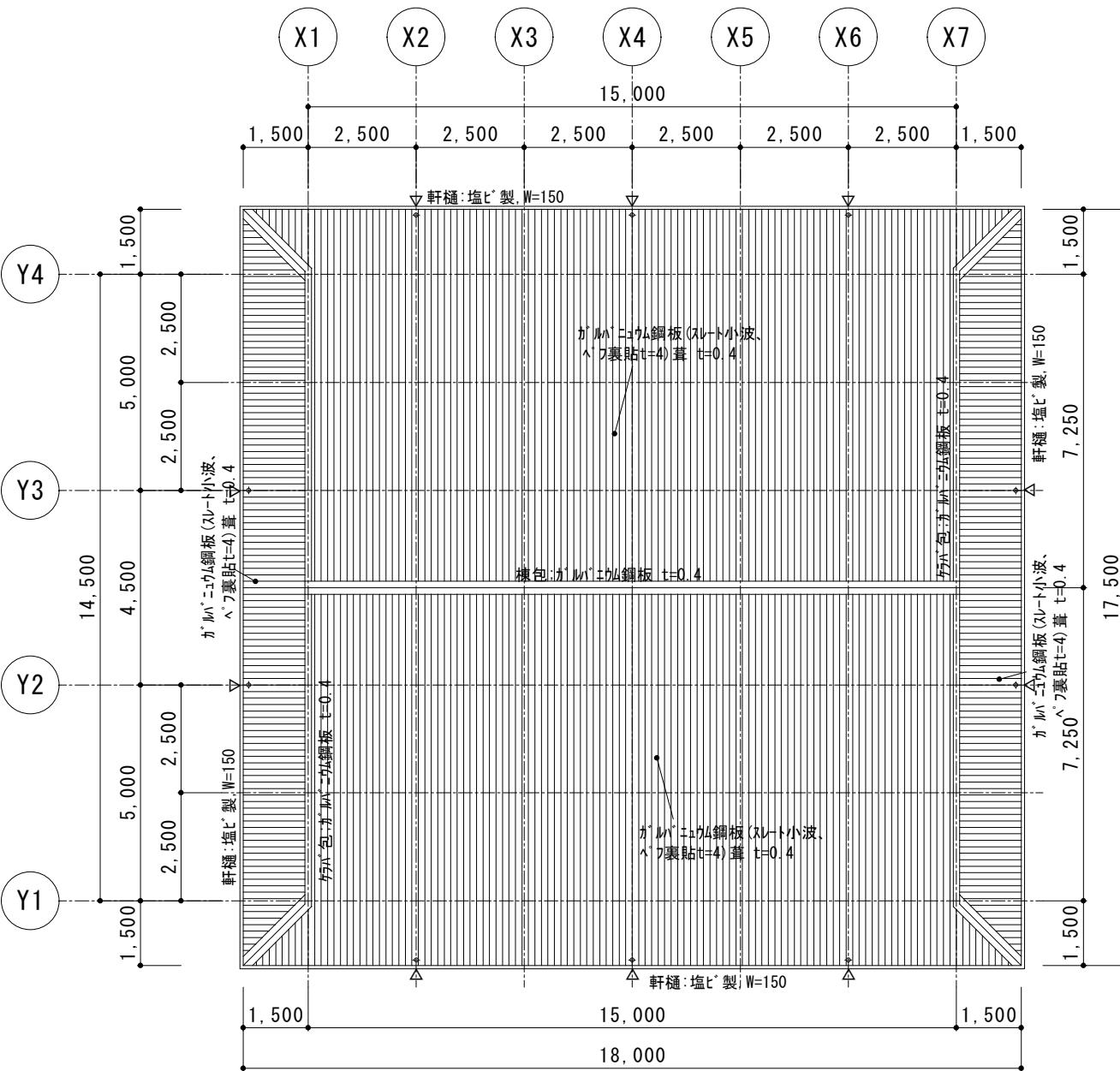
ITEM

【育成牛舎】設計概要・仕上表・求積図

No. A-14



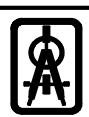
■ 平面図 1/150 ■

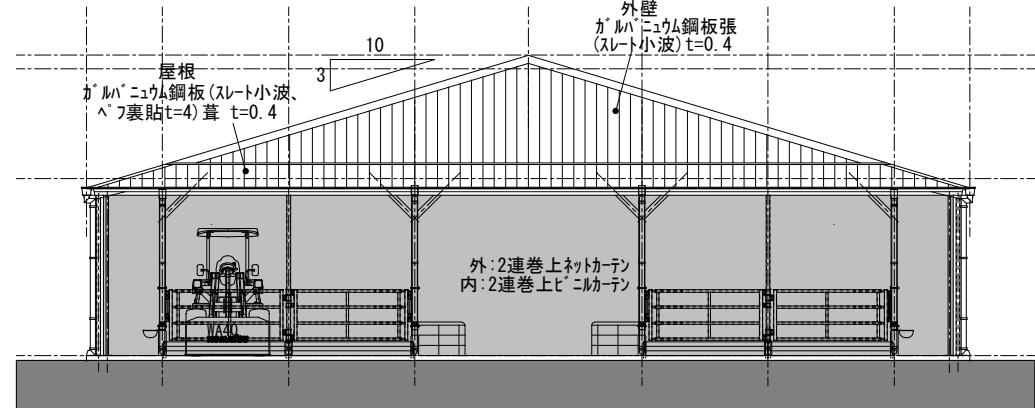


■ 屋根伏図 1/150 ■

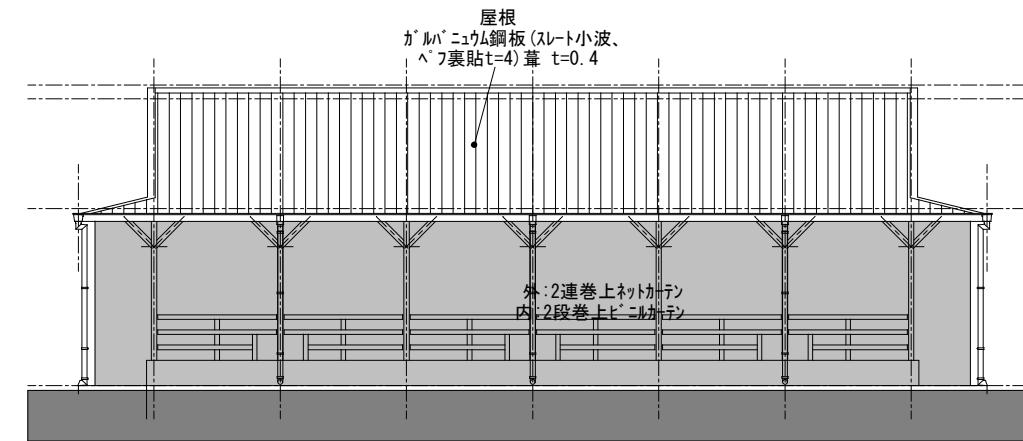
凡 例

- ▼ ウオーターカップ(フロート式)(6箇所)
- ▽ 壓桿、VU100φ(10箇所)
- ◻ 换気扇、1000φ(8箇所)
- ◑ 蛍光灯(6箇所)

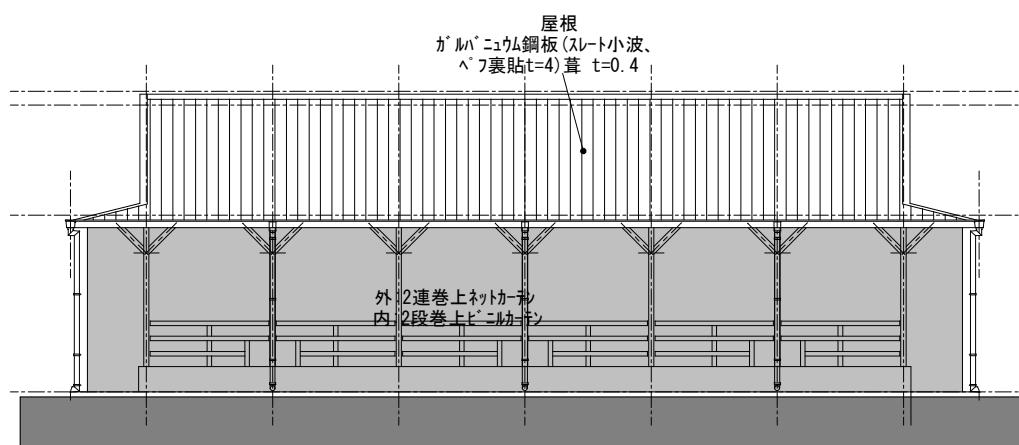




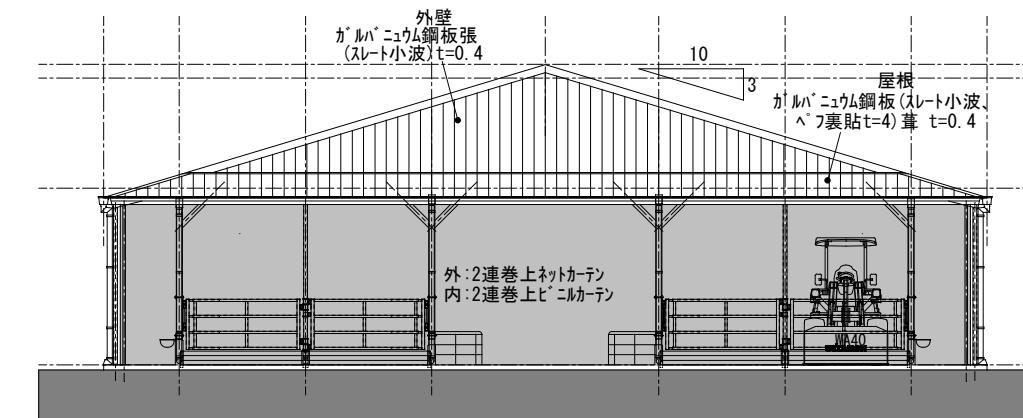
■ 東側 立面図 1/150 ■



■ 南側 立面図 1/150 ■



■ 北側 立面図 1/150 ■



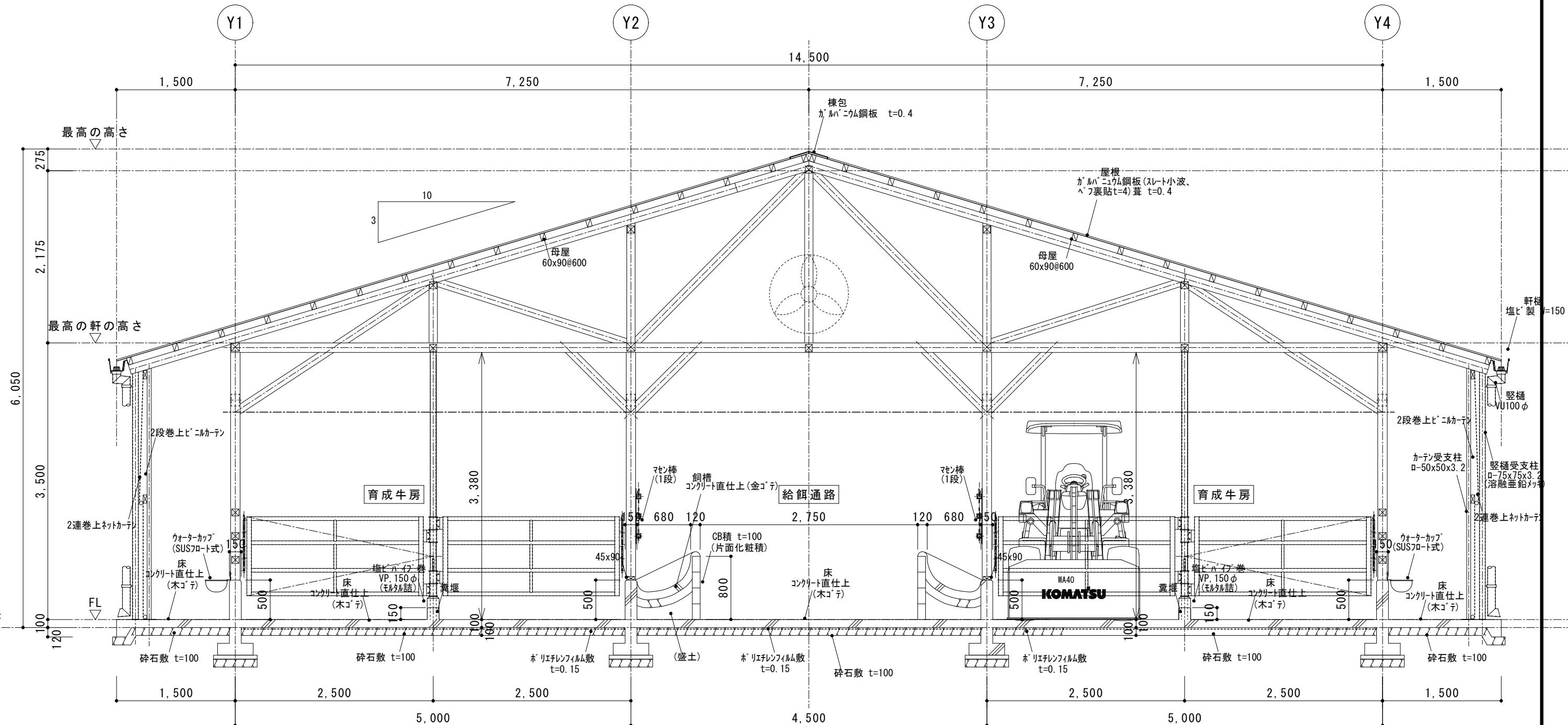
■ 西側 立面図 1/150 ■

記 事	_____
	_____



**アトリエ匠 (SHOW)**  
一級建築士事務所  
宮崎県知事登録第D2281号  
一級建築士大臣登録第206727号 橋口芳弘

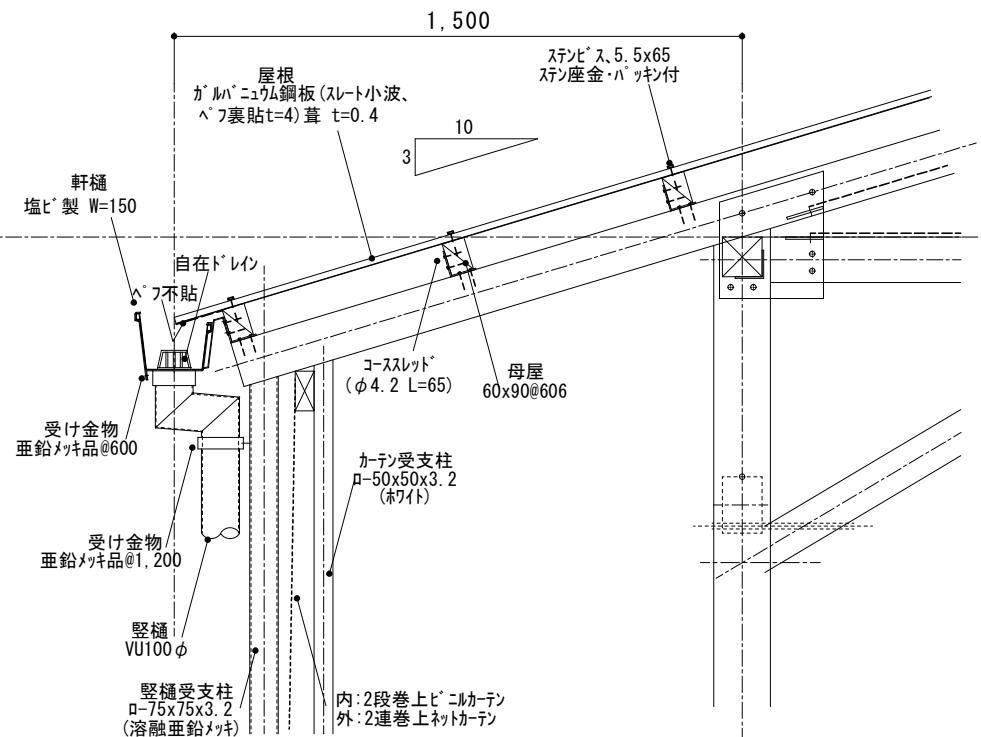
COPY	DESIGN	SCALE 1/150	TITLE 令和元年度 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業 武田畜産 牛舎等 新築工事	No. A-16
DRAW	CHECK	DATE 2019-09	ITEM 【育成牛舎】 立面図	



■ 矩計詳細図 1/50 ■

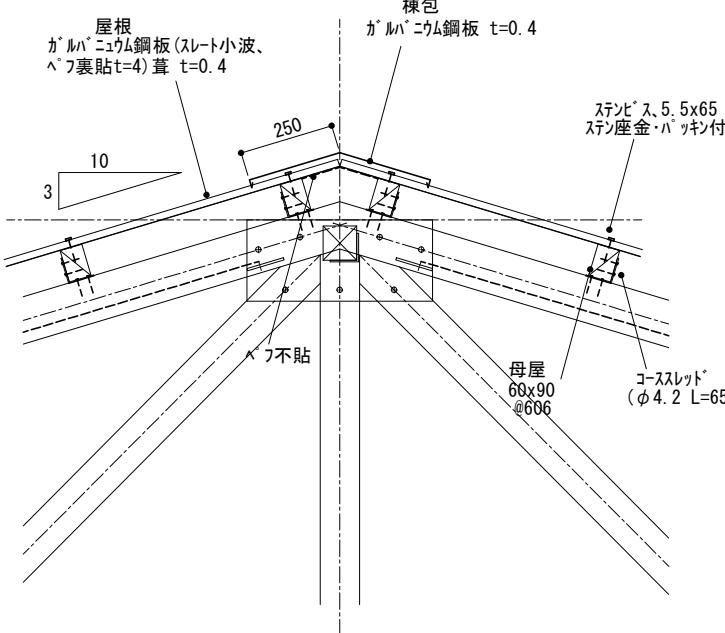
軒先 部分詳細図

1/20



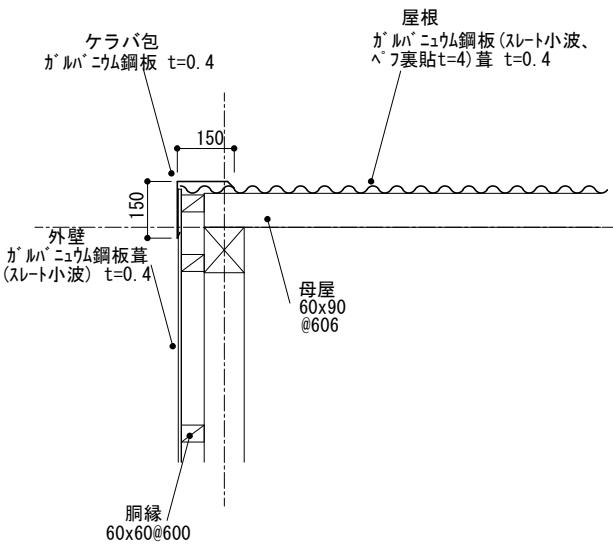
棟 部分詳細図

1/20



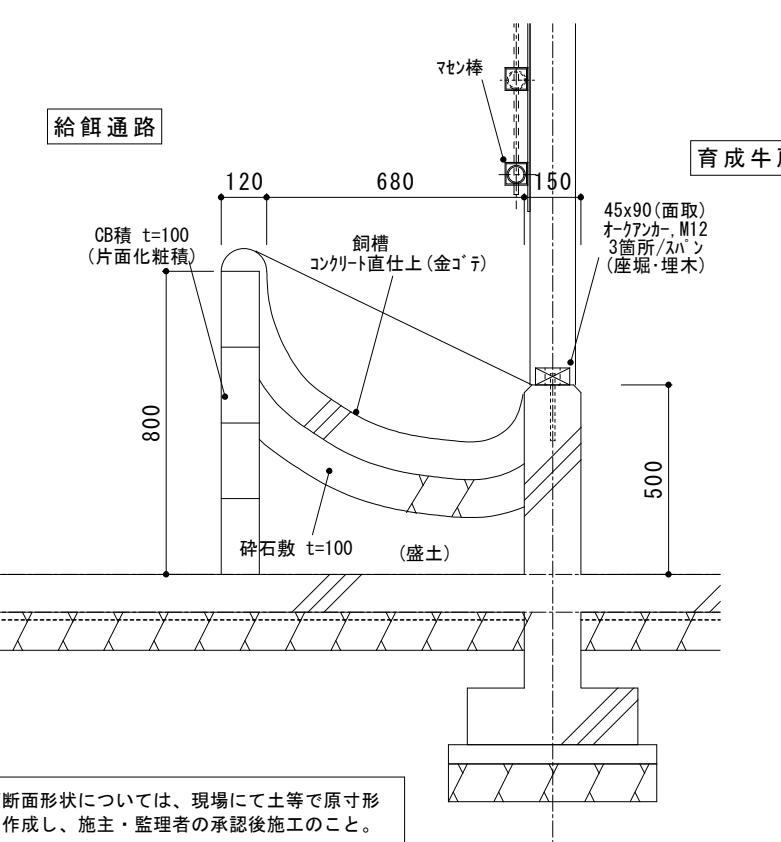
ケラバ 部分詳細図

1/20



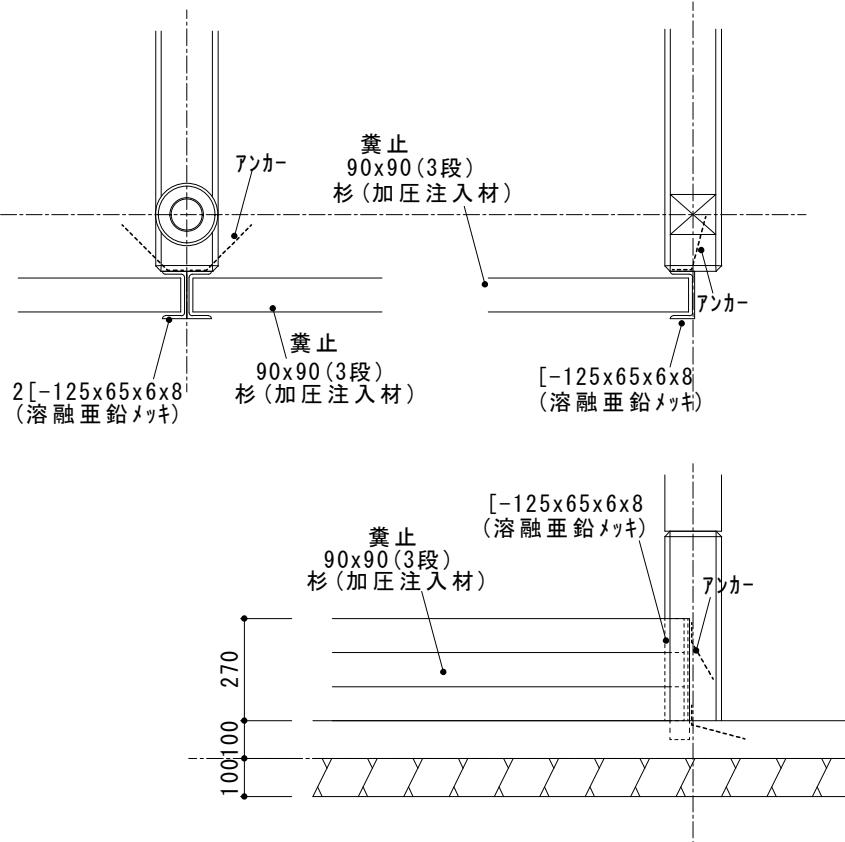
飼槽 部分詳細図

1/20

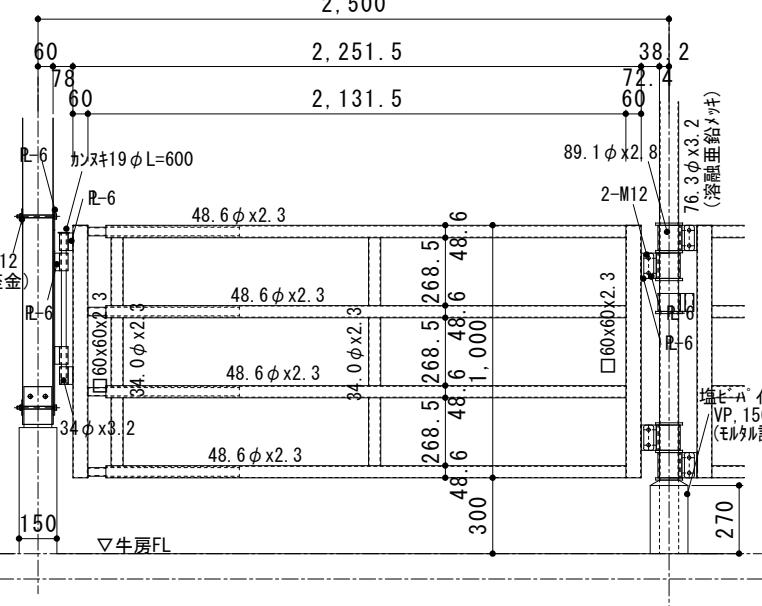


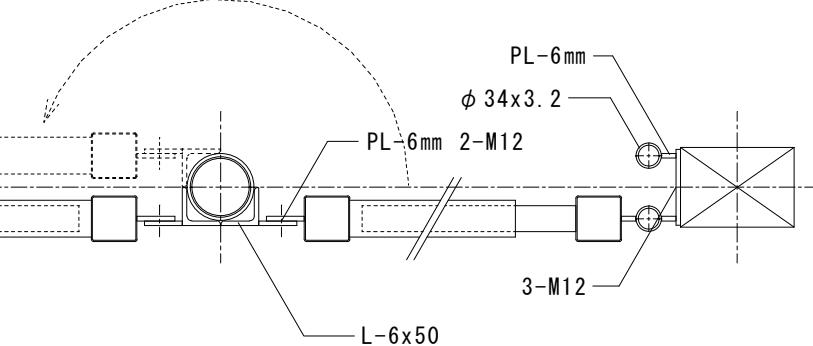
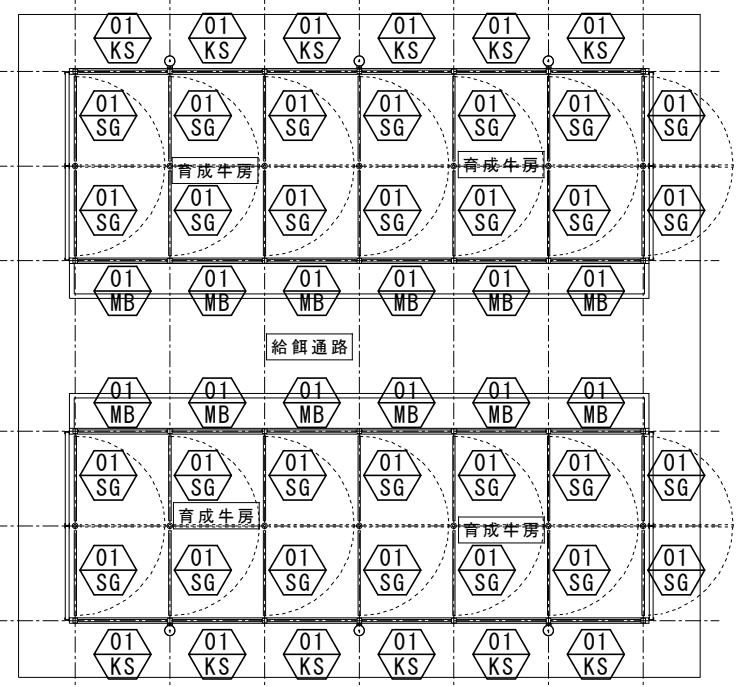
糞止め 部分詳細図

1/20



■ 構造リスト 1/30 ■

記号	01 SG 回転柵
寸法状	
場所／数量	育成牛房 / 28箇所
型式・見込	60x60x2.3, 48.6φx2.3 (溶融亜鉛メッキ HDZ50)
仕様	BR-6, カンヌキ19φ L=600
金物	BR-6, カンヌキ19φ L=600
備考	回転軸部：中ボルト 2-M12 ※半数は、反転形

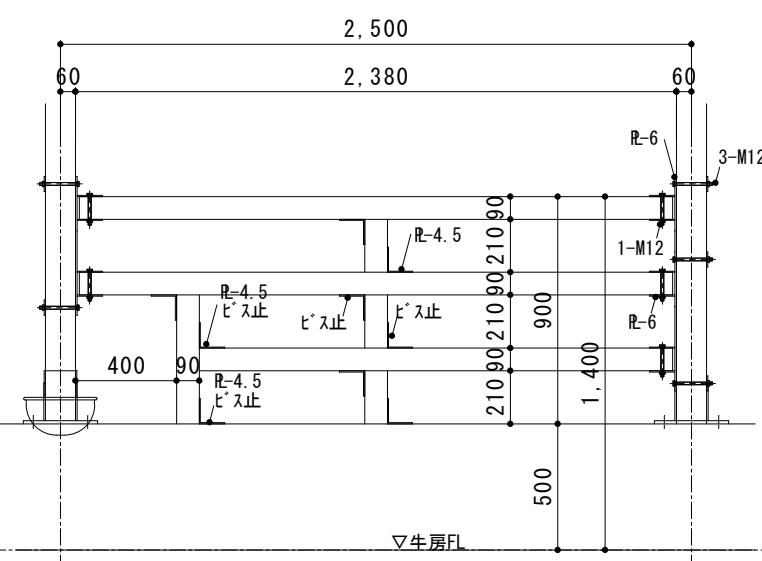
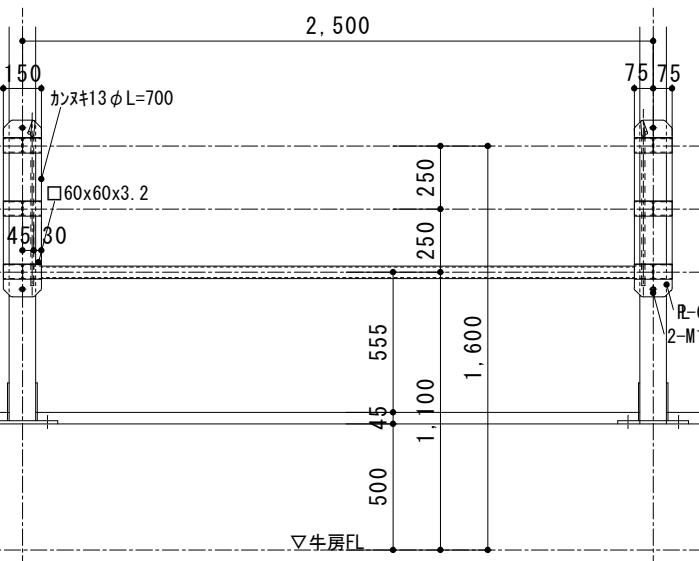


■ SG-01 部分詳細図 1/10 ■

■ 構造位置図 1/200 ■

注)  
・柵の形状については、現場にて部分変更の可能性が有るので施主監理者と打合せの上承認後決定とする。

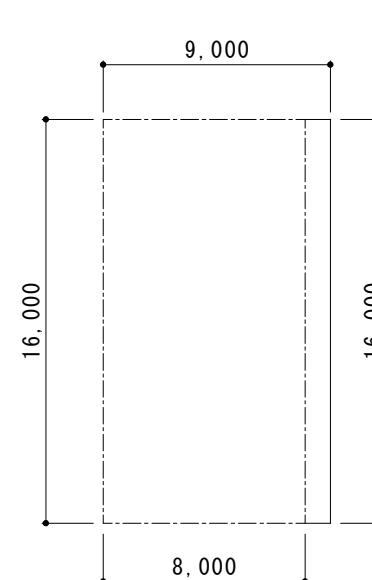
■ 構造リスト 1/30 ■

記号	01 KS 木製固定柵	01 MB マセン棒
寸法状		
場所／数量	育成牛房 / 12箇所	育成牛房 / 12箇所
型式・見込	木製、90x90	
仕様	杉、1等	48.6φx2.3 1段 (溶融亜鉛メッキ HDZ50)
金物	取付金物：溶融亜鉛メッキ	BR-6, □60x60x3.2, カンヌキ13φ L=700
備考	※半数は、反転形	



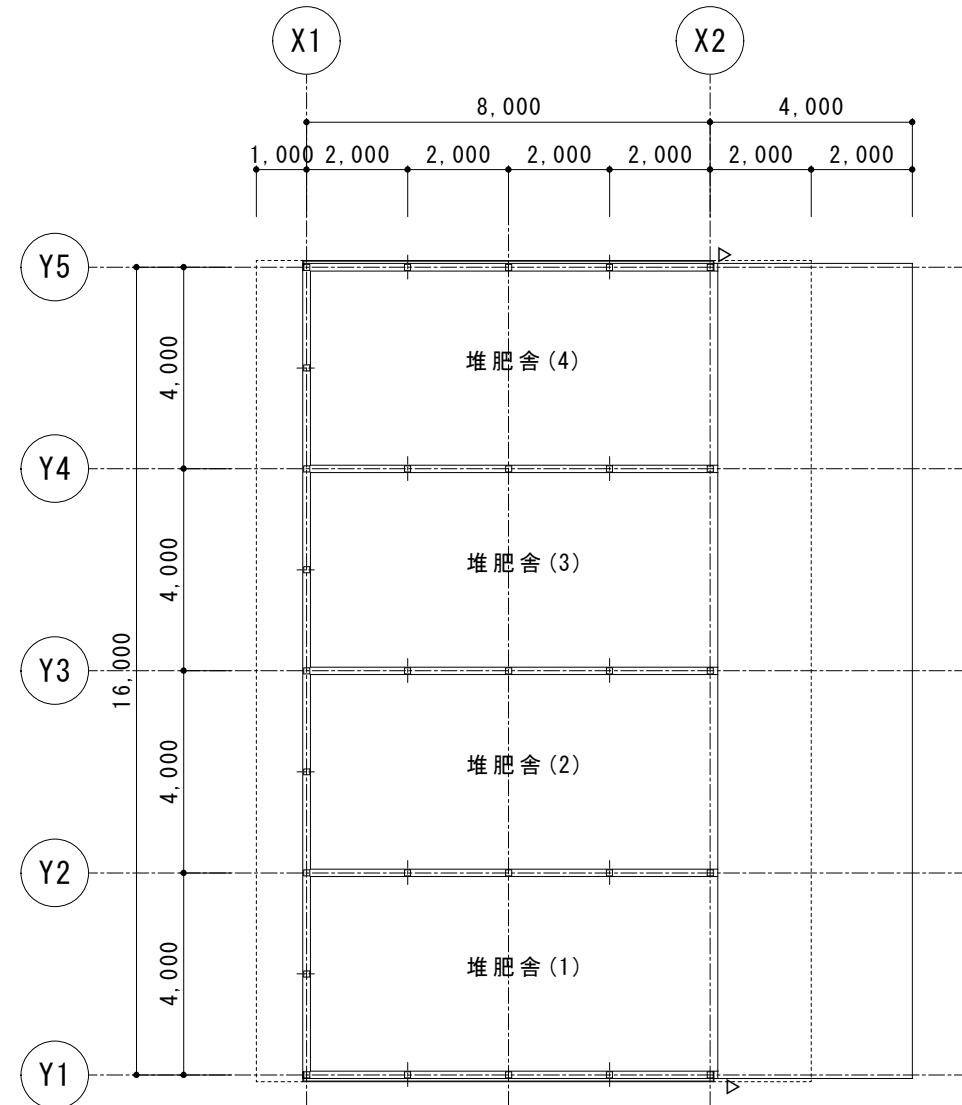
設 計 概 要	地名地番：串間市大字串間635番地3		用途地域：指定無し		外部仕上表	仕上、仕様		部位	仕上、仕様			
	防火地域：無し		その他の地域：無し									
	主要用途：堆肥舎		工事種別：新築			屋根：ガルバニウム鋼板(スレート小波)葺 t=0.4			外壁：ガルバニウム鋼板(スレート小波)張 t=0.4			
	構造規模：木造、平家建て					棟・ケラバ包：ガルバニウム鋼板 t=0.4			角当：ガルバニウム鋼板 t=0.4			
	敷地面積：2,012.60 m <sup>2</sup>					軒裏：屋根材現し			外巾木：コンクリート打放			
	建築面積：144.00 m <sup>2</sup>					樋：軒樋：塩ビ製 W=150(東面のみ)			犬走り：コンクリート直仕上(木ごて)			
	延床面積：128.00 m <sup>2</sup>					堅樋：VU 100φ						

内部仕上表	室名	床	GL+	巾木	高さ	腰壁	高さ	壁	天井	高さ 廻縁	備考
	堆肥舎	コンクリート直仕上(木コテ)		100		コンクリート打放		2,000			



建築面積   
 $9.00 \times 16.00 = 144.00$   
 計 = 144.00 m<sup>2</sup>

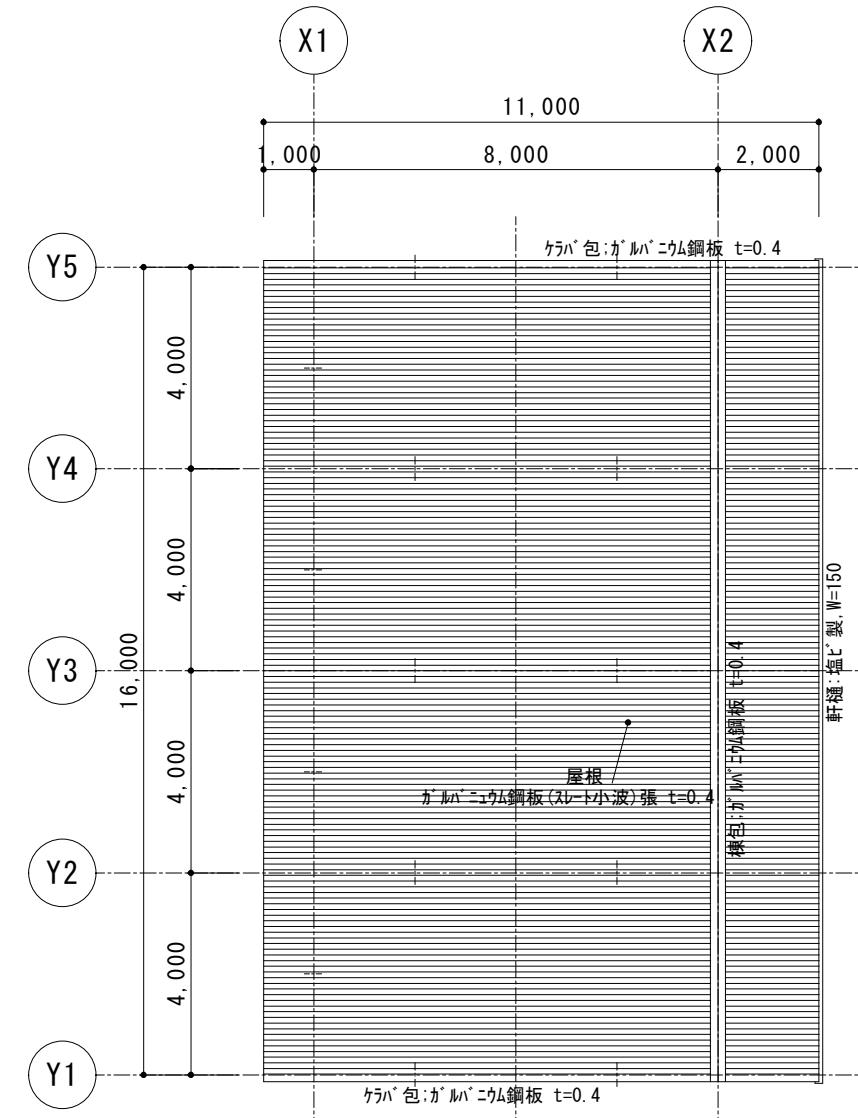
床面積   
 $8.00 \times 16.00 = 128.00$   
 計 = 128.00 m<sup>2</sup>



■ 求積図 1/300 ■

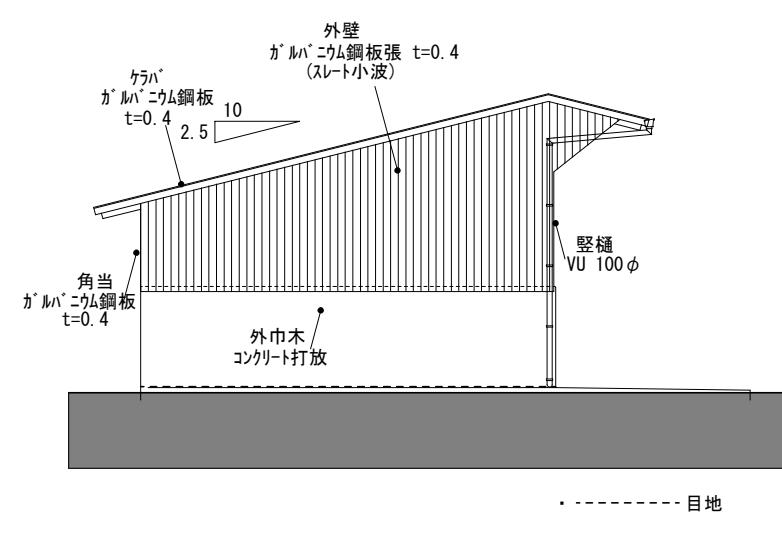
■ 平面図 1/150 ■

凡例  
 ▽ 堅樋(2箇所)

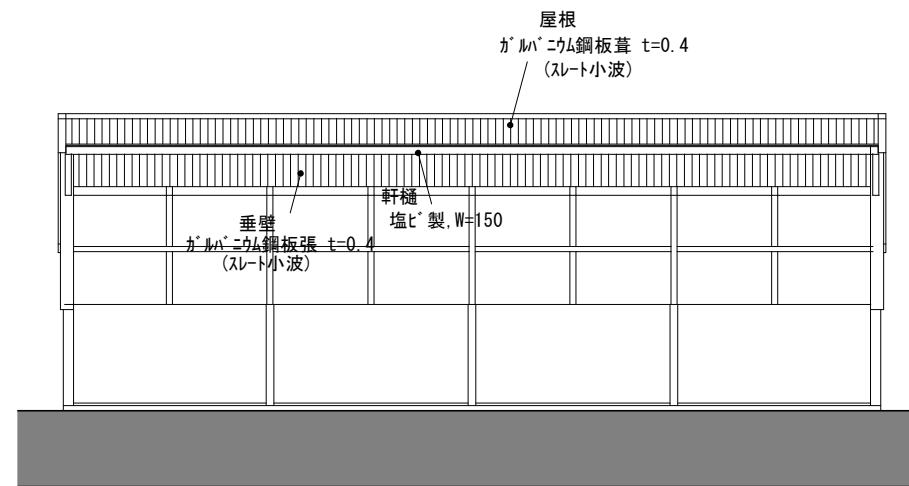


■ 屋根伏図 1/150 ■

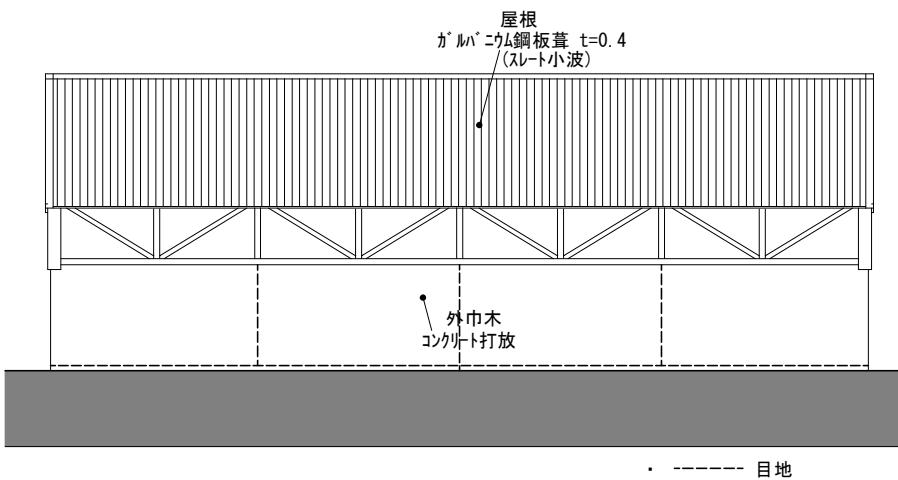




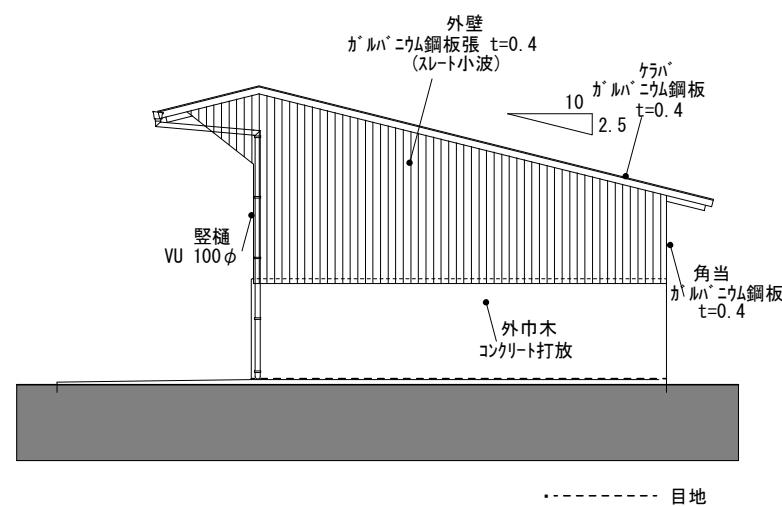
■ 南側 立面図 1/50 ■



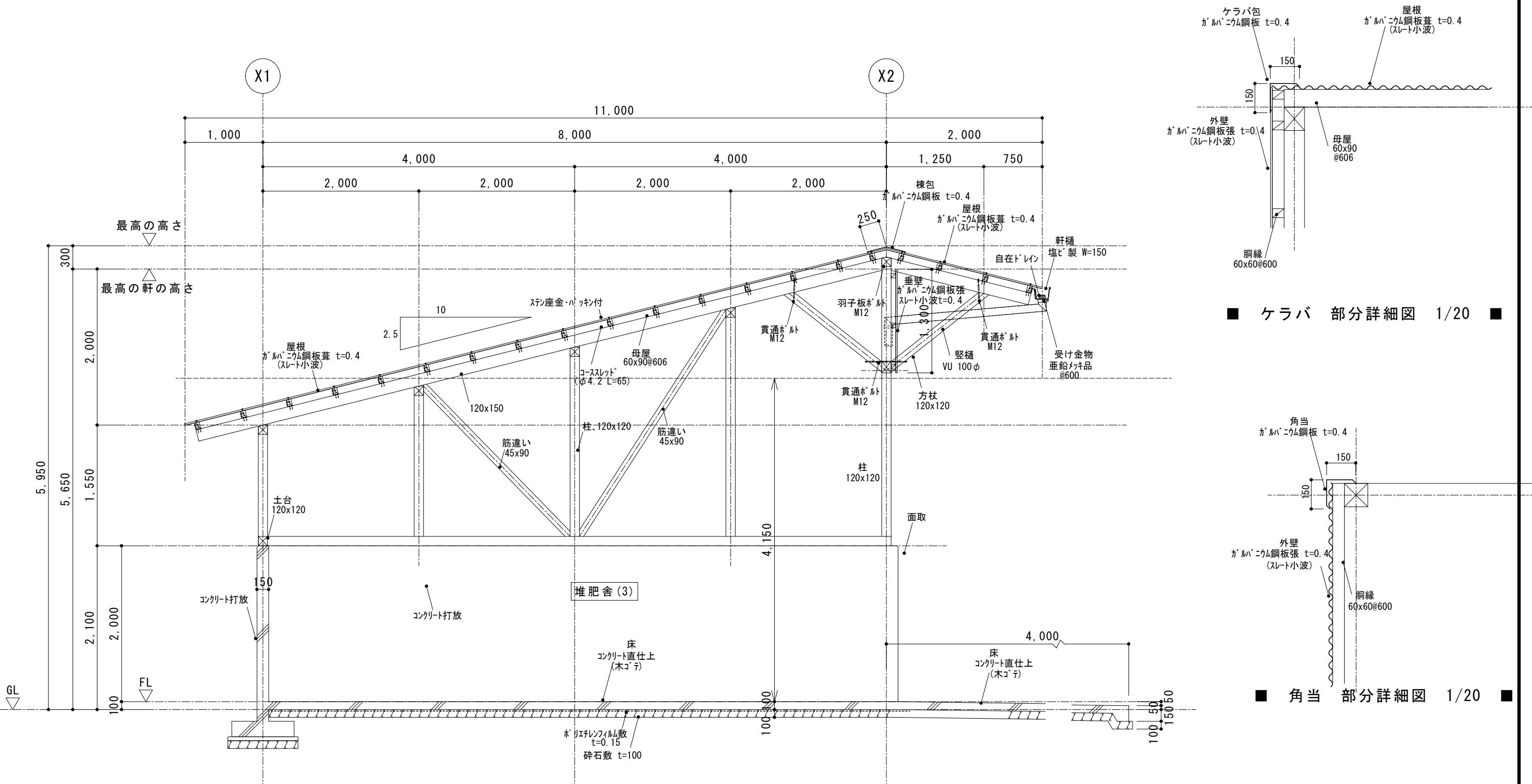
■ 東側 立面図 1/50 ■



■ 西側 立面図 1/50 ■



■ 北側 立面図 1/50 ■



■ 矩計詳細図 1/50 ■

# 構造設計標準仕様

※修正箇所は下線を引くこと  
適用は ■ 印を記入する。

## 1. 建築物の構造内容

(1) 建築場所	串間市大字串間 635番地3
(2) 工事種別	■ 新築 □ 増築 □ 増改築 □ 改築
(3) 構造設計一級建築士の関与	□ 必要 ■ 必要としない
□ 法第20条第一号(高さ60m超)	
□ 法第20条第二号(□RC造高さ20m超 □S造4階以上 □木造高さ13m超 □その他)	
(注)構造設計一級建築士の関与が義務づけられる建築物については解説書を参照して確認すること。	
(4) 構造種別	
■ 木造(W) □ 補強コンクリートブロック造(CB) □ 鉄骨造(S)	
□ 鉄筋コンクリート造(RC) □ 壁式鉄筋コンクリート造(WRC)	
□ 鉄骨筋コンクリート造(SRC) □ 壁式プレイヤスト鉄筋コンクリート造(WPRC)	
□ プレイヤスト鉄筋コンクリート造(PCR) □	
(5) 階数	
繁殖牛舎棟 地下 階 地上 1 階 塔屋 階	
育成牛舎棟 地下 階 地上 1 階 塔屋 階	
(6) 主要用途	畜舎
(7) 屋上付属物	
□ 高架水槽 kN □ キュービクル kN □ 広告塔 □ 煙突	
(8) 特別な荷重	
□ エレベーター 人乗り(マジカルムス、ロープ式、油圧式) □ リフト kN □ ホイスト kN	
□ 倉庫積載床用 N/m <sup>2</sup> □ 受水槽 kN □	
(9) 付帯工事	
□ 門扉 □ 摺壁 □ 駐輪場 □ 機械式駐車場 □ □	
(10) 増築計画 □ 有( ) □ 無( )	
(11) 構造計算ルート X方向ルート 1 - ( ) Y方向ルート 1 - ( )	

## 2. 使用構造材料

(1) コンクリート (レディーミキストコンクリート JIS Q 1001, JIS Q 1011, JIS A 5308)	
適用箇所	種類 設計基準強度 F <sub>c</sub> =N/mm <sup>2</sup> 品質管理強度 F <sub>q</sub> =N/mm <sup>2</sup> スランプ cm 備考
捨コンクリート	■ 普通 18 15
土間コンクリート	■ 普通 18 15
基礎、基礎梁	■ 普通 18 15
組合材の種類	■ 砂 □ 山砂 □ 人工 □
組合材の種類	■ 砂利 □ 距石 □ 人工 □
水の区分	■ 水道水 □ 地下水 □ 工業用水 □
混和材料の種類	□ AE減水剤 □ 高性能AE減水剤 □
呼び強度を保証する材質、養生	■ 28日 □ 56日 □
■ 养生 (□ 現場封かん □ 現場水中 □ 標準 □ )	

■ 単位水量は185kg/m<sup>3</sup>以下、単位セメント量は270kg/m<sup>3</sup>以上とする。

(2) コンクリートブロック (CB) (□ JIS A 5406) 使用箇所

□ A種 □ B種 ■ C種 厚 ■ 100 □ 120 □ 150 □ 190 □

(3) 鉄筋	種類	径	使用箇所	継手法
■ SD 295 A	10, D13	基礎	■ 重ね継手	
■ SD 295 B			□	
丸鋼(JIS G 3112)	□ S R 2 3 5			
溶接金網(JIS G 3551)	■ 6φ-150	土間		

## 3. 地盤

(1) 地盤調査資料と調査計画	■ 有( ) □ 敷地内 □ 近隣( ) □ 無( ) □ 調査計画 □ 有( ) □ 無( )
調査項目	資料有り 調査計画 調査項目 資料有り 調査計画 調査項目 資料有り 調査計画
ボーリング調査	静的貫入試験 標準貫入試験
水平地盤反力係数の測定	土質試験 物理探査
試験場(支持層の確認)	平板載荷試験 波状化判定
スクエアーデンサウンドイング	○ 現場透水試験 P.S.検査
表面探査法	

注)上記表中の資料が有るもの、調査計画が有るものに○を記入する。

(2) ボーリング標準貫入値、土質構成 (基礎・杭の位置を明記すること)

探度	N値	10	20	30	40	50	60	○調査地番	○位置図	○孔内水位 G.L.- m	○近隣データの調査地番と設計地番とは約 mの距離がある	備考

注)地盤調査及び試験杭の結果より、杭長さ、杭種、直接基礎の深さ、形状を変更する場合もある。

## 4. 地業工事

(1) 直接基礎 □ ベタ基礎 ■ 布基礎 □ 独立基礎 試験場 ■ 有( ) 無( )
長期許容支持力度 30 KN/m <sup>2</sup> 載荷試験 □ 有( ) 無( )
深さG.L.- 0.35 m 支持層-
長期許容支持力度 KN/m <sup>2</sup> 載荷試験 □ 有( ) 無( )
深さG.L.- m 支持層-

杭種	材料	施工法	備考
□ R.C. □ P.R.C.	PRC ( □ I種 □ II種 □ III種 )	打ち込み	
□ P.H.C. □ H鋼	PHC ( □ A種 □ B種 □ C種 )	埋込み(セミトヨ工法)	
□ 鋼管 □ 摩擦杭	鋼材 SS400 □ SKK400		大臣認定第号
□ SC杭	□ JIS		年月日

杭種	材料	施工法	備考
□ R.C. □ P.R.C.	PRC ( □ I種 □ II種 □ III種 )	打ち込み	
□ P.H.C. □ H鋼	PHC ( □ A種 □ B種 □ C種 )	埋込み(セミトヨ工法)	
□ 鋼管 □ 摩擦杭	鋼材 SS400 □ SKK400		大臣認定第号
□ SC杭	□ JIS		年月日

## 5. 鉄筋コンクリート工事 (施工方法等計画書)

(1) コンクリート  
■ コンクリートはJIS A 5308(レディーミキストコンクリート)に適合するJIS認定工場の製品とし施工に関しては、標準図に記載されている事項をぞきJASS 5による。

(2) 鉄筋  
■ 鉄筋はJIS G 3112の規格品を標準とする。施工は、標準図に記載されている事項を除き、コンクリートと同様JASS 5による。

■ 鉄筋の加工寸法、形状、かぶり厚さ、鉄筋の継手位置、継手の重ね長さ、定着長さは「鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)(2)」又は「壁式鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)(2)」による。

(3) 型枠  
■ 材料 合板厚 1.2mmを標準とする。 □ 施行はJASS 5による。

## 6. 木工事 (施工方法等計画書)

(1) 木工事は、次により行う。  
□ 軸組工法の場合は、木造住宅構造標準納まり図(在来軸組)(財団法人日本住宅・木材技術センター発行)による。  
□ 枠組壁工法の場合は、枠組壁工法用住宅標準納まり図(財団法人日本住宅・木材技術センター発行)による。  
□ 防耐火構造の納まりについては、木造住宅用の防耐火構造標準納まり図(財団法人日本住宅・木材技術センター発行)による。

## 7. 設備関係

■ 建築設備の構造は、構造耐力上安全な構造方法を用いるものとする。  
■ 建築設備の支持構造及び緊結金物には、銷止め等、防腐のための有効な措置を講じること。  
■ 設備配管は、地震等の建物変形に追従できること。又、地震力に対して適切に支持されていること。  
■ 設備機器の架台及び基礎については、風圧・地震力等に対して構造耐力上安全であること。  
■ 特記以外の梁貫通孔は原則として設けない。  
■ 床スラブ内に設備配管等を埋込む場合はスラブ厚の1/3以下とし管の間隔を管径の3倍以上かつ5cm以上を原則とする。

## 8. その他

■ 諸官庁への届出書類は遅延なく提出すること。  
■ 各試験の供試体は公的試験機関にて試験を行い工事監理者に報告すること。  
■ 必要に応じて記録写真を撮り保管すること。

## 1. 一般事項

(1) 構造図面に記載された事項は、本標準図に優先して適用する。

(2) 記号

d: 異形鉄筋の呼び名に用いた数字 丸鋼では径 D: 部材の成 R: 直径

@: 間隔 r: 半径 L: 中心線 l: 部材間の内法距離 h: 部材間の内法高さ

S.T.: あらび筋 H.O.O.P.: 帶筋 S. H.O.O.P.: 極端筋 Φ: 直径又は丸鋼

## 2. 鉄筋加工、かぶり

### (1) 鉄筋末端部の折曲げの形状

折曲げ角度	180°	135°	90°	折曲げ角度90°はスラブ筋・帶筋末端部又はスラブと同時に打ち込むT形及びL形梁のキャップタイにのみ用いる。
図				
鉄筋の余長	4d以上	6d以上	8d以上 (※4d以上)	
折曲げ内法寸法Rは、SR235～SD345の径16及びD16以下は3d以上、SD295～SD345のD19～D38は4d以上、D41およびSD390は5d以上。				
スラブ筋、壁筋には丸鋼は使用しない。				
※片持スラブ上端筋の先端				

### (2) 鉄筋中間部の折曲げの形状 鉄筋曲げ角度90°以下

図	鉄筋の使用箇所による呼称	鉄筋の種類	鉄筋の径による区分

# 木構造標準図

※修正箇所は下線を引くこと

## 1. ボルト接合

- (1) ボルト・ナット及び座金の寸法及び品質  
■ボルト・ナットは、JIS B 1180(六角ボルト)、JIS B 1181(六角ナット)の規格による。  
又、ボルト接合に使用する座金の寸法・厚さは下記表を標準とする。

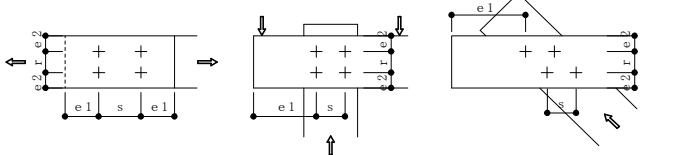
	ボルト径	8	10	12	16	20	24
座金の大きさ	厚さ	4.5	4.5	6	9	9	13
引張りを受けるボルト	角座金の一辺	40	50	60	80	105	125
丸座金の直径	45	60	70	90	120	140	
せん断を受けるボルト	厚さ	3.2	3.2	3.2	4.5	6	6
角座金の一辺	25	30	35	50	60	70	
丸座金の直径	30	35	40	60	70	80	

■ボルトの最小長さは、これを締め付けたとき、ねじ山が2山以上ナットより突き出す長さとする。

- (2) せん断を受けるボルトの配置  
■せん断を受けるボルトの配置は下記表による。

距離間隔	加力方向		
	繊維方向	繊維に直角方向	中間角度
s	7d以上	3d(1/d=2) 3d~5d(2≤1/d≤6) 5d以上(1/d≥6)	
r	3d以上	4d以上	角度に応じて繊維方向と繊維に直角方向の値の中間値をとる
e1	7d以上(荷重負担側) 4d以上(荷重非負担側)	7d以上	
e2	1.5d以上 1/d6のときは1.5d以上かつr/2以上	4d以上(荷重負担側) 1.5d以上(荷重非負担側)	

[注] d:ボルト径  
1:主材厚



[注] 1/dが小さい場合はe1, sの値を上記表に定める規定より大きく取ることが望ましい。  
又、e2, rの値は、力の作用条件及び使用状況を考慮し、適切な値を取る物とする。

## 2. ドリフトピン接合

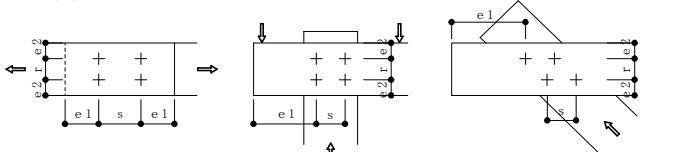
- (1) ドリフトピンの品質及び形状  
■ドリフトピンは、JIS G 3191(熱間圧延棒鋼とバーインコイルの形状、寸法及び質量並びにその許容差)に規定された丸鋼とする。

■ドリフトピンには材料強度が明らかなものを使用する。

- (2) ドリフトピンの配置  
■せん断を受けるドリフトピンの配置は下記表による。

距離間隔	加力方向		
	繊維方向	繊維に直角方向	中間角度
s	7d以上	3d(1/d=2) 3d~5d(2≤1/d≤6) 5d以上(1/d≥6)	
r	3d以上	4d以上	角度に応じて繊維方向と繊維に直角方向の値の中間値をとる
e1	7d以上(荷重負担側) 4d以上(荷重非負担側)	7d以上	
e2	1.5d以上 1/d6のときは1.5d以上かつr/2以上	4d以上(荷重負担側) 1.5d以上(荷重非負担側)	

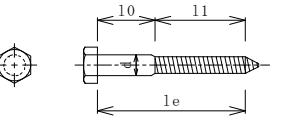
[注] d:ボルト径  
1:主材厚



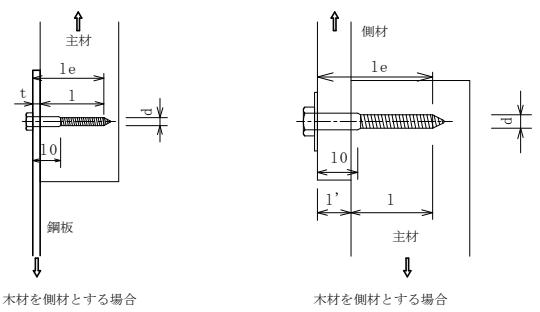
[注] ドリフトピンの径に対する主材厚又は有効長さの比(径長比1/d)が小さい場合には、e1, e2, sの値を上記表に定める規定よりなるべく大きく取る。。

## 3. ラグスクリュー接合

- (1) ラグスクリューの品質  
■ラグスクリューの材質は、JIS G 3507に規定される冷間圧延炭素鋼線材SWRCH10Rあるいはそれと同等以上の強度を有するものとする。



ラグスクリューの形状



ラグスクリューの接合形式

- ラグスクリュー接合部の接合形式は、上図とする。
- ラグスクリューの埋め込み有効長さ(l)は胴部直径(d)の8倍以上とする。
- 木材を側材とする場合、側板の厚さ(1')は、胴部直径(d)の3倍以上とする。
- 座金及び鋼板の厚さは、「1. ボルト接合」の座金の寸法・厚さと同じとする。

- (2) ラグスクリュー接合部に於ける注意事項  
■ラグスクリューの配置間隔、縁距離及び端距離等は同じ胴部径のドリフトピンに対する規準を適用する。  
■軸部の先穴は軸部の径と同径とし、その大きさも軸部と同寸とする。ねじ部の先穴はねじ系の40~70%とし、その長さは少なくともねじ部の長さと同じにする。  
■ラグスクリューはその先穴にレンチなどで回しながら挿入する。ハンマーなどで打ち込んではならない。

なお、挿入を容易にするために適当な潤滑剤を用いてよい。

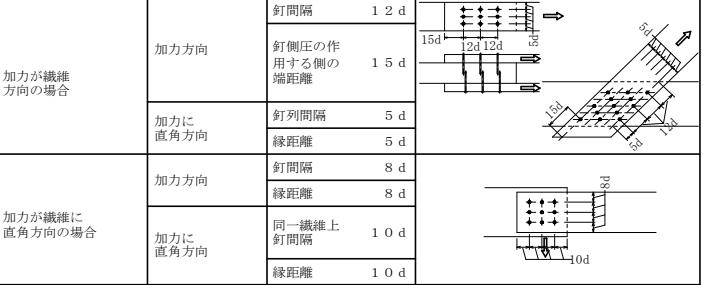
## 4. 鋼接合

### (1) 鋼の品質

- 鋼は、JIS A 5508(くぎ)に規定される鉄丸くぎ、細め鉄丸くぎ及び太め鉄丸くぎのうち、径2.5mm以上のものに対して適用する。これ以外の釘の許容耐力は実験によって定めることを原則とする。

### (2) せん断を受ける釘の配置

- 接合部1箇所の釘本数は2本以上とし、釘配置は下記による。



## 5. 木ねじ接合

### (1) 木ねじの品質

- 木ねじは、JIS B 1112(十文字穴付き木ねじ)及びJIS B 1135(すりわり付き木ねじ)の規格による。

### (2) 木材と木材の1面せん断接合

- 木ねじの長さは、側材厚の2.5倍以上とし、有効主材厚(1)は木ねじの呼び径dの6倍以上、側材厚(1')は木ねじの呼び径dの4倍以上とする。

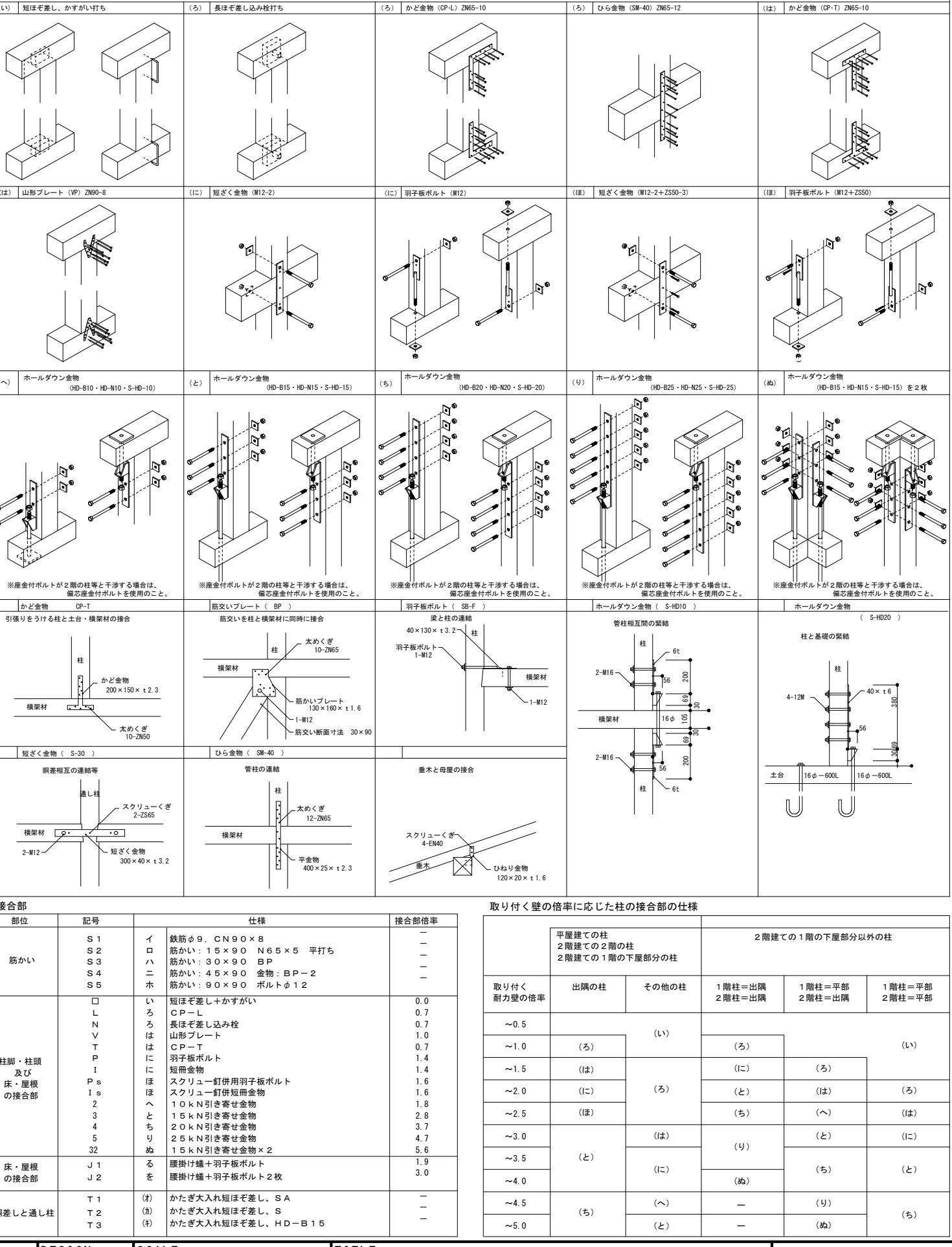
### (3) 木材と鋼板の1面せん断接合

- 有効主材厚(1)は木ねじの呼び径dの6倍以上とする。

### (4) 木ねじの配置

- 接合部1箇所の木ねじ本数は2本以上とし、木ねじ配置は「4. 鋼接合」による。

接合金物標準図 ( 平成12年建設省告示第1460号接合金物標準図 )



## 木工事特記仕様書

### <材料>

- 木材 構造材:材種は杉、特1等材とし、木材の断面は引き立て寸法とする、又、表面仕上げはなしとする。
- 鋼材 規格番号 規格名称等 種類の記号
 

JIS G 3101	一般構造用圧延鋼材	SS400 ( $t \geq 6mm$ )
------------	-----------	------------------------

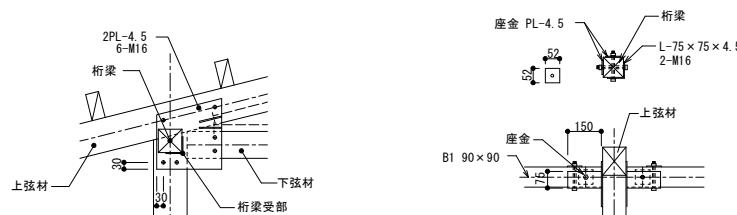
部材接合用鋼材は鍛止塗装仕上げ(JIS K5674、ターケグレー)とする。

  - 通しボルト メートルネジ JIS B 1180-1965 (ユニクロメッキ)
  - ナット メートルネジ JIS B 1181-1965 (ユニクロメッキ)
  - 座金 52 \* 52 (住金用)
  - ワッシャー 丸ワッシャー (ユニクロメッキ)
  - 溶接材料 溶接棒等の種類は、母材の種類、寸法及び溶接条件に相応したものを選定する。
  - ターンバックル ターンバックルのターンバックル胴は割鉄式、ターンバックルボルトは羽子板ボルトとする。

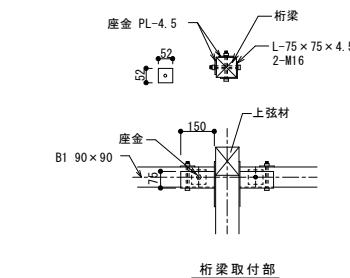
### <工作一般>

- けがき けがきは、工作図、現寸図、型枠、定規等により正確に行う。
- 切断及び曲げ加工 鋼材の切断面は、材軸に垂直とする。  
曲げ加工は、鋼材の機械的性質等を損なわない方法により行う。
- ひずみの矯正 素材又は組み立てられた部材のひずみは、各工程において材質を損なわないよう矯正する。
- ボルト径 せん断孔あけとする。
- 接合 ボルトの接合は、緩み及びズレのないよう締め付ける。  
せん断ボルトは、座金を用いて、ナットの外に3山以上出るようにする。  
母屋、胴縁類の取り付けは、ビス ( $\phi 4.2 \times L65$ ) =しくは鍛止め(丸鉄L65)とする。

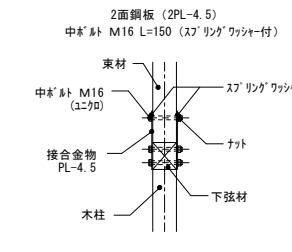
木造軸組トラス用の金物標準図



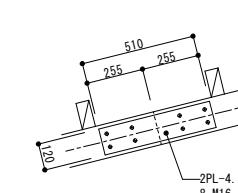
軸組金物標準図(例)



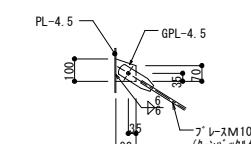
析梁取付部



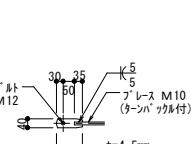
軸組接合部



ジョイントフレート標準図

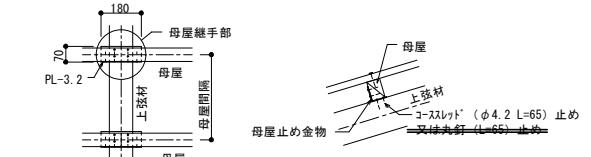


(屋根・水平フレース・雲筋交い共通)

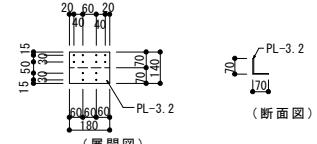


(羽子板形状)

フ'レース端部詳細図

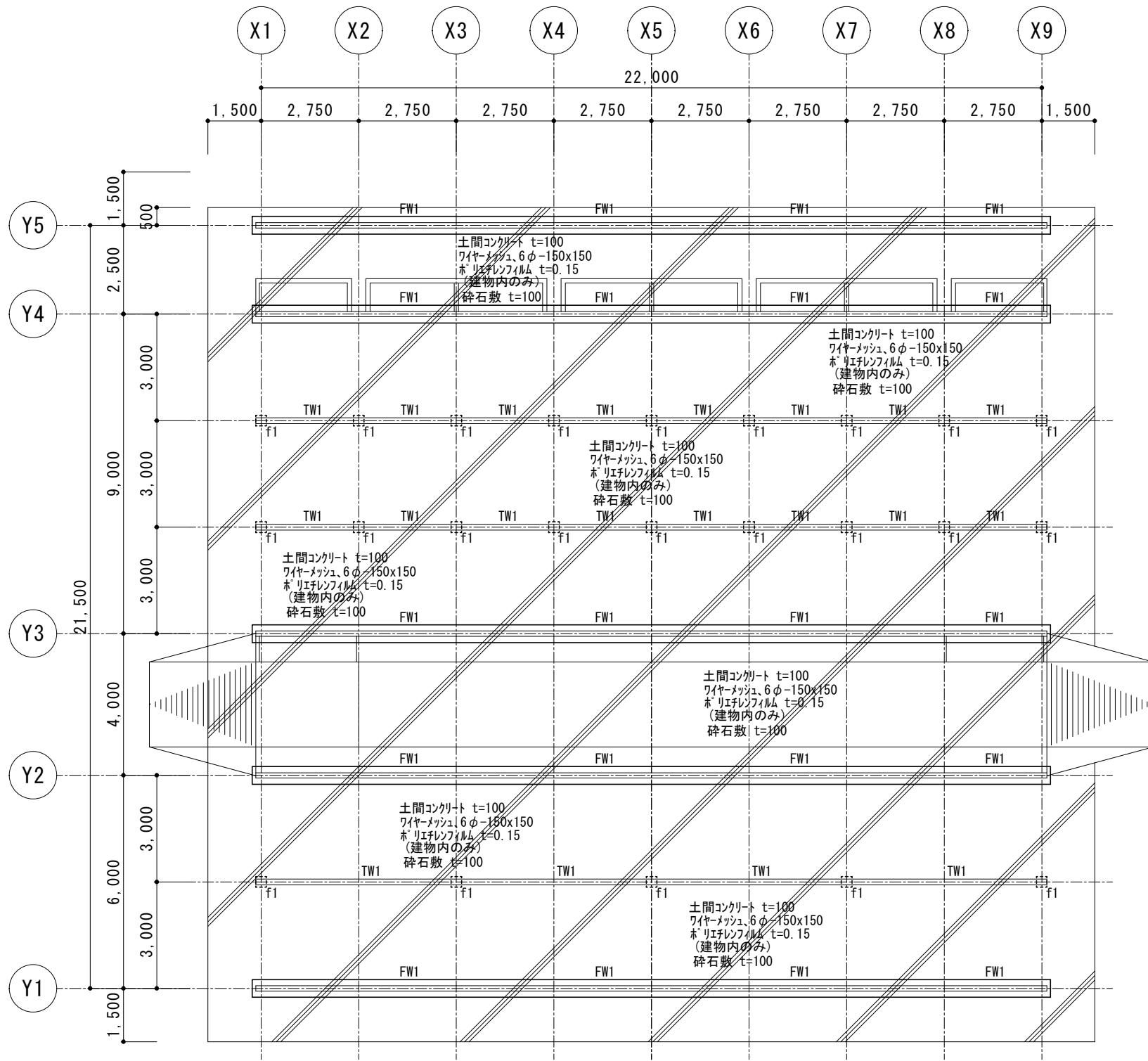


屋根・母屋取付詳細図

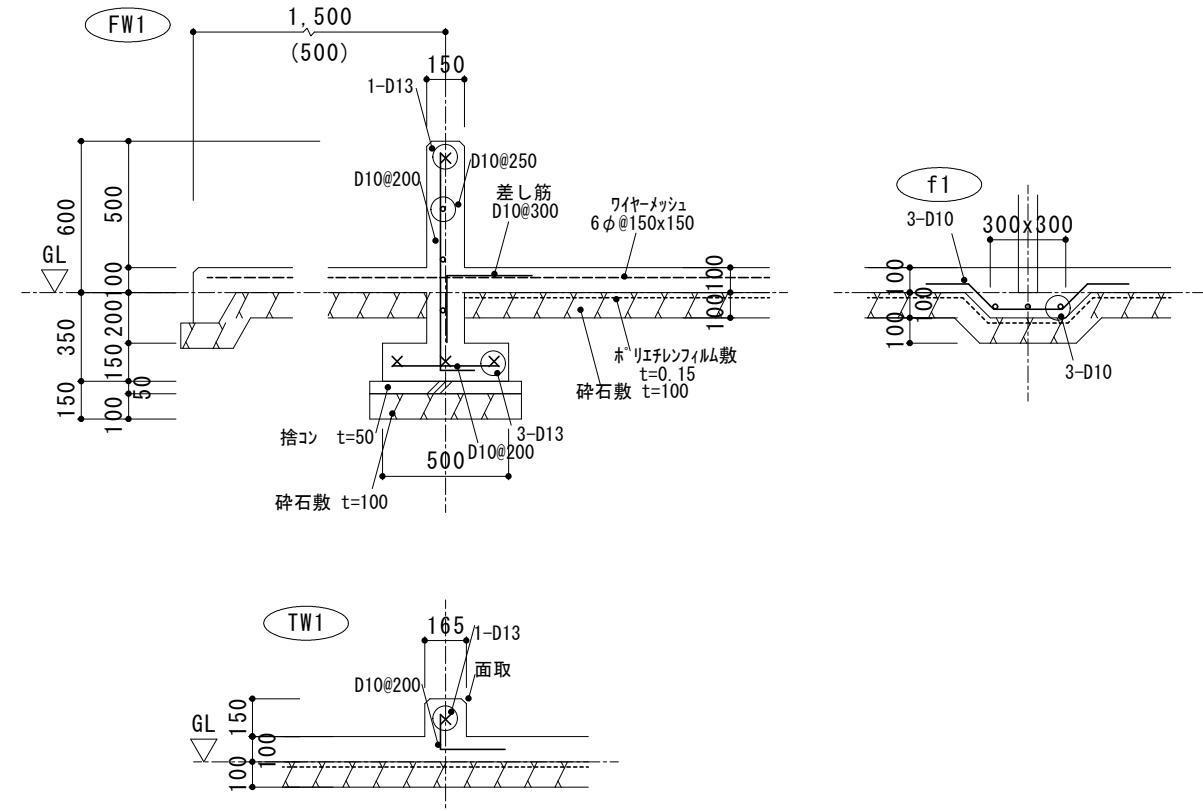


母屋止め金物詳細図





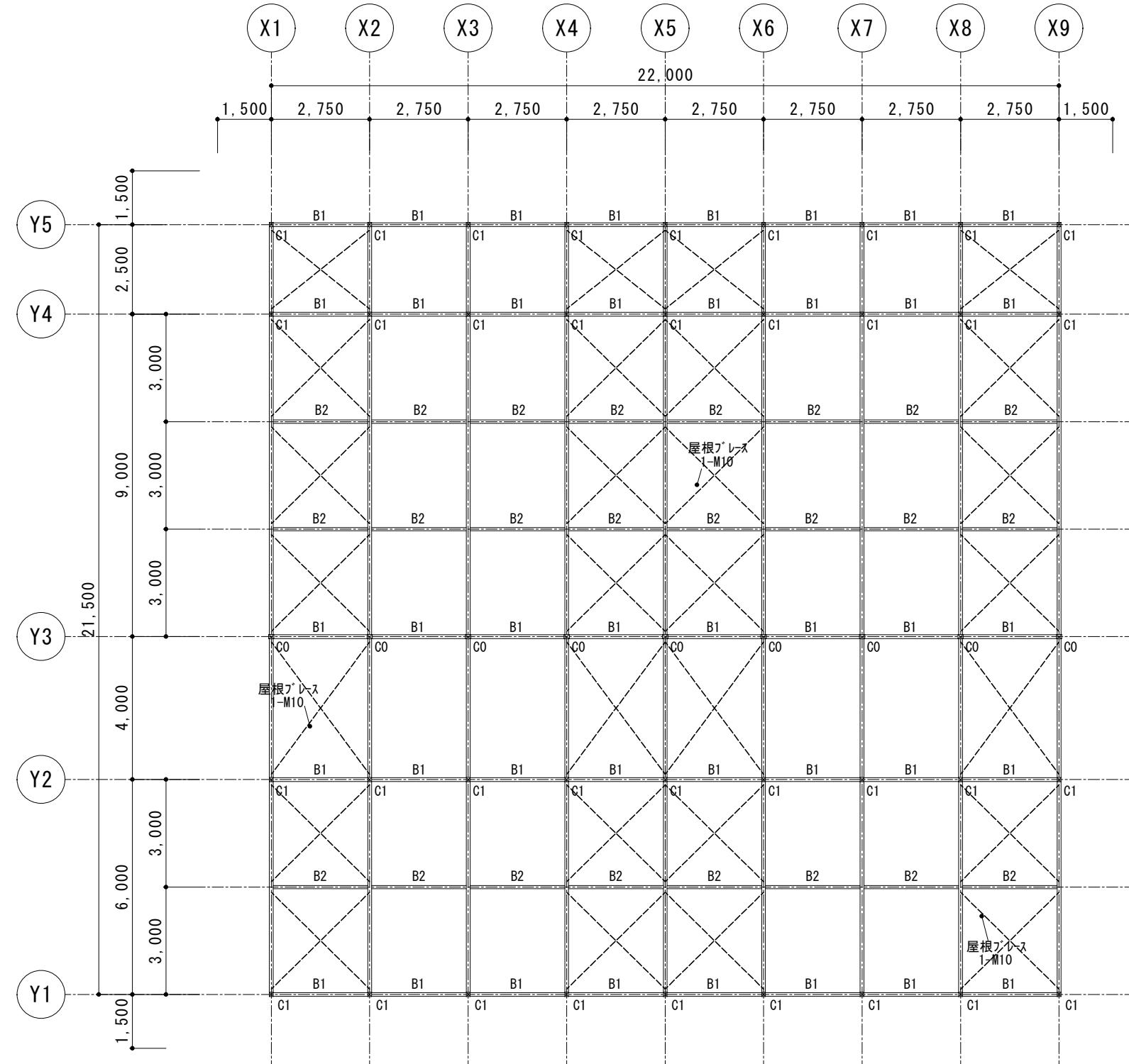
基礎伏図 1/150



基礎詳細図 1/30 ■

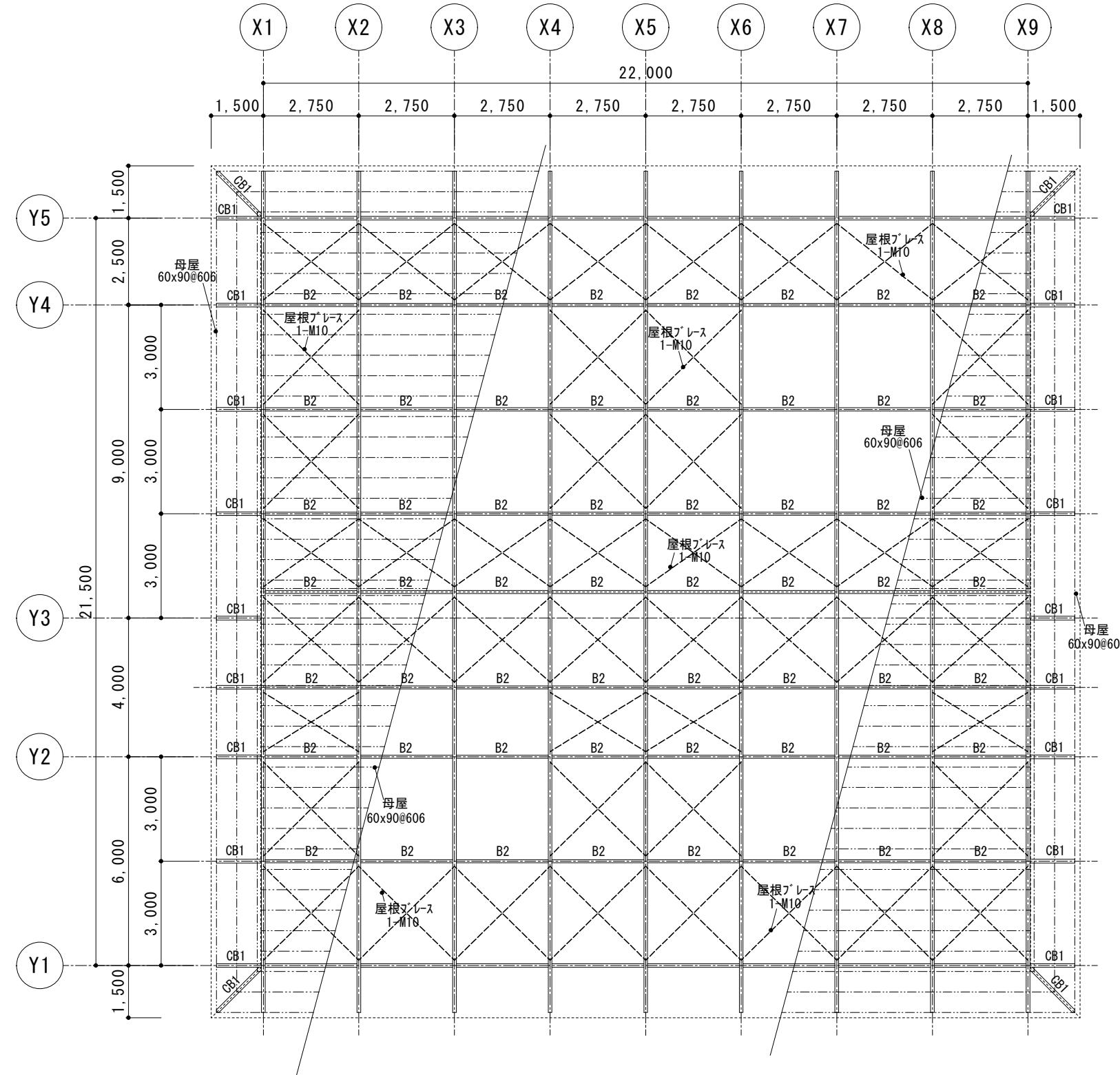
■ 構造概要 ■

	直接基礎とする	設計地耐力 $f_e = 30 \text{ kN/m}^2$
基礎地業		
コンクリート	鉄筋コンクリート 4週圧縮強度 捨テコンクリート $f_c = 18 \text{ N/mm}^2$ S-15 土間コンクリート $f_c = 18 \text{ N/mm}^2$ S-15 基礎コンクリート $f_c = 18 \text{ N/mm}^2$ S-15	
鉄筋	D 10, D 13	S D 295 A



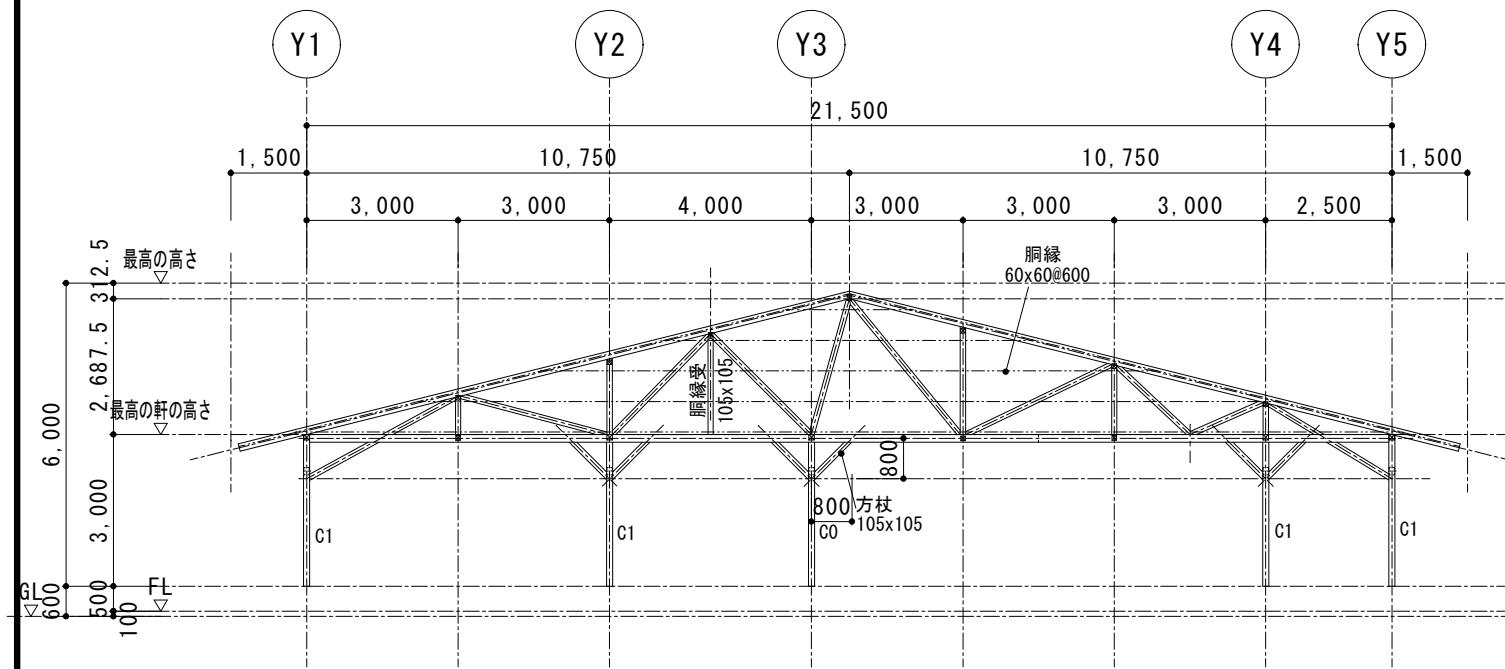
■ 陸梁伏図 1/150 ■



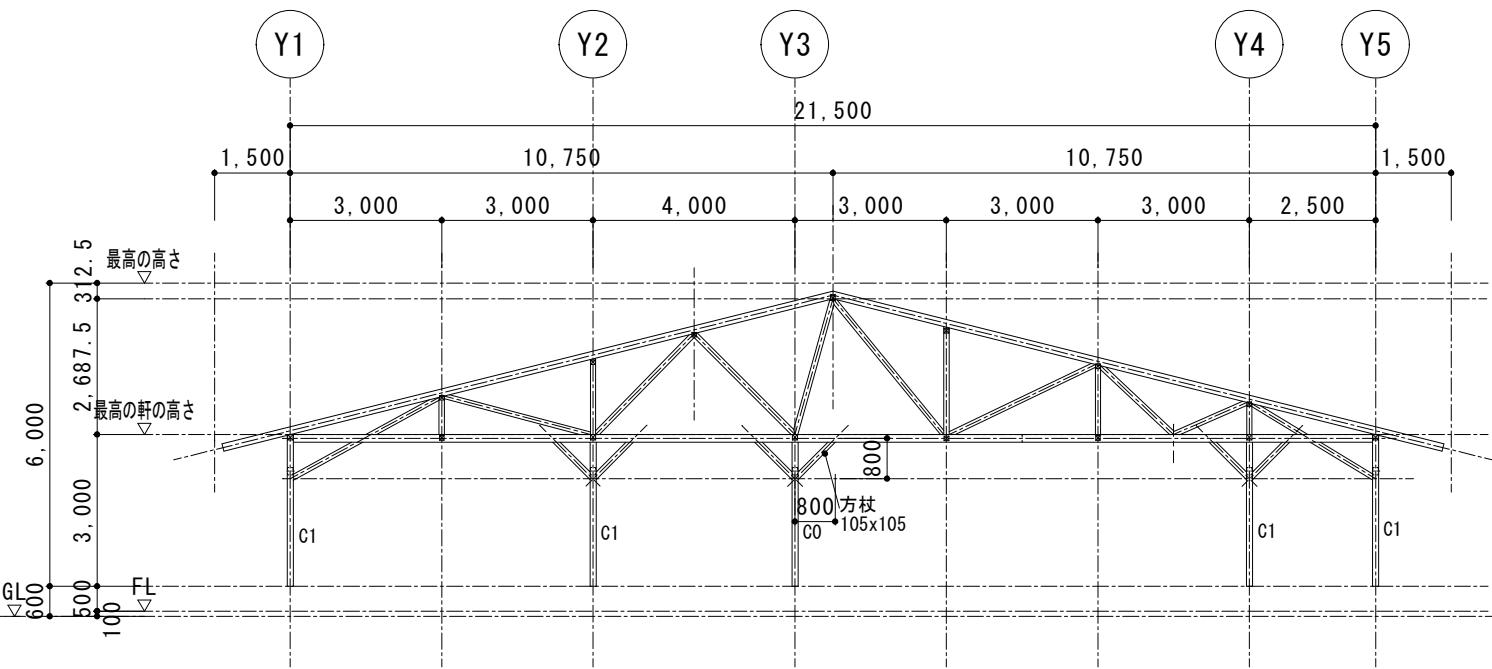


■ 小屋伏図 1/150 ■

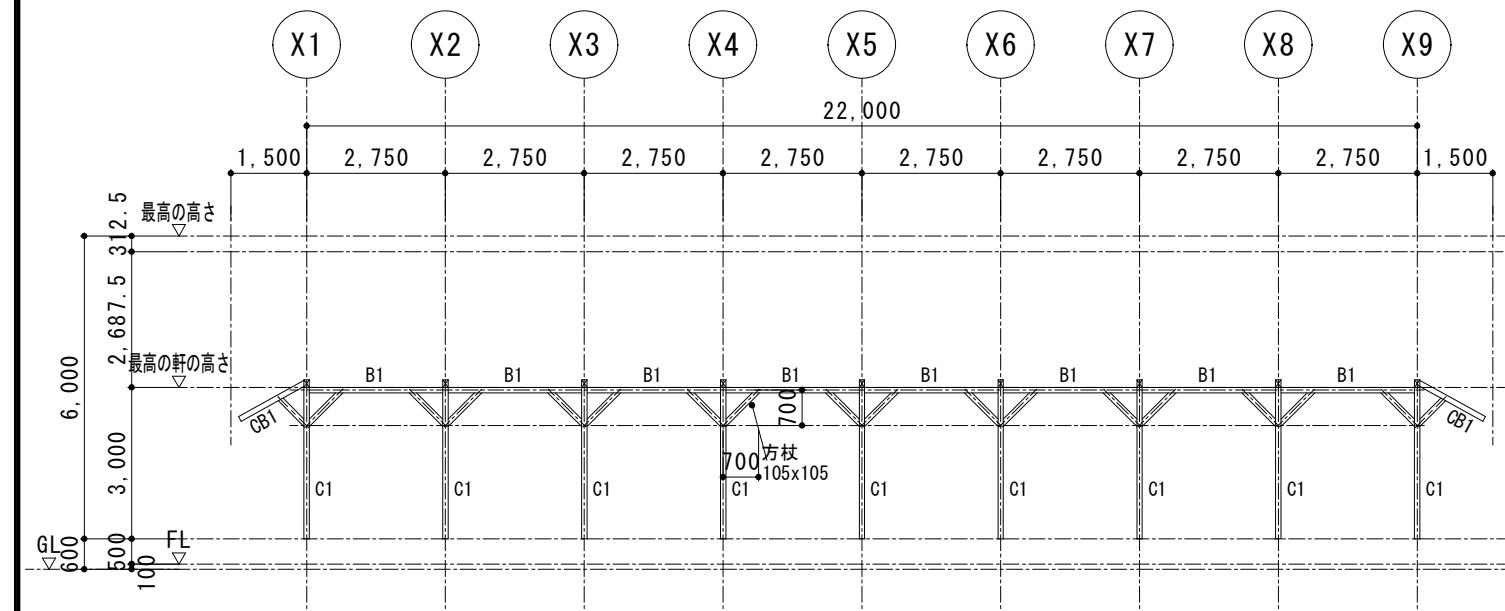




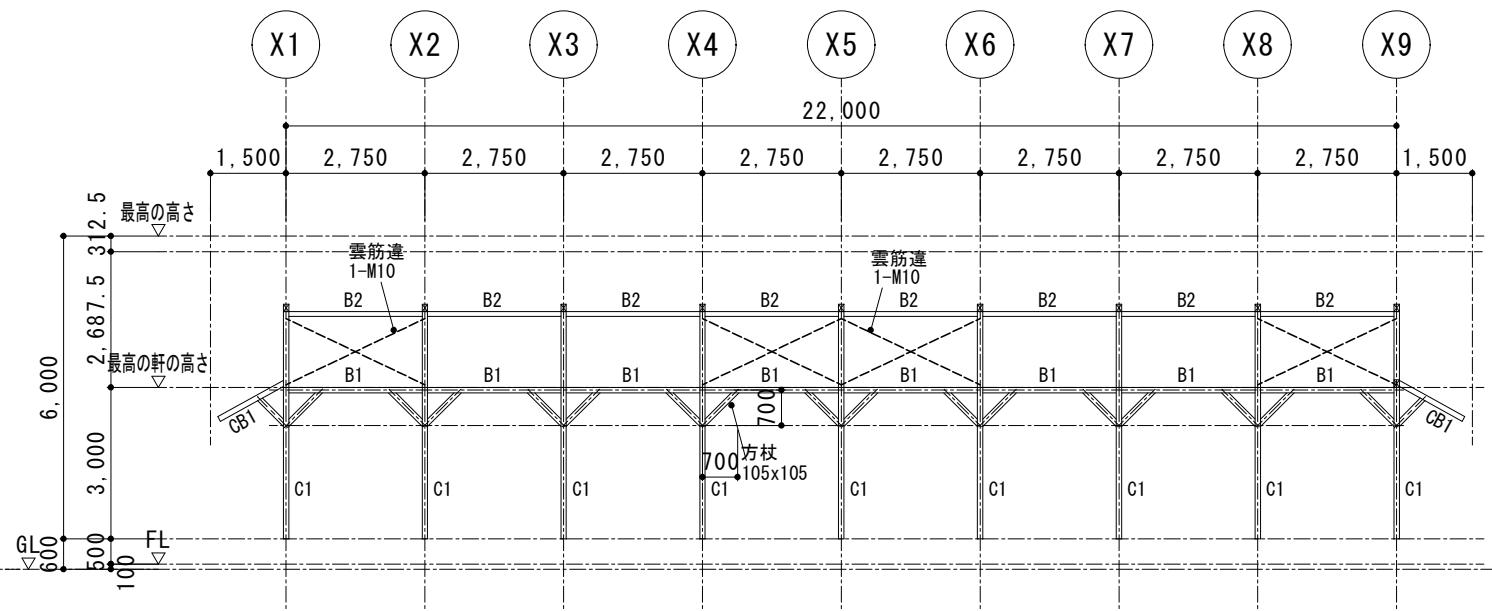
■ X1, X9 通 軸組図 1/150 ■



■ X2~X8 通 軸組図 1/150 ■



■ Y1 通 軸組図 1/150 ■



■ Y2 通 軸組図 1/150 ■

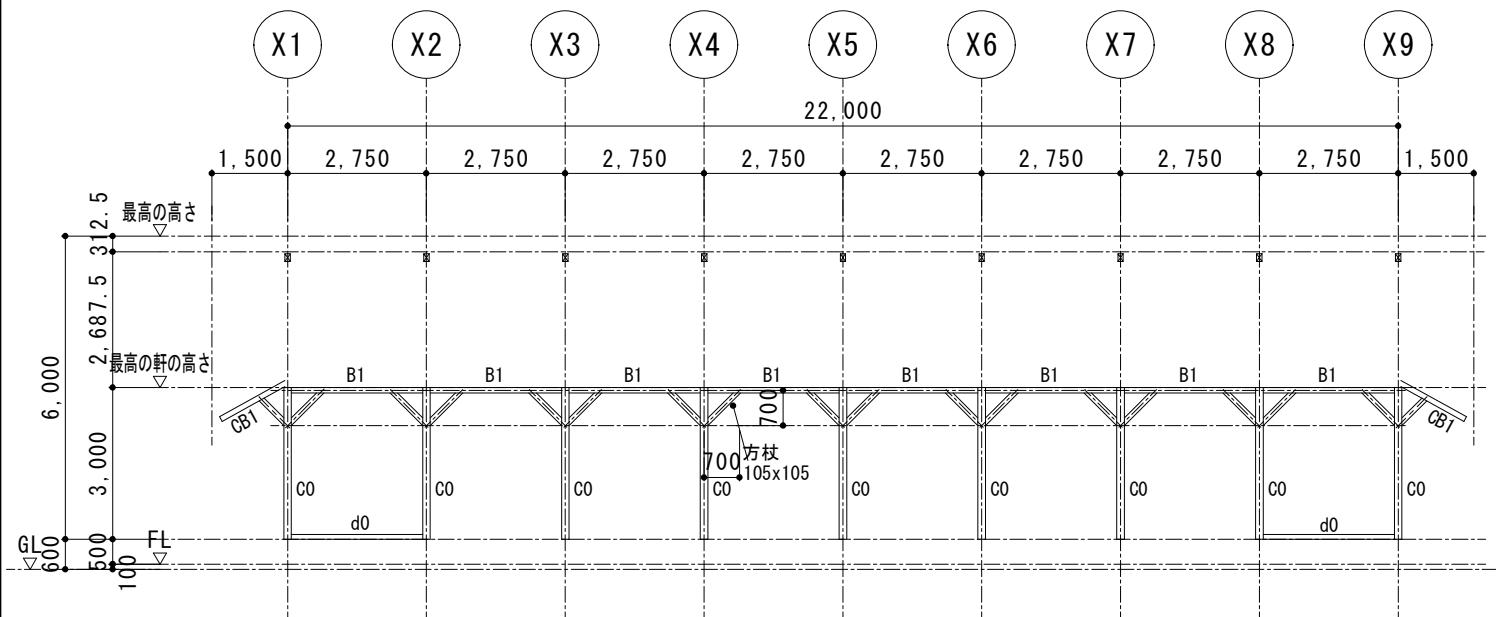
記 事	
--------	--



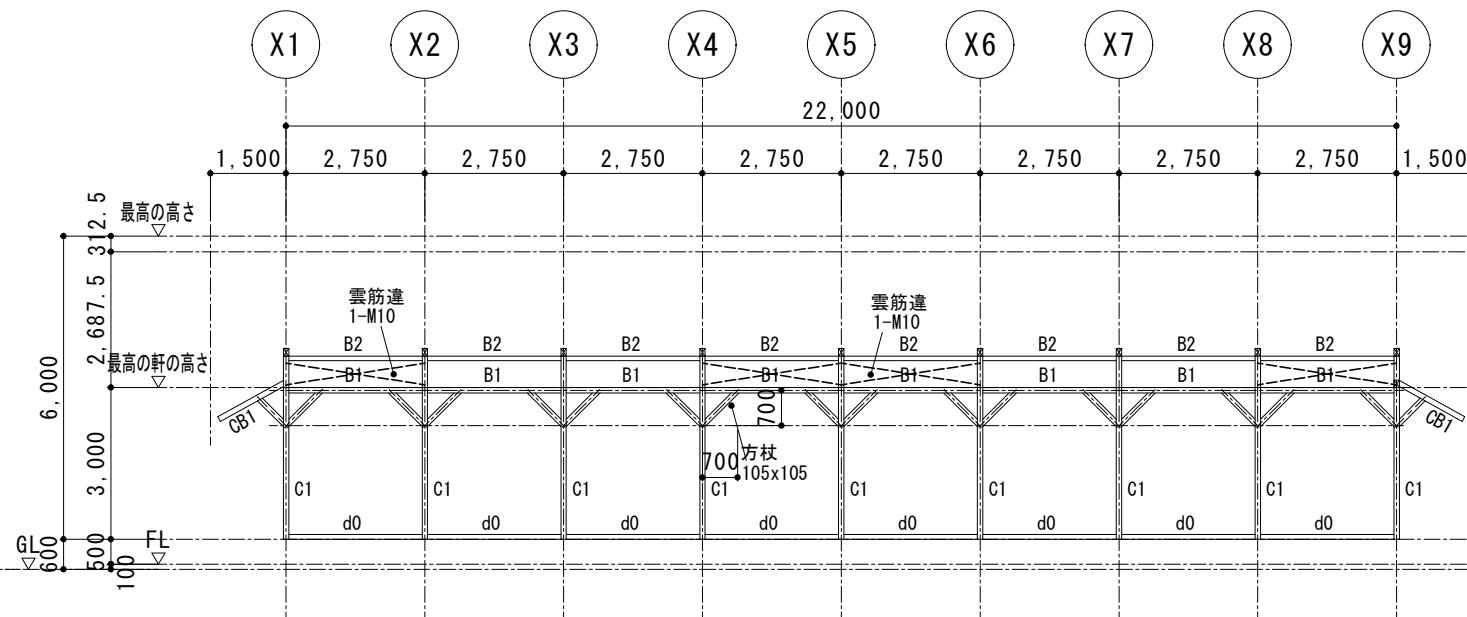
アトリエ  
**匠**  
一級建築士事務所  
宮崎県知事登録第D2281号  
一級建築士大臣登録第206727号 橋口芳弘

COPY	DESIGN	SCALE	TITLE
		1/150	令和元年度 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業 武田畜産牛舎等新築工事
DRAW	CHECK	DATE	ITEM
		2019-09	【繁殖牛舎】 軸組図 (1)

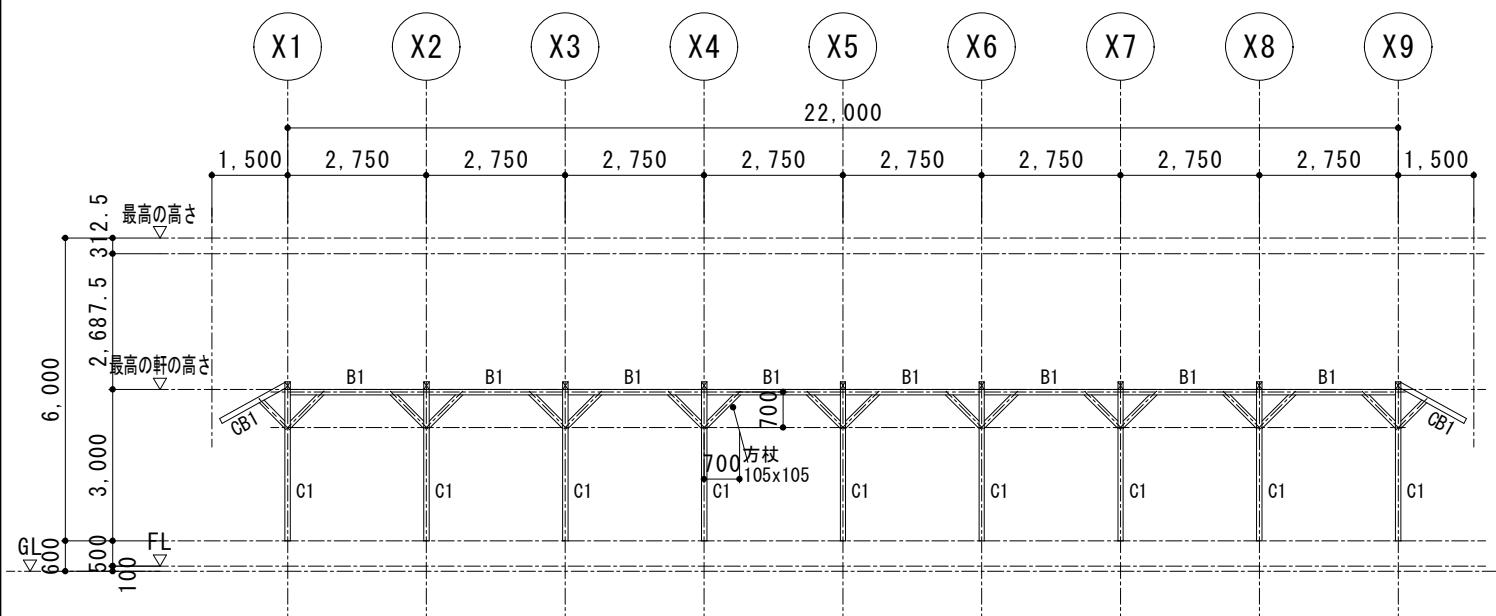
S - 07  
No.



■ Y3 通 軸組図 1/150 ■



■ Y4 通 軸組図 1/150 ■



■ Y5 通 軸組図 1/150 ■

記 事	



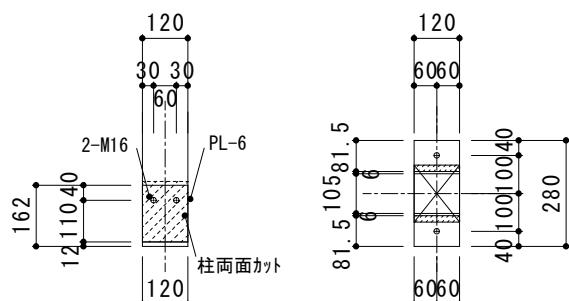
アトリエ  
Eiichi (SHOW)  
一級建築士事務所  
宮崎県知事登録第D2281号  
一級建築士大臣登録第206727号 橋口芳弘

COPY	DESIGN	SCALE	TITLE
DRAW	CHECK	1/150	令和元年度 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業 武田畜産牛舎等新築工事

No. S-08

C0 柱脚部 詳細図

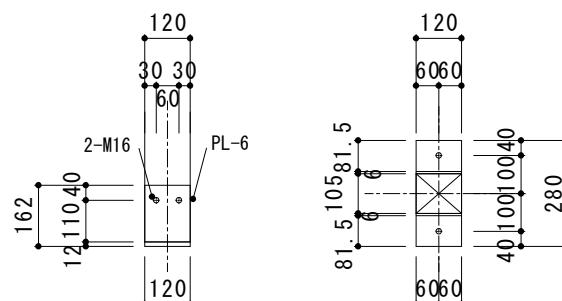
1/20



A. BOLT • 2-M16  
Wナット L=400  
BPL-12

C1 柱脚部 詳細図

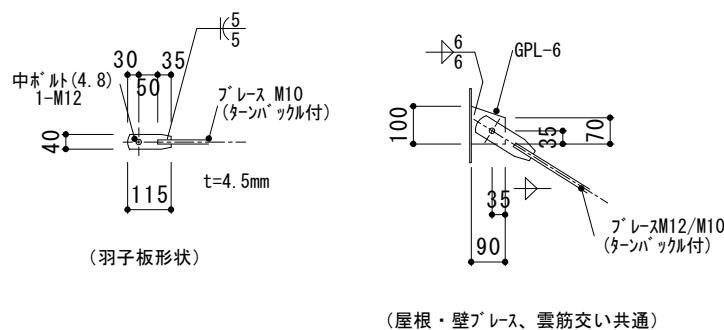
1/20



A. BOLT • 2-M16  
Wナット L=400  
BPL-12

プレース端部 詳細図

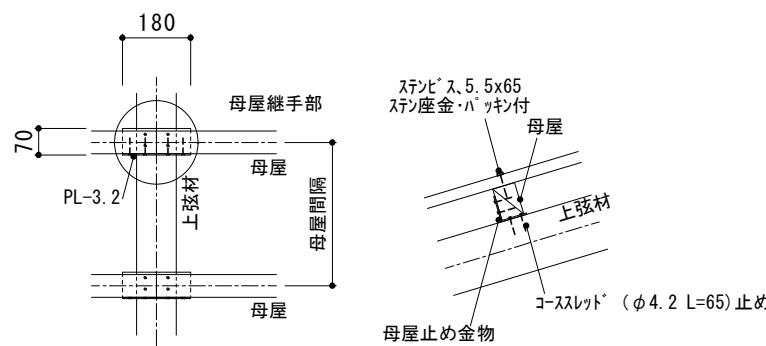
1/20



(屋根・壁プレース、雲筋交い共通)

屋根・母屋 取付詳細図

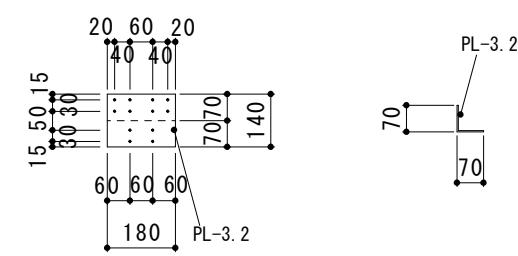
1/20



ステンビス 5.5x65  
ステン座金・ハッキン付  
母屋  
上弦材  
母屋  
上弦材  
母屋  
コーススレット (φ4.2 L=65) 止め  
母屋止め金物

母屋止め金物 詳細図

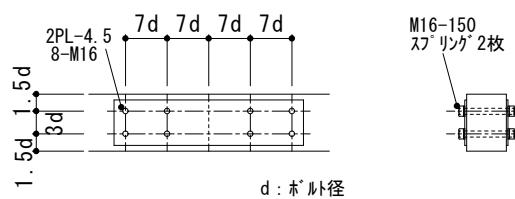
1/20



プレート標準寸法

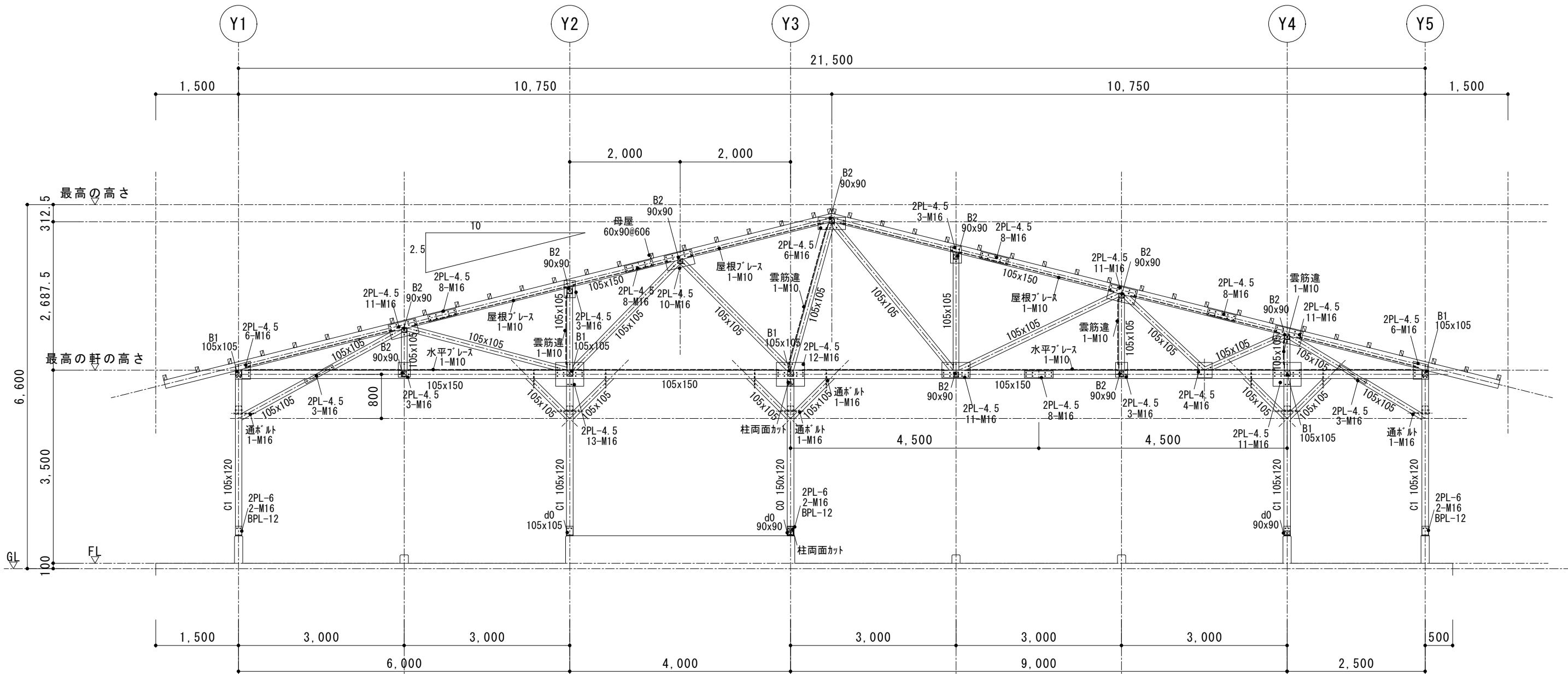
1/20

接合部のボルト配置図 (一般)



プレート・木材の孔径は φ18 とする

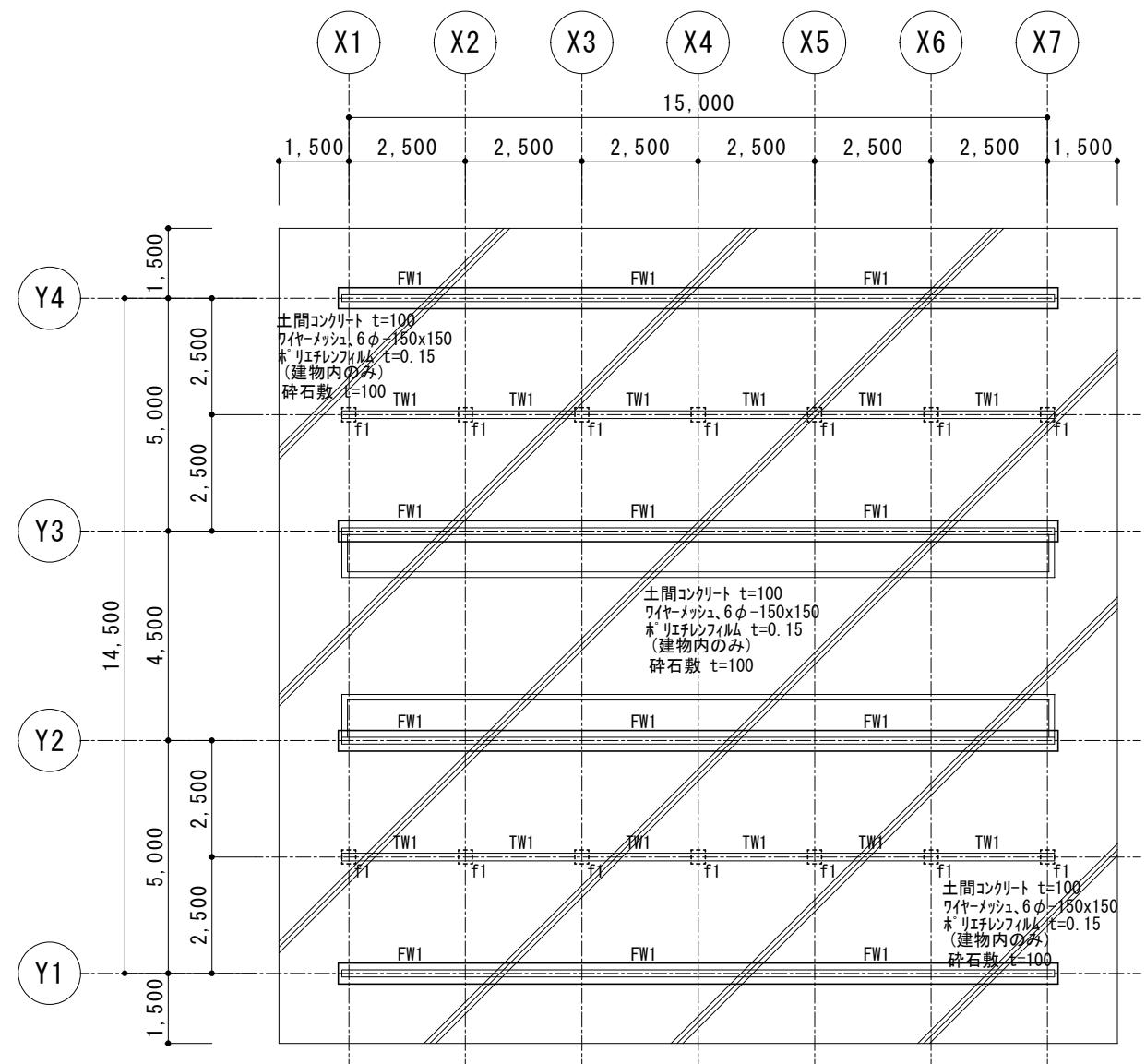




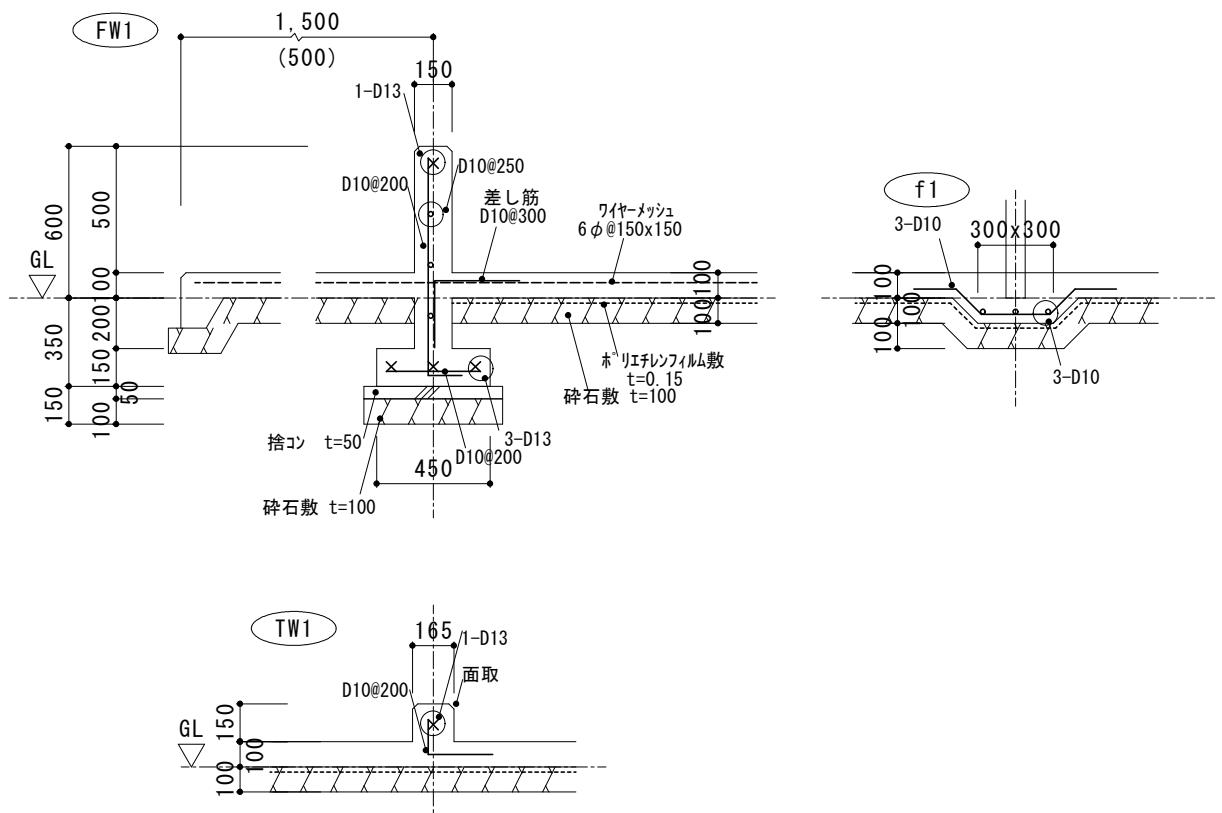
■ 架構詳細図 1/75 ■

■ 部材リスト ■

トス梁	上弦材	105 × 150	C0	150 × 120	アンカーボルト (SS400)	2-M16 L=400 ターピルナット (亜鉛メッキ)
	下弦材	105 × 150	C1	105 × 120	ペースプレート (SS400)	BPL-12/PL-6 溶融亜鉛メッキ仕上げ
	束材	105 × 105				
	斜材	105 × 105	B1	105 × 105	軸組継手用プレート	PL-4.5 鋼止塗装仕上げ
	方柱	105 × 105	B2	90 × 90	軸組継手用ボルト	中ボルト M16 L=150mm (JIS B 1180) (ユニクロ)
	方柱（桁行）	105 × 105	母屋	60×90@606	屋根・水平プレース (SS400)	JIS仕様プレース M10 (ターンバッフル付き、1-M12) (鋳止塗装)
			胴縁	60×60@600	雲筋かい (SS400)	JIS仕様プレース M10 (ターンバッフル付き、1-M12) (鋳止塗装)
			d0	90 × 90	ホーカー・アンカーボルト(亜鉛メッキ品)	1-M12, L=100 (埋木処理)、3箇所/スパン
			CB1	105 × 105		
						※鋳止め塗料は、JIS K5674 (ターケーレー) とする。



■ 基礎伏図 1/150 ■

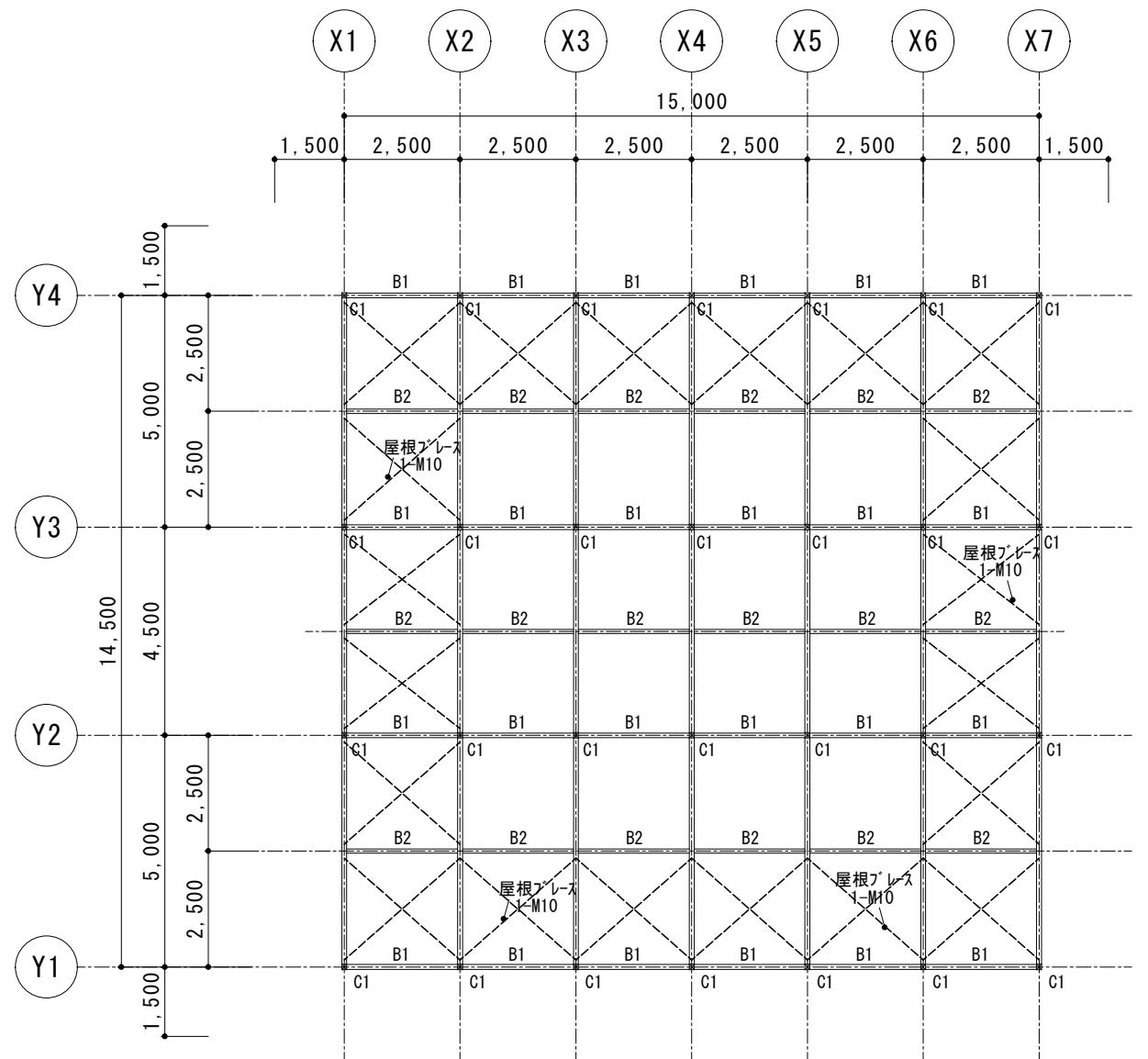


■ 基礎詳細図 1/30 ■

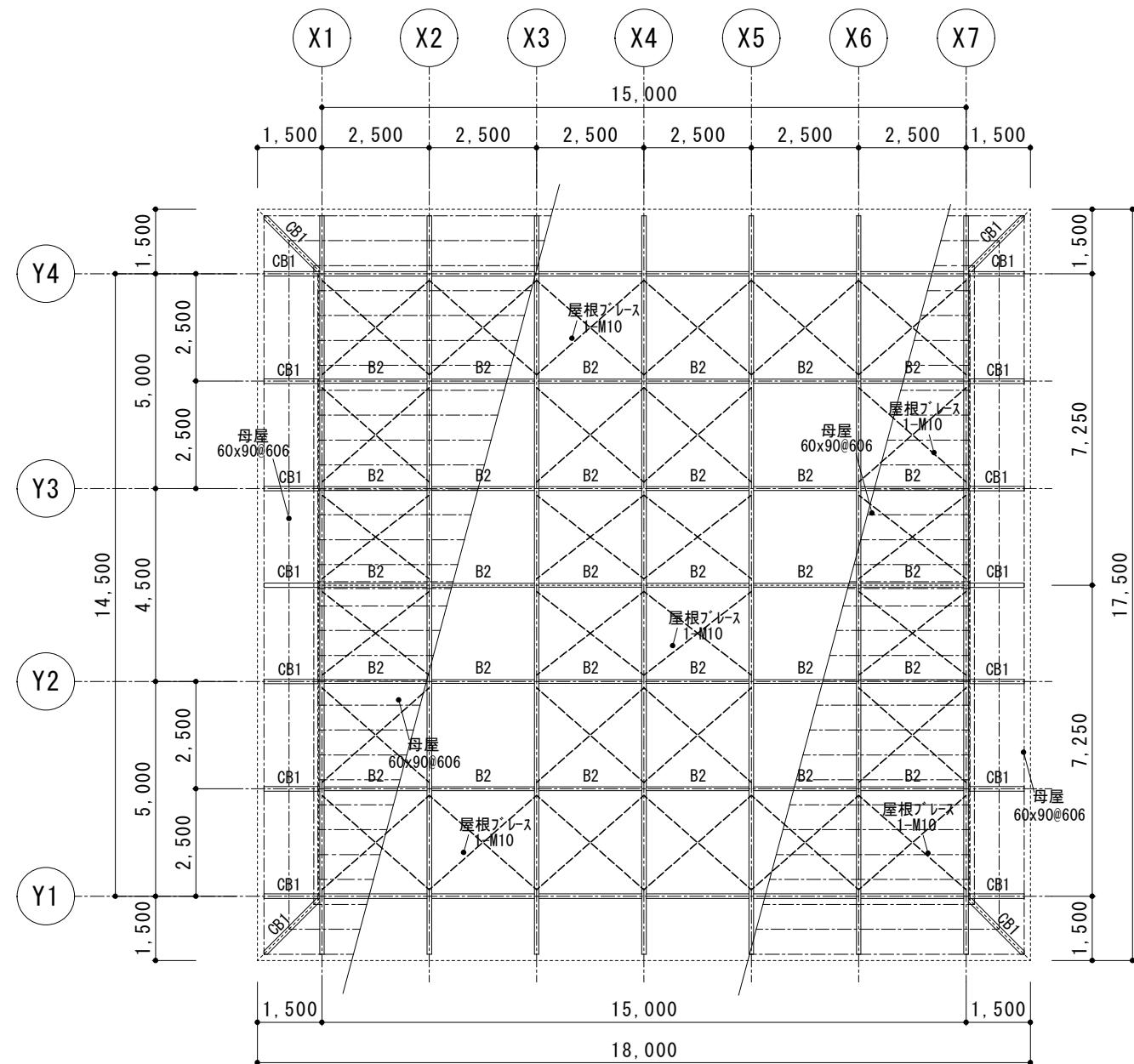
■ 構造概要 ■

基礎地業	直接基礎とする 設計地耐力 $f_e = 30 \text{ kN/m}^2$	
	鉄筋コンクリート 4週圧縮強度	
	捨てコンクリート $F_c = 18 \text{ N/mm}^2$	S-15
	土間コンクリート $F_c = 18 \text{ N/mm}^2$	S-15
コンクリート	基礎コンクリート $F_c = 18 \text{ N/mm}^2$	S-15
	D 10、D 13	SD 295 A
鉄 筋		



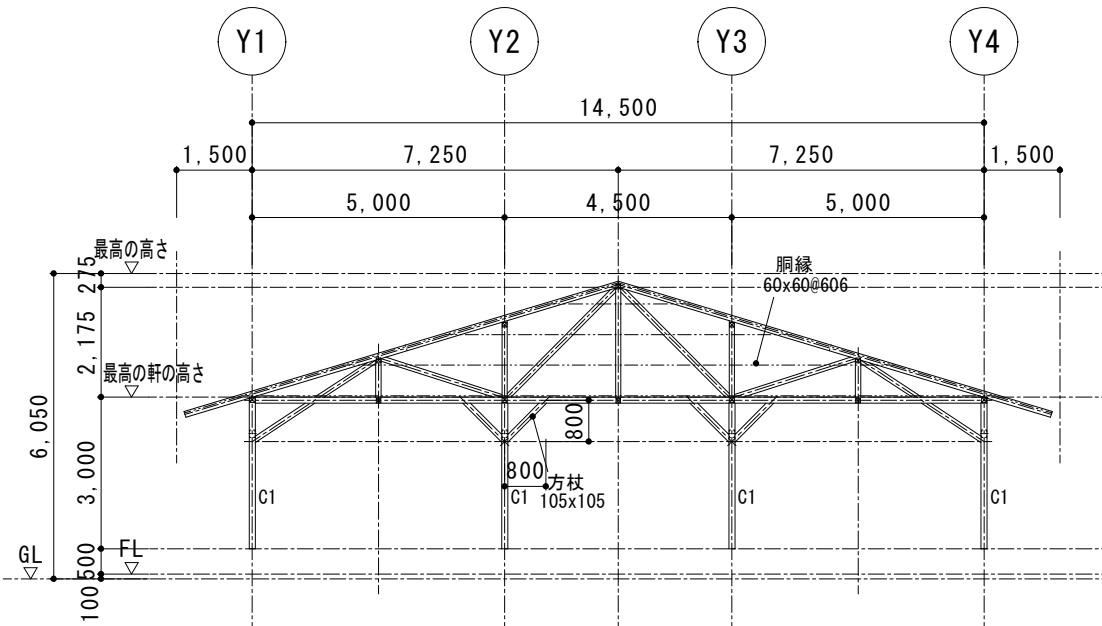


■ 陸梁伏図 1/150 ■

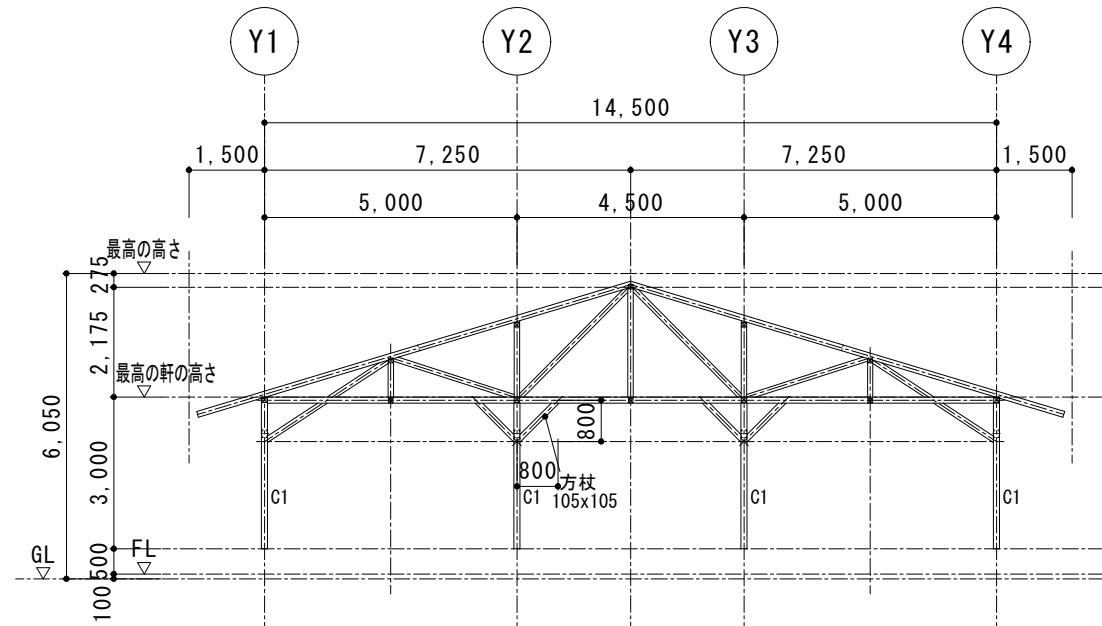


■ 小屋伏図 1/150 ■

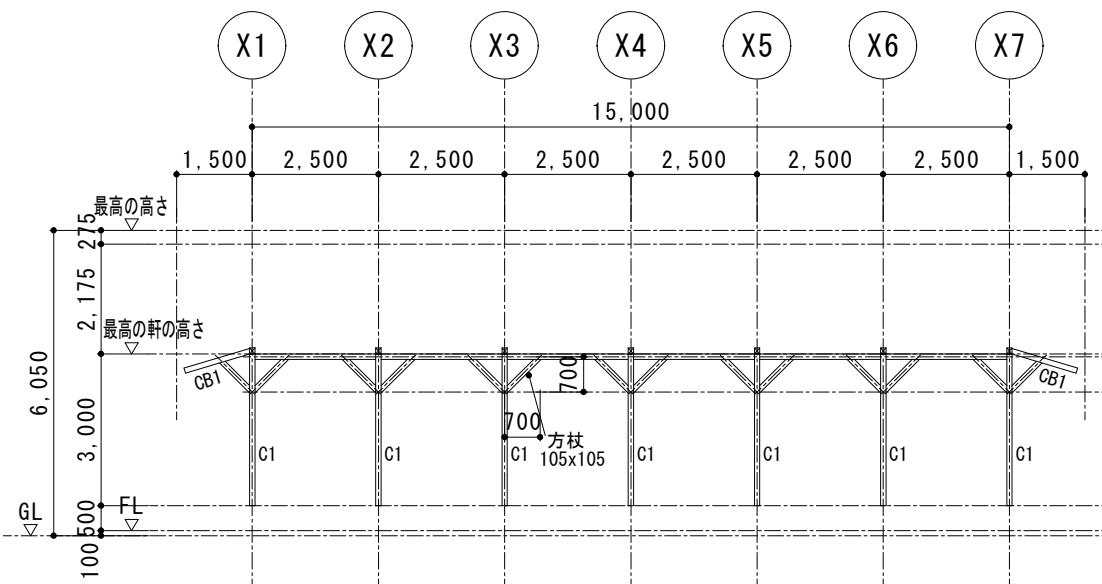




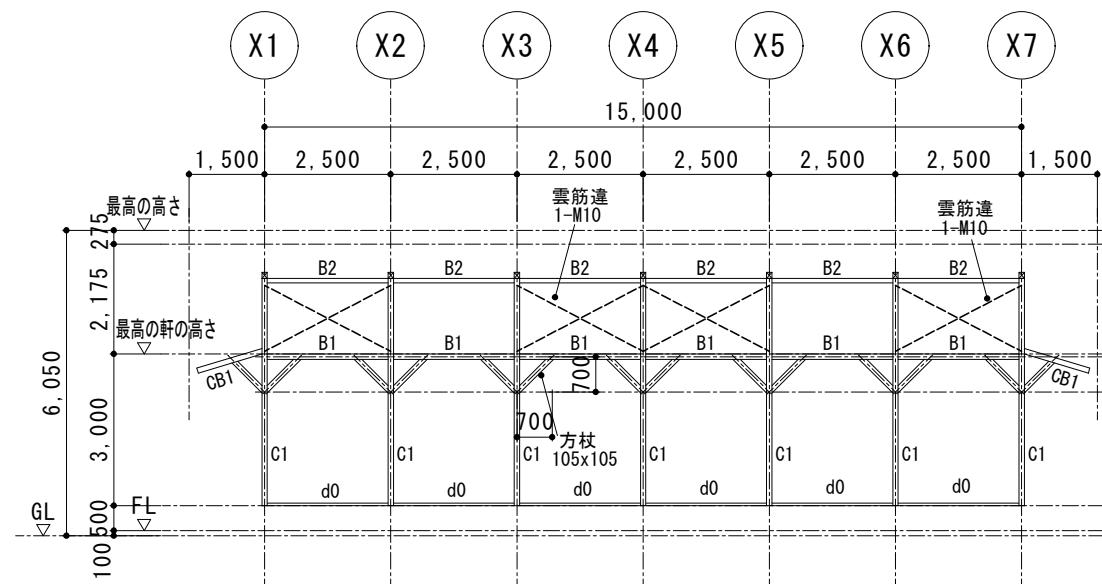
■ X1, X7 通 軸組図 1/150 ■



■ X2~X6 通 軸組図 1/150 ■



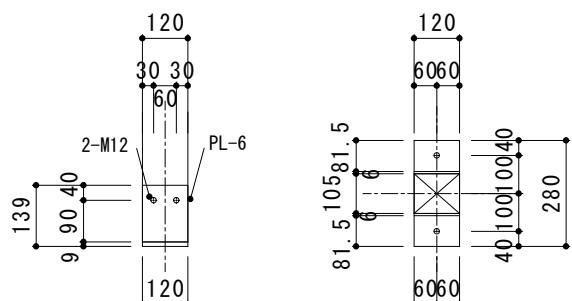
■ Y1, Y4 通 軸組図 1/150 ■



■ Y2, Y3 通 軸組図 1/150 ■

## C1 柱脚部 詳細図

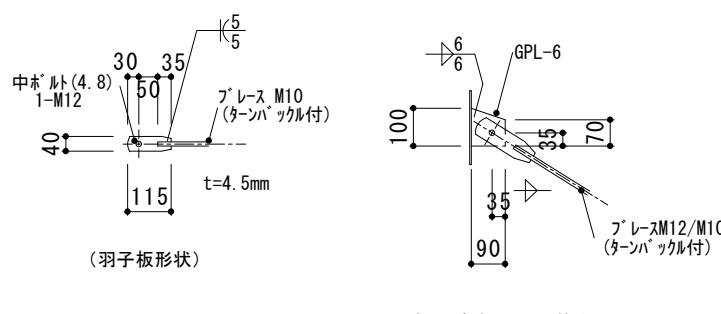
1/20



A. BOLT 2-M12  
Wナット L=300  
BPL-9

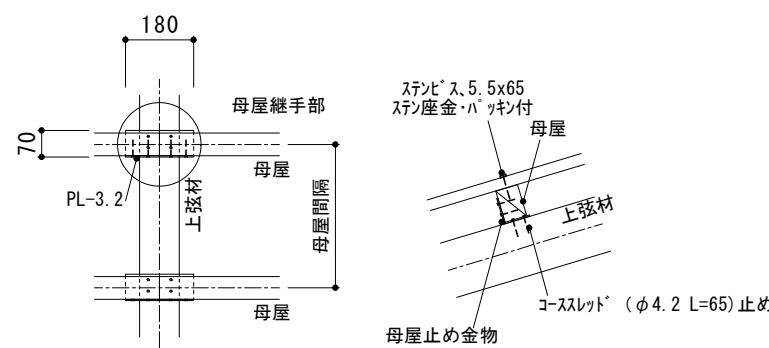
## プレース端部 詳細図

1/20



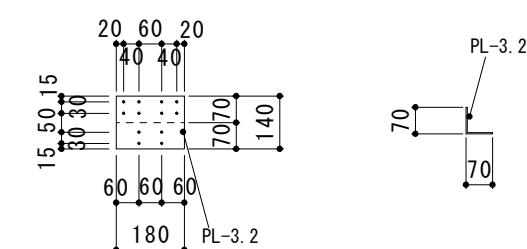
## 屋根・母屋 取付詳細図

1/20



## 母屋止め金物 詳細図

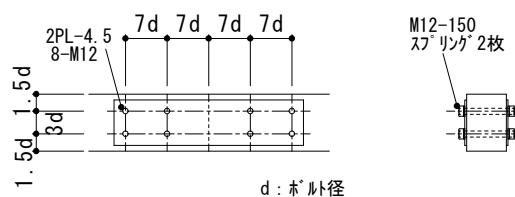
1/20



## プレート標準寸法

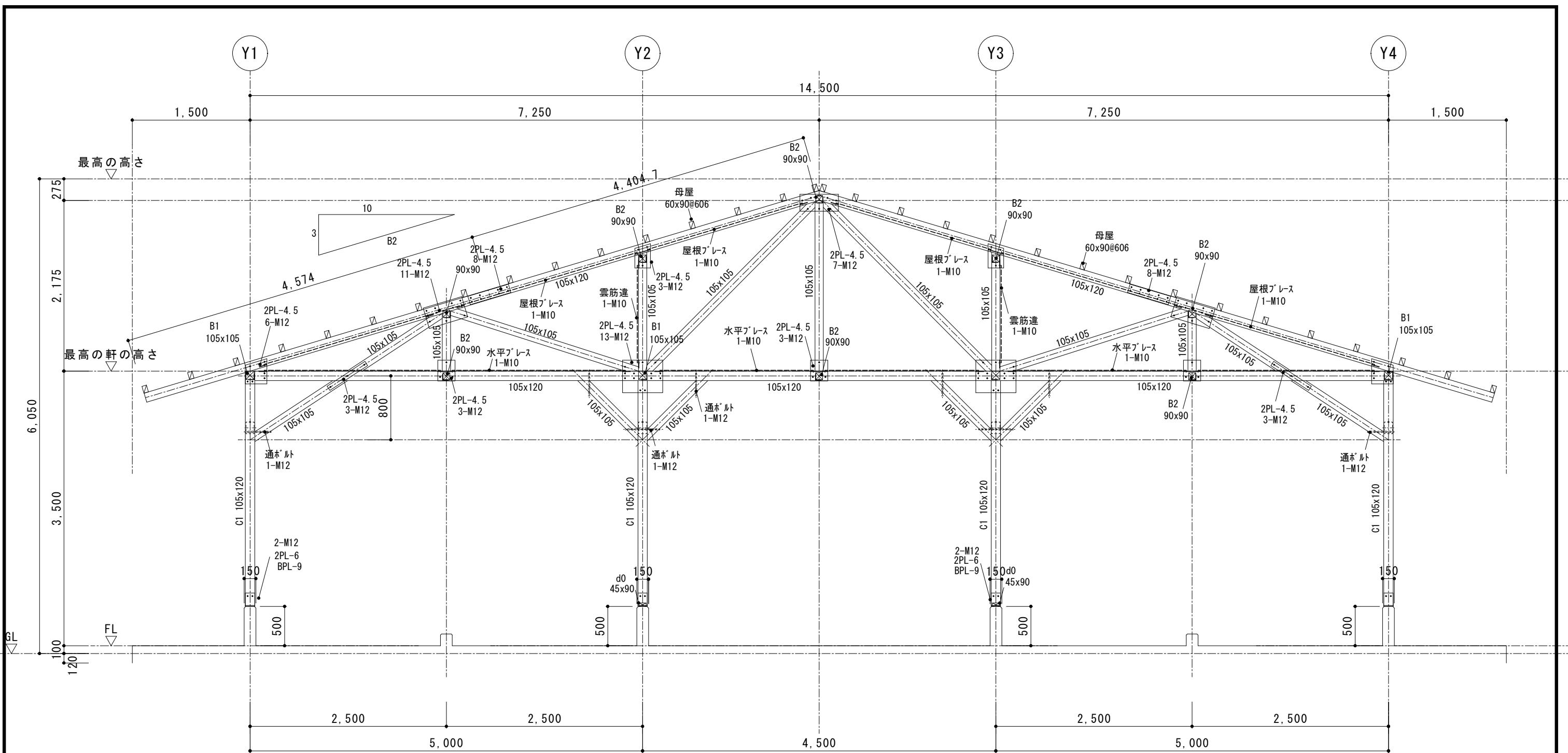
1/20

## 接合部のボルト配置図 (一般)



プレート・木材の孔径は  $\phi 18$  とする



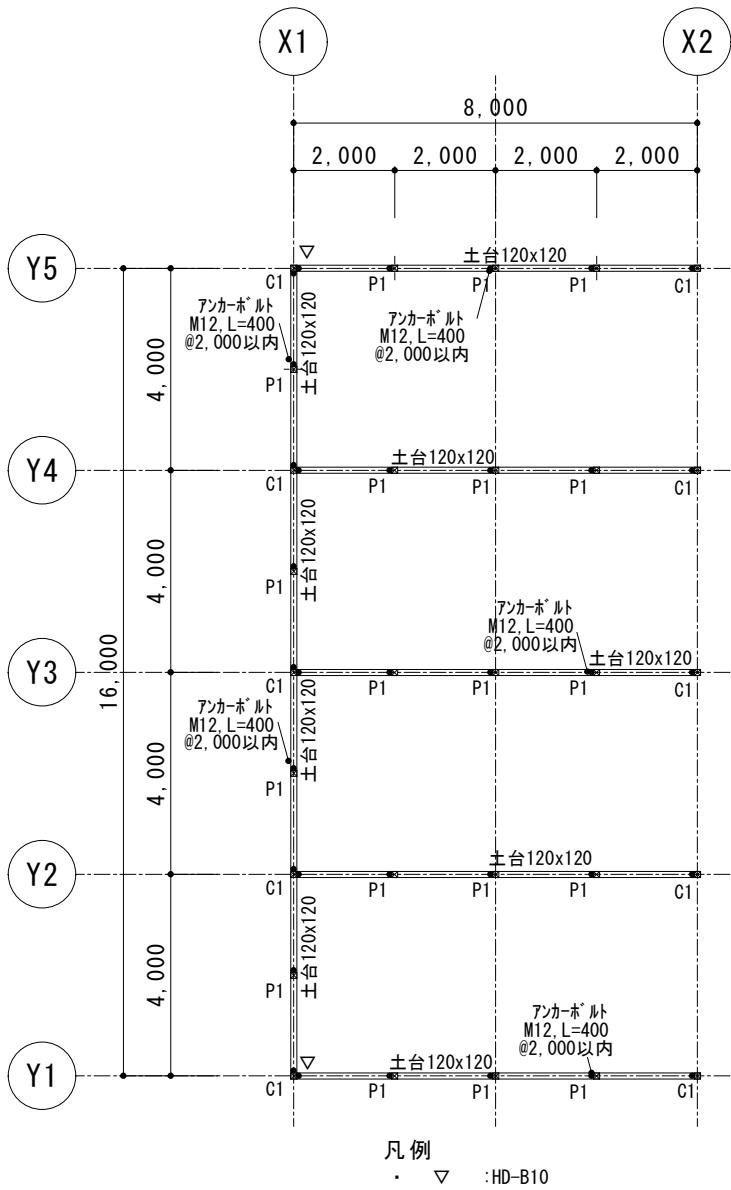
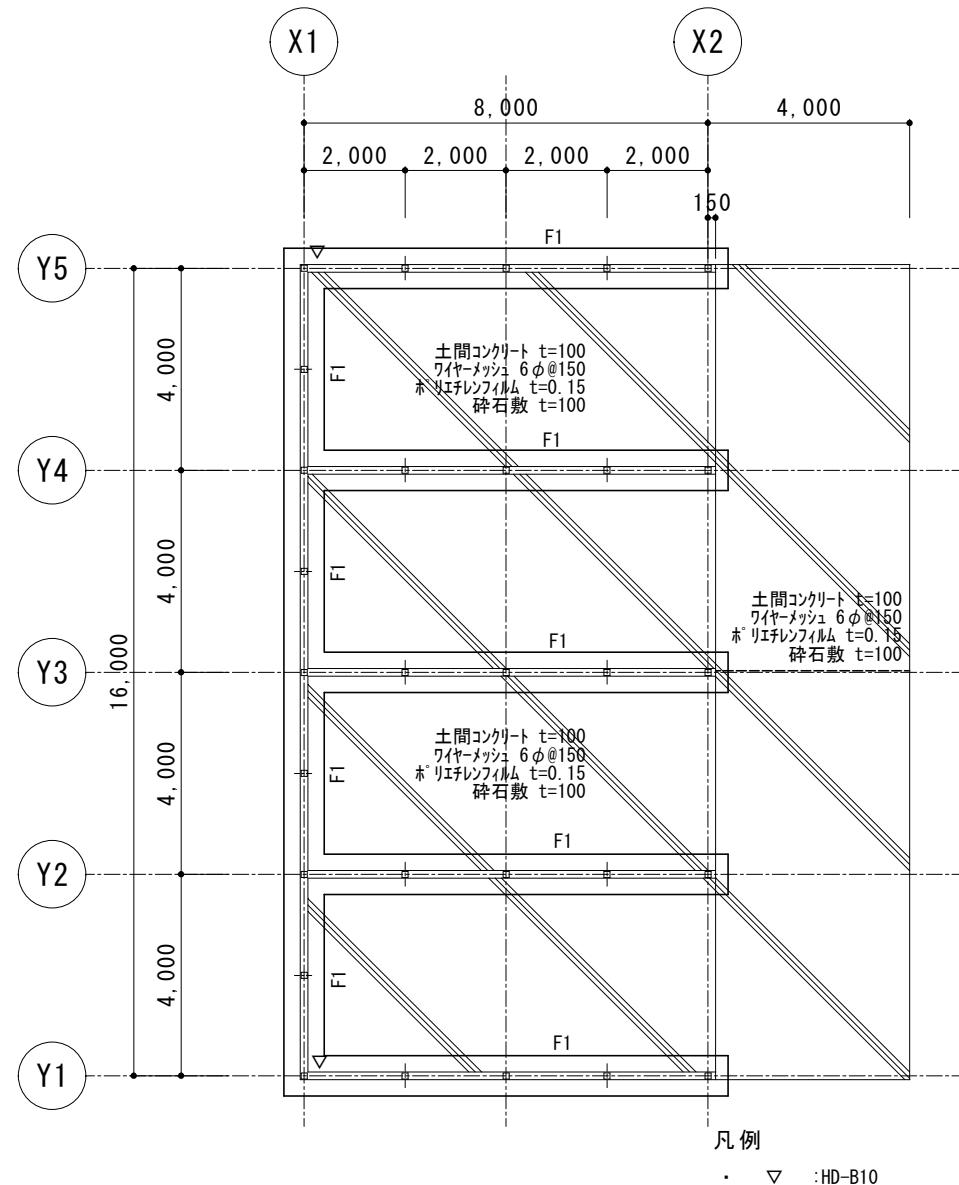


■ 部材リスト ■

■ 架構詳細図 1/50 ■

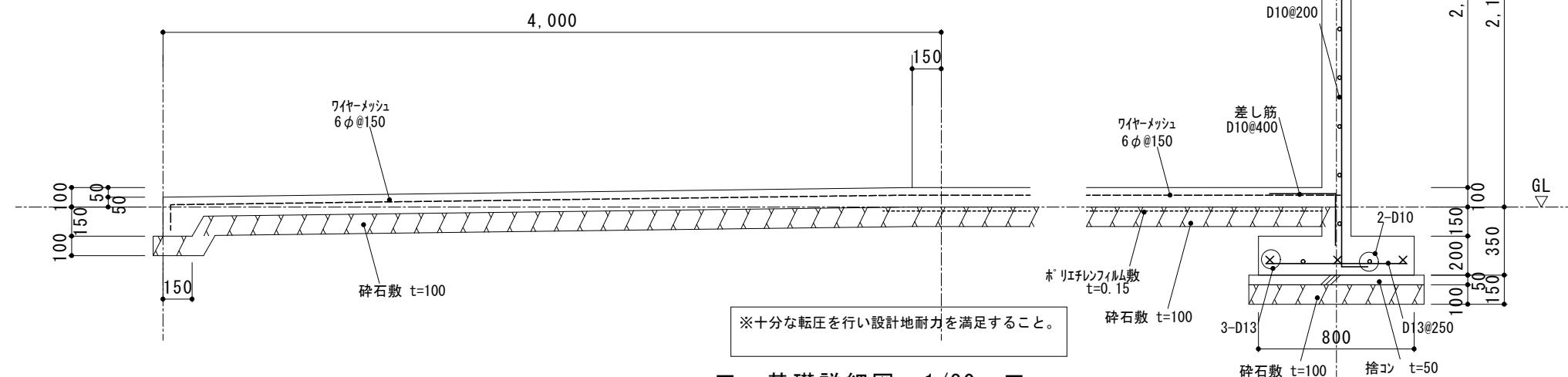
トス梁	上弦材	105 × 120	C1	105 × 120	アンカーボルト (SS400)	2-M12 L=300 ターブルナット (亜鉛メッキ)
	下弦材	105 × 120			ペースプレート (SS400)	BPL-9/PL-6 (C1) 溶融亜鉛メッキ仕上げ
	束材	105 × 105				
	斜材	105 × 105	B1	105 × 105	軸組継手用プレート	PL-4.5 鋼止塗装仕上げ
	方杖	105 × 105	B2	90 × 90	軸組継手用ボルト	中ボルト M12 L=150mm (JIS B 1180) (ユニクロ)
	方杖 (桁行)	105 × 105	母屋	60×90@606	屋根・水平プレース (SS400)	JIS仕様プレース M10 (ターンバッフル付き、1-M12) (鋼止塗装)
			胴縁	60×60@600	雲筋かい (SS400)	JIS仕様プレース M10 (ターンバッフル付き、1-M12) (鋼止塗装)
			d0	45×90	ホーカー・アンカーボルト (亜鉛メッキ品)	1-M12, L=100 (埋木処理)、3箇所/スパン
			CB1	105 × 105		
						※鋼止め塗料は、JIS K5674(ターケグレー)とする。

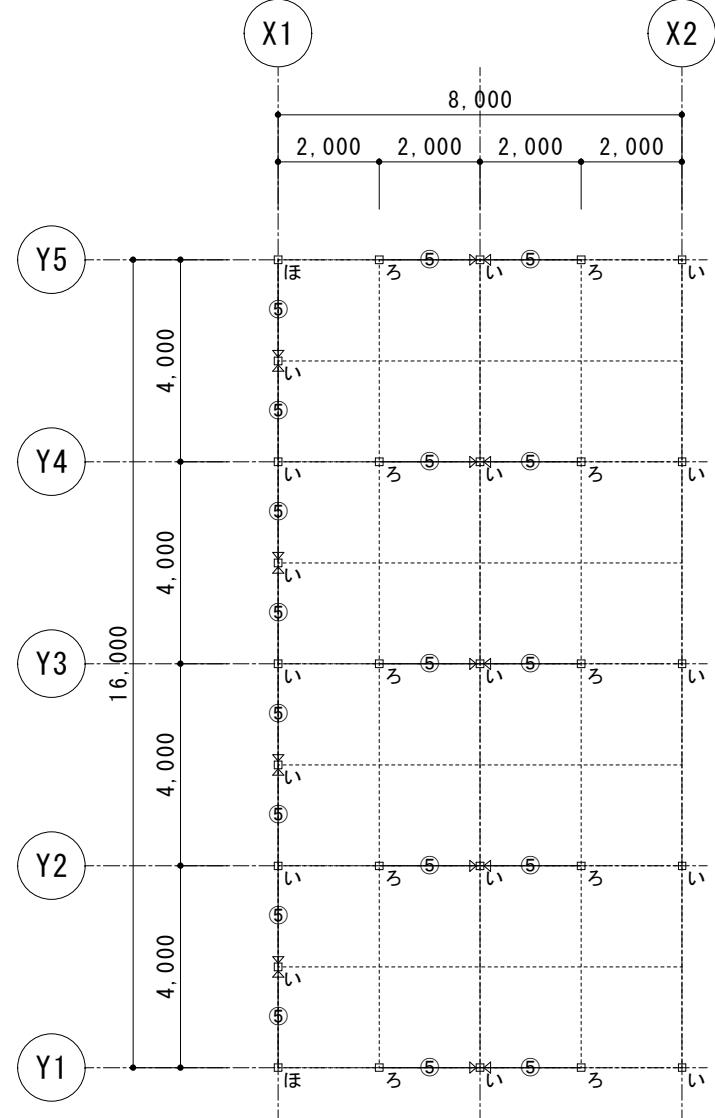




■ 構造概要 ■

基礎地盤	直接基礎とする 設計地耐力 $f_e = 30 \text{ kN/m}^2$
コンクリート	鉄筋コンクリート 4週圧縮強度 捨てコンクリート $F_c = 18 \text{ N/mm}^2$ S-15
	土間コンクリート $F_c = 18 \text{ N/mm}^2$ S-15
	基礎コンクリート $F_c = 18 \text{ N/mm}^2$ S-15
鉄筋	D 10, D 13 SD 295 A

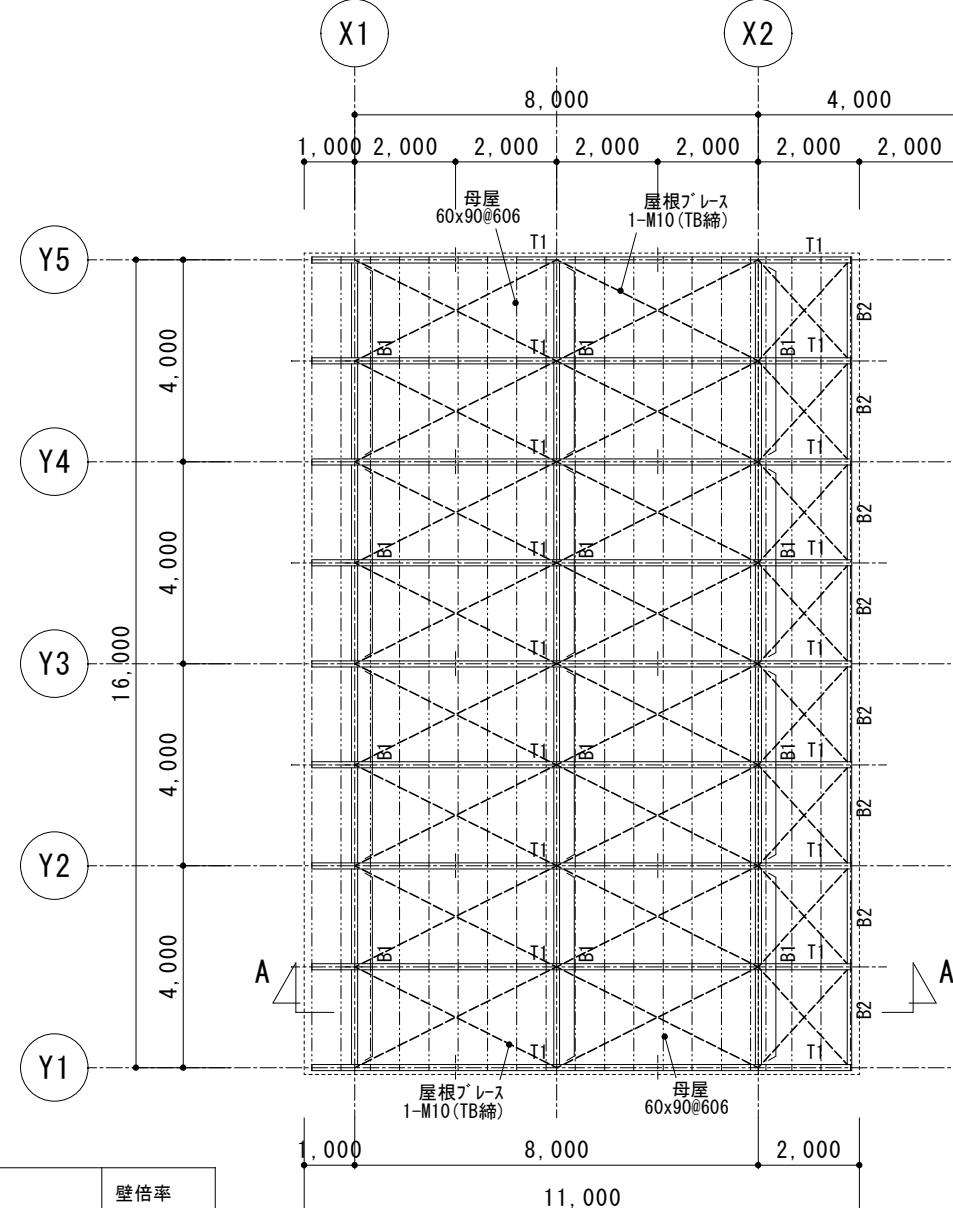




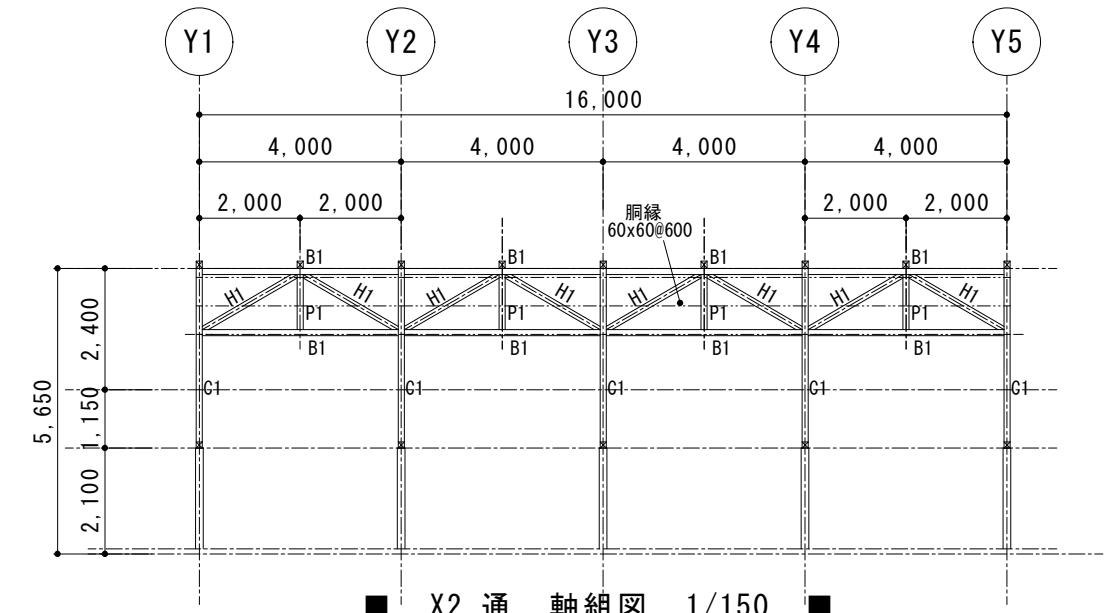
片筋連の場合△印側が柱脚付とする

■ 壁量図 1/150 ■

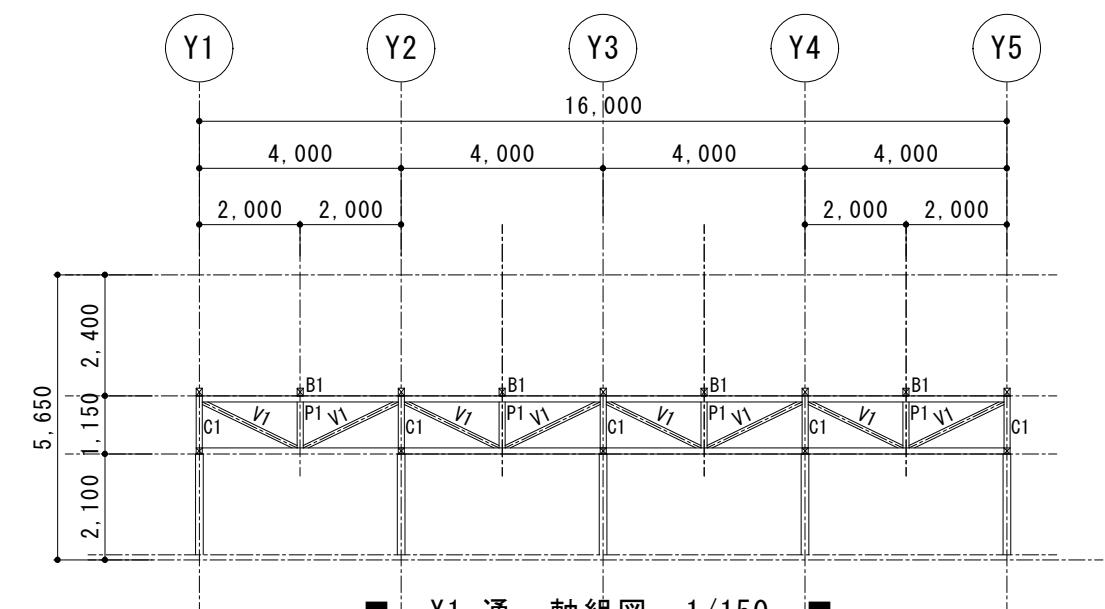
符号	軸組名称	壁倍率
⑤	S-45x90	2.0



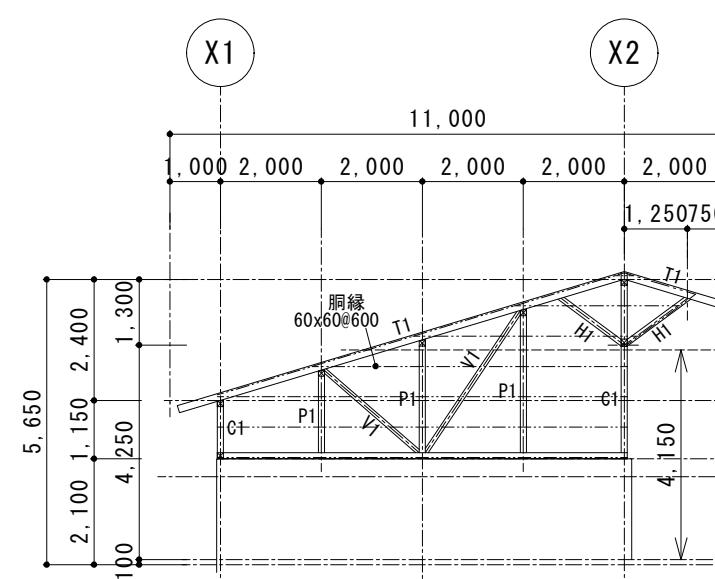
■ 屋根伏図 1/150 ■



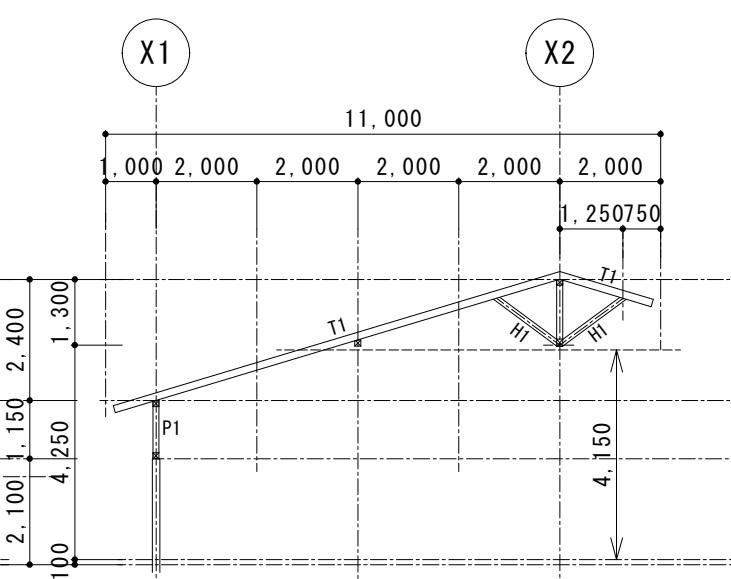
■ X2 通 軸組図 1/150 ■



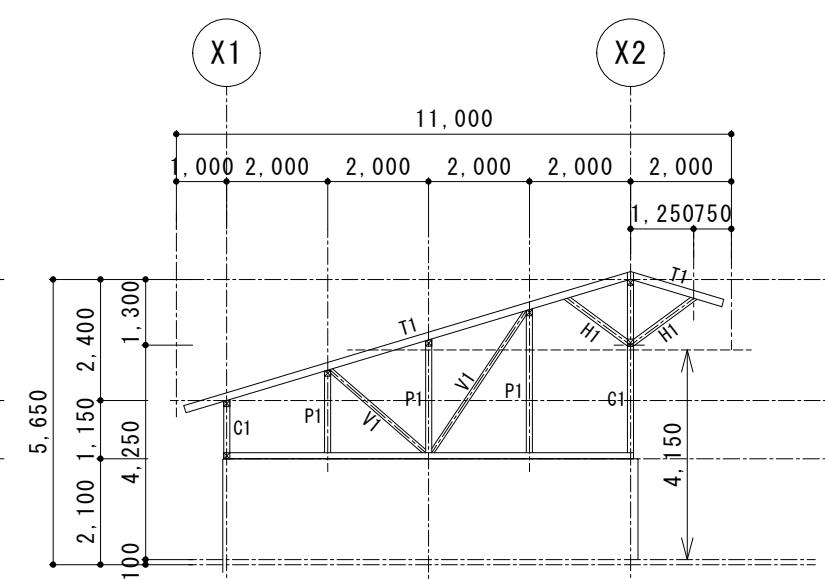
■ X1 通 軸組図 1/150 ■



■ Y1, Y5 通 軸組図 1/150 ■



■ A-A 軸組図 1/150 ■



■ Y2~Y4 通 軸組図 1/150 ■

■ 部材リスト ■	
柱 : C1	120x120
柱 : P1	120x120
土台	120x120
登梁 : T1	120x150
桁 : B1	120x120
桁 : B2	90x90
斜材 : H1	120x120
筋連 : V1	45x90
母屋	60x90 @606
胴縁	60x60 @600
屋根プレース	1-M10(TB締)



# 電気設備特記仕様書

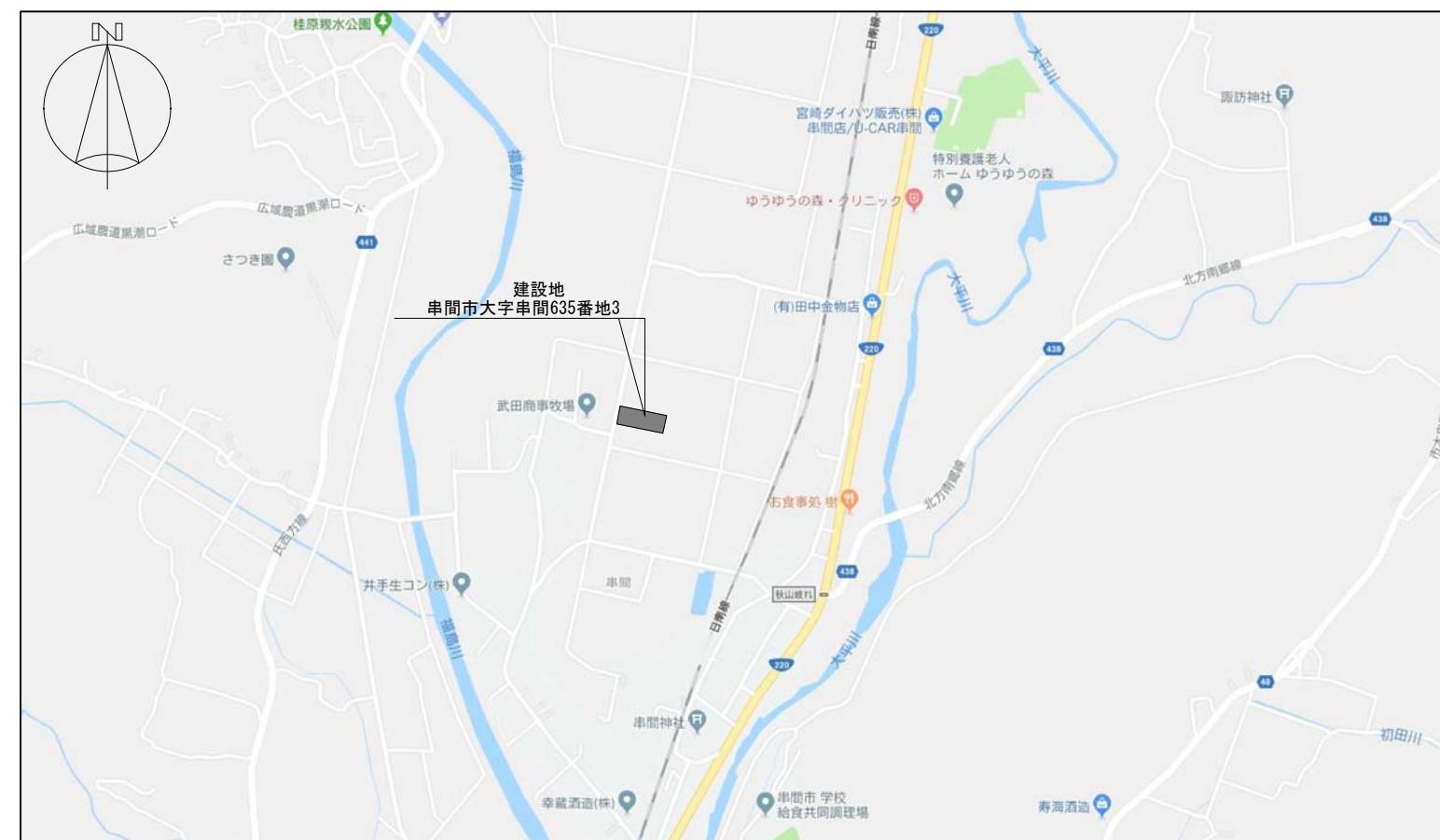
[注記] ●印は本工事に該当する事項を示す。

建築概要		特記事項											
工事名称	令和元年度 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業 武田畜産 牛舎等 新築工事	●電力引込設備工事	○電話配管配線設備工事	○避雷設備工事									
建築場所	宮崎県串間市大字串間635番地3	受電方式 ○高圧 ●低圧	工事種別 ○金属管 ○合成樹脂管 ○FEP ○ケーブルラック ○ケーブル	方式 ○突針 ○棟上導体 ○架空地線 ○独立避雷針基									
工事期間	着工 2019年 月 日 竣工 年 月 日	引込方式 電力会社 ●架空 ○地中埋設	ブレート ○新金属 ○WPO ○ステンレス ○ワイド ○樹脂	引下導線 ○鬼撃線(導線2.0×13) ○鉄筋アース ○鉄骨アース									
主体構造	RC SRC ○ L GOS P C C B W	構内 ●架空 ○地中埋設	ローテンションスタンド ○亀甲形 ○クレーン形 ○フロアダクト用 ○ボタン電話用	接地極 銅板(900×900)箇所、補助極 箇所									
建築規模	繁殖牛舎 1階建、延面積 473.0 ㎡ 育成牛舎 1階建、延面積 217.5 ㎡	○受変電設備工事	配管 ○一般電話用 ○ボタン電話用	端子盤 フロアダクト ○電話専用 ○電力兼用 ダクト WAY									
		形式 ○屋内 ○屋外 ○キューピクル ○開放型 ○屋上式 ○地上式	○埋込 ○半埋込 ○露出 ○標準品 ○製作品	○非常警報設備工事									
		主遮断器 ○OCB ○MOCBO VCB MBD ADB PFT+LBS	特記 配管には呼び線としてビニル被覆鉄線1.6m/mを挿入しておくこと。	工事種別 ○金属管 ○合成樹脂管 ○FEP ○ケーブルラック ○ケーブル									
		7.2 KV 200A 短絡電流 KA 遮断容量 MV ○電話機器設備工事	MV ○電話機器設備工事	非常警報装置 ○露出型 ○埋込型 ○防雨型									
		一 般 事 項	配電盤 ○自立フレーム ○キューピクル	電話主装置 外線回線容量 内線回線容量	○一体型 ○複合装置								
適用	本工事は電気設備技術基準、内線規程、建築基準法、消防法、有線電気通信法、その他、関係法規並びに本特記仕様書、設計図面に基づき工事を施工すること。	操作方式 ○AC ○DC ○手動 ○電動	ボタン電話親機 多機能(停電用) 台										
		○油入自冷 ○油入室素封自冷 韓式 ④種 GE-ルード 電灯 φ kVA 台 動力 φ kVA 台	ボタン電話子機 一般型 台										
手続	本工事請負者は諸官庁、電力会社、その他への必要ある手続を速かに行い、工事の竣工と同時に使用し得るように一切の手続を代行する。	変圧器 φ kVA 台 φ kVA 台	コードレス電話機 PHS										
		総容量 kVA											
疑義	設計図書の記載内容に疑義を生じた場合は、係員と協議の上、これを決定する。	高圧コンデンサ φ kVar (L = %) 台		○情報配管設備工事	メーカーリスト(本工事に使用する材料の製作所は下記のものか、若しくは同等以上の製作所のものとする。)								
		リクトル φ kVar (L = %) 台		工事種別 ○金属管+ケーブル ○金属管 ○合成樹脂管 ○FEP	電線、ケーブル 藤倉、古河、住友、大日、昭和、日立、畜舎換気扇、フルタ、ソーワテクニカ、パナソニック								
施工図、竣工図	工事の施工に際しては事前に施工図を提出して承認を受けること。 また、工事完成後は速かに竣工図を提出すること。	○自家発電機設備工事		特記 配管には呼び線としてビニル被覆鉄線1.6m/mを挿入しておくこと。	電線管及附属品 日パイ、東芝、パナソニック、浜陽、外山								
		形式 ○屋内 ○屋外 ○キューピクル ○開放型 ○屋上式 ○地上式	○ナースコール・インター・ホン設備工事	配線器具 パナソニック、神保、東芝、明光									
材料品質	本工事において使用する材料器具は、特に定める外は、JIS等JEMの規定に適合する新品の一級品とし、特に製作するものについては製作図を作成し、承認を受けた後、製作すること。なお、電気用品安全法の適用を受けるものは、型式、認可済のものを使用すること。 又、本工事に於いては、ねじ無し電線管の使用を認める。	エンジン PS rpm 気筒 ○水 空冷	通話方式 ○親子式 ○相互式 ○複合式 ○時通話式 ○互通話式	受電盤 共立電機、河村、日東、パナソニック、内外、日新									
		使用燃料 ○A重油 ○灯油 ○ディーゼル軽油	用途 ○ドアホン ○電気錠 ○連絡用 ○レンタル用 ○手術室用 ○呼出用	受電盤 共立電機、河村、日東、パナソニック、内外、日新									
		発電機 3φ 3w 220V 60Hz kVA	○テレピ 共聴視設備工事	変圧器 日立、東芝、三菱、富士、ダイヘン									
		始動方式 ○空氣始動 ○電氣始動 ○手動 ○自動	受信方式 ○VHF専用 ○UHF専用 ○BS/CS	SC, SR ニチコン、指月、日新、三菱									
		用途 ○消火栓 ○スプリンクラー ○排煙 ○エレベーター	アンテナ UHF 素子 BS/CS 110° (φ)	テレビ共聴 マスプロ、日本アンテナ、DX									
		○非常照明 ○保安照明 ○療機器 ○算関係 ○エレベーター	ブースター dB	ナースコール アイホン、ケアコム									
		●幹線設備工事		放送 T.O.A. JVCケンウッド、パナソニック									
	●印を付けたものを適用する。	工事種別 ○金属管 ○合成樹脂管 ○FEP ○ケーブル ○HIVE		火災報知機 ニッサン、ホーチキ、能美									
	●電力引込設備工事	方式 ○高圧動力 φ w V ○CT φ w V	○ITV設備工事	消火器 ヤマト、初田、宮田、モリタ									
	○受変電設備工事	●低圧動力 φ3 w3 2V0	工事種別 ○金属管+ケーブル ○金属管 ○合成樹脂管 ○FEP										
	○自家発電設備工事	○溶接機 φ w V	機器 ○本工事 ○別途工事										
	●幹線設備工事	●電灯 φ w 210 10/5	○放送設備工事										
	●動力設備工事	耐熱配線 ○金属HIV ○耐火ケーブル ○MIケーブル	増幅器 形式 ○携帯型 ○卓上型 ○ロッカ型 ○壁掛型										
	●電灯コンセント設備工事		出力 W, 出力回路 回路、入力回路 回路										
	●照明器具及び取付工事		附属装置 ○マイクロホン ○CDプレーヤ ○プログラムタイマー ○メロディク ○非常電源装置										
	○電話配管設備工事	工事種別 ○金属管 ○合成樹脂管 ○FEP ○ケーブル ○HIVE	非常放送 設置義務 ○有り ○無し										
	○情報配管設備工事	方式 ○3φ 3w 210V ○φ w V	用途 ○ローカル放送 ○非常放送 ○般、非常放送兼用										
	○テレビ共聴視設備工事	制御盤 ○壁掛 ○自立 ○ユニット ○露出 ○標準品 ○製作品											
	○放送設備工事		○電気錠設備工事										
	○音響・映像設備工事	制御方式											
	○トイレ呼出表示設備工事	表示示											
	○ITV設備	電動機の接地 ○単独接地 ●共通母線 ○金属管接地	工事種別 ○金属管 ○合成樹脂管 ○FEP ○ケーブルラック ○ケーブル										
	○自動火災報知設備工事												
	○非常警報設備工事												
	○避雷設備												
	○消火器設備												
	工事区分												
項目	建築 電気 空調 生活 他 項目	建築 電気 空調 生活 他 項目	特記	配管には呼び線としてビニル被覆鉄線1.6m/mを挿入しておくこと。									
キューピクル基礎工事	○○○○○	空調機室内・室外の渡り配線工事	電灯 φ1 w2 10V φ1 w2 2V0	○機械警備設備工事									
キューピクルフェンス工事	○○○○○	電話・情報設備機器納入・取付	コンセント φ1 w2 10V φ1 w2 2V0	工事種別 ○金属管 ○合成樹脂管 ○FEP ○ケーブルラック ○ケーブル									
機器の床上基礎工事	○○○○○	機械警備機器納入・取付・配線工事	点滅器 300 150 連鎖 ハイ角連鎖 フルカラー連用	特記 配管には呼び線としてビニル被覆鉄線1.6m/mを挿入しておくこと。									
天井開口及びボード開口	○○○○○	電波障害調査	コンセント 125V 150 連鎖 ハイ角連鎖 フルカラー連用	○音響・映像設備工事									
天井開口の補強	○○○○○	○連続調光(LX:下限3%以下) ○連続調光(LZ:下限5%以下)	プレート ○新金属 ○WPO ○ステンレス ○ワイド ○樹脂	工事種別 ○金属管 ○合成樹脂管 ○FEP ○ケーブルラック ○ケーブル									
梁貫通スリーブの補強	○○○○○	受電後引渡しまでの基本電力料金	光源色 ○昼白色 ○白色 ○温白色 ○電球色 ○その他( )	機器 ○壁掛型 ○自立型 ○複合型 ○報 ○排煙									
埋込ボックスの補強	○○○○○	電力・電話・情報引込み工事負担金	電圧 100V 200 ● 100 / 200V 兼用 Hz	受信機 HZ									
居室内換気扇の供給取付工事	○○○○○		安定器 ○一般形 ○低電力形 ○低始動電流形	副受信機 ○有り(回線) ○無し									
空調、全熱交換機スイッチの納入・取付	○○○○○		○高効率 ○低効率 200V 60Hz	総合盤 ○補助散水栓組込 ○独設置形 ○置形									
空調、全熱交換機スイッチの配線工事	○○○○○		ランプ ○一般形 ○リフレクタ形 ○バラストレス形	主装置 ○火災通報主装置 NTT回線に接続									
別途工事			○LED 白熱灯・螢光灯 ○蓄電池内蔵形 ○蓄電池別置形 ○蓄電池+発電機	子機 ○火災通報電話機 壁掛型									
			配線工事 ○金属管 HIV ○耐火ケーブル ○一般配線兼用	○消火器設備工事									
			点滅 ○一般照明兼用 ○非常時専用	消火器 ○ABC10型 ○設置台共 ○壁埋込BOX共									
			誘導灯 ○A級 ○B級(BL型) ○B級(BH型) ○C級 ○誘導標識										
			非常電源 ○内蔵 ○別置										

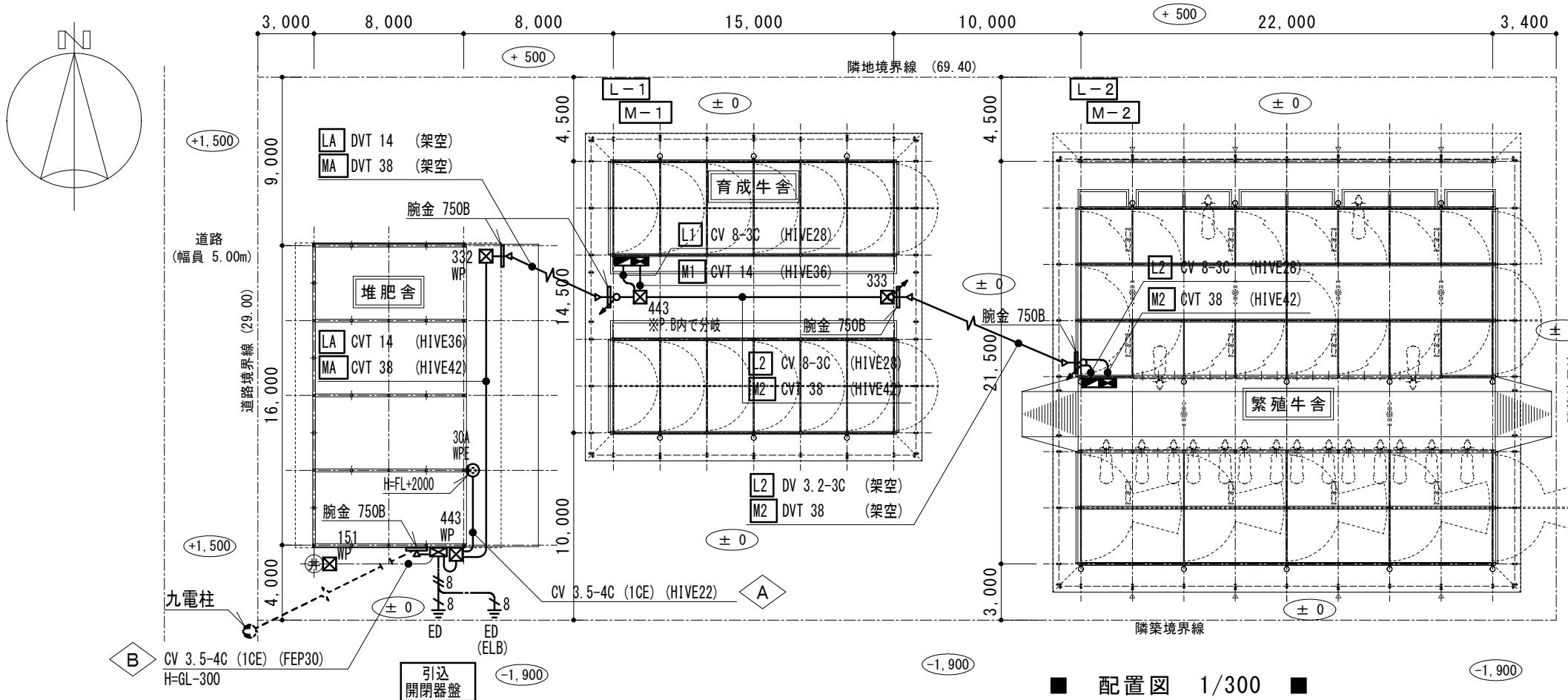


## 凡例

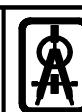
記号	名称	備考
■	引込開閉器盤	
■	動力盤	
■	電灯分電盤	
30A WPE	防雨引掛接地コンセント 3P30A×1, 接地極付	露出BOX : 1SSB (VE22・1方出)
■ XXX	ブルボックス(樹脂製) x x x : サイズを示す。W0×H0×D0 ※特記なきは、W150×H100×D150を示す。	WPは防水型
△	エントランスキャップ(VE)	
±	接地工事	ED : D種 ED (ELB) : 漏電遮断器用
記号	名称	保護管
—/— 8	I V 8sq × 1	地中埋設配線 (HIVE16)
—//— 8	I V 8sq × 2	地中埋設配線 (HIVE22)



案内図



記事



アトリエ Iku (SHOW)  
一級建築士事務所  
宮崎県知事登録第D2281号  
一級建築士大臣登録第206727号 橋口芳弘

COPY

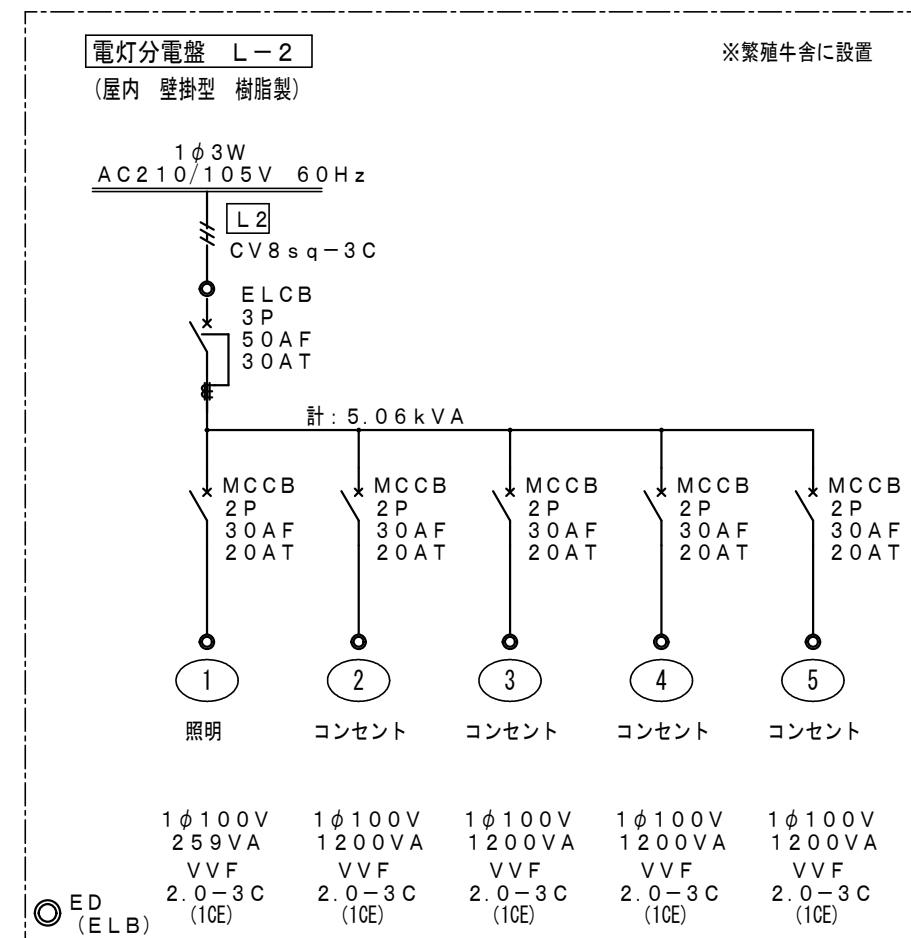
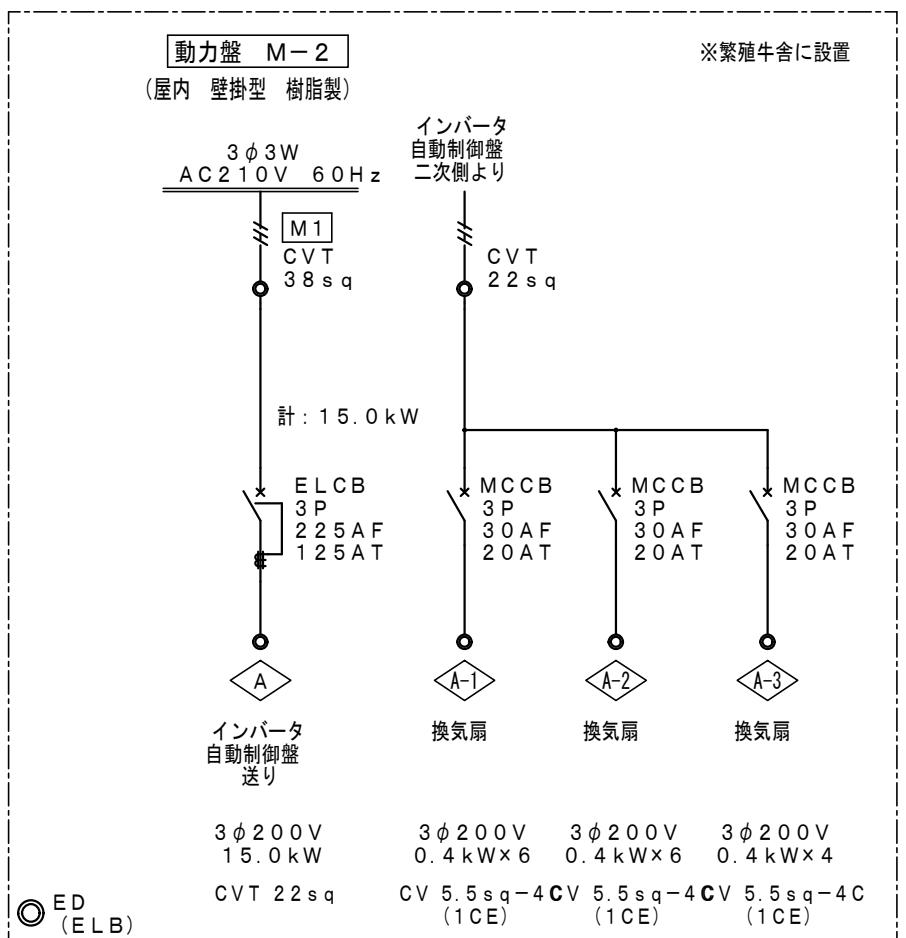
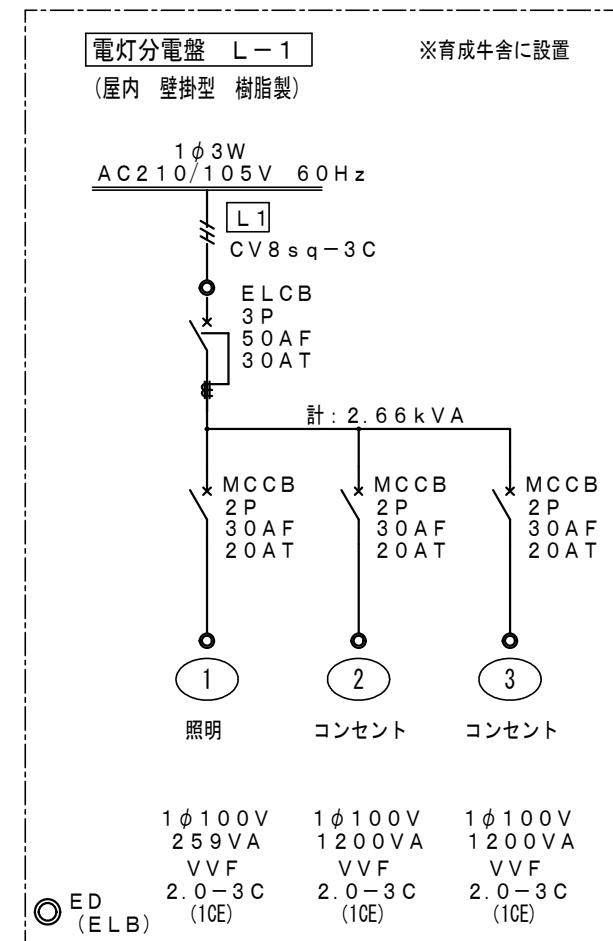
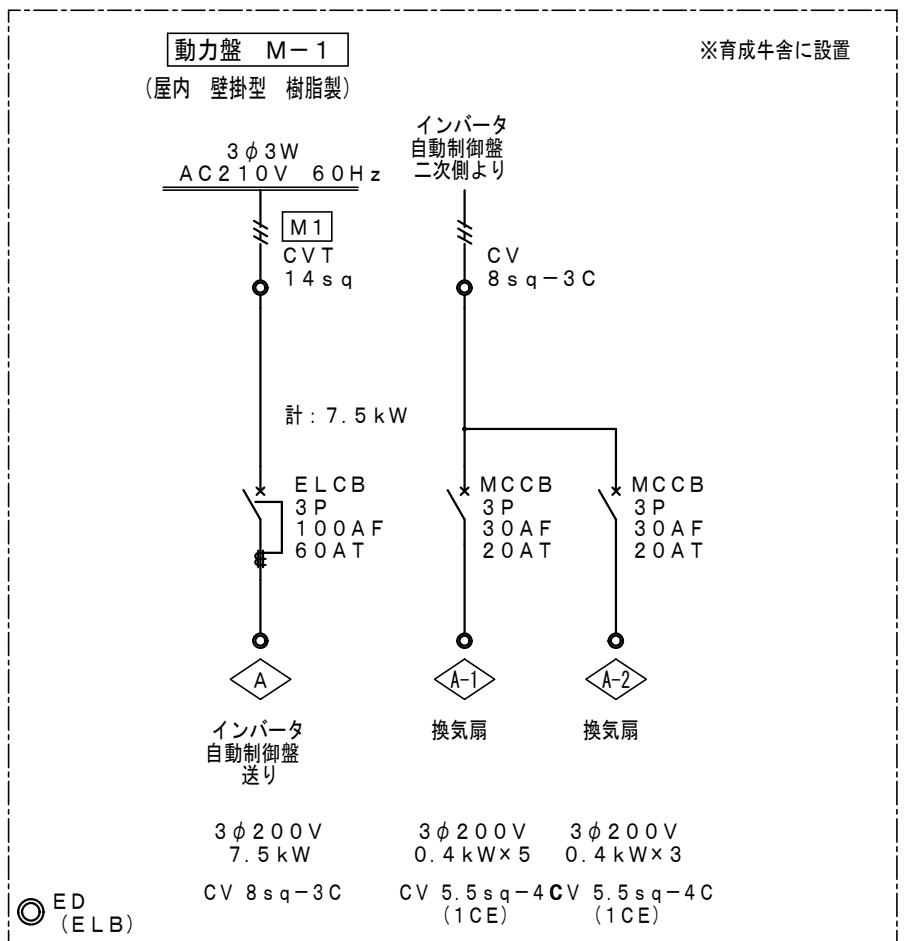
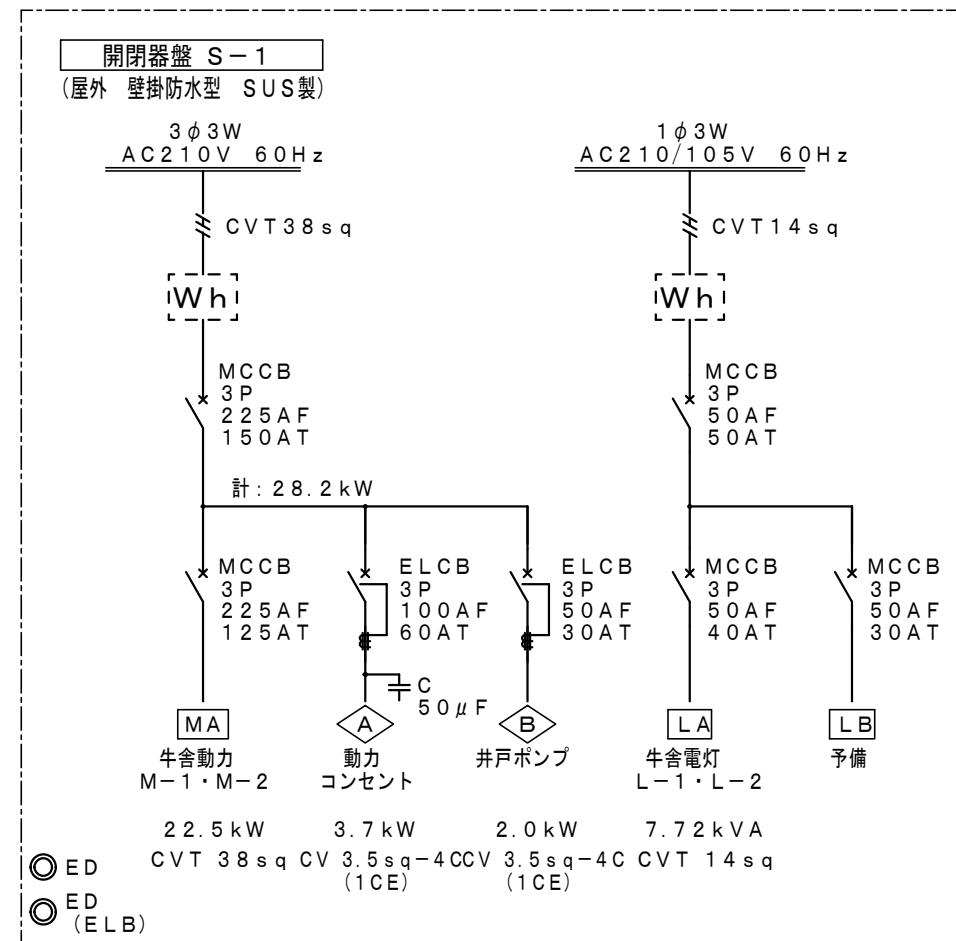
DRAW

DESIGN

CHECK

SCALE  
1/300

DATE



記事



アトリエ 斧 (SHOW)  
一級建築士事務所  
宮崎県知事登録第D2281号  
一級建築士大臣登録第206727号 橋口 芳弘

COPY  
DRAW

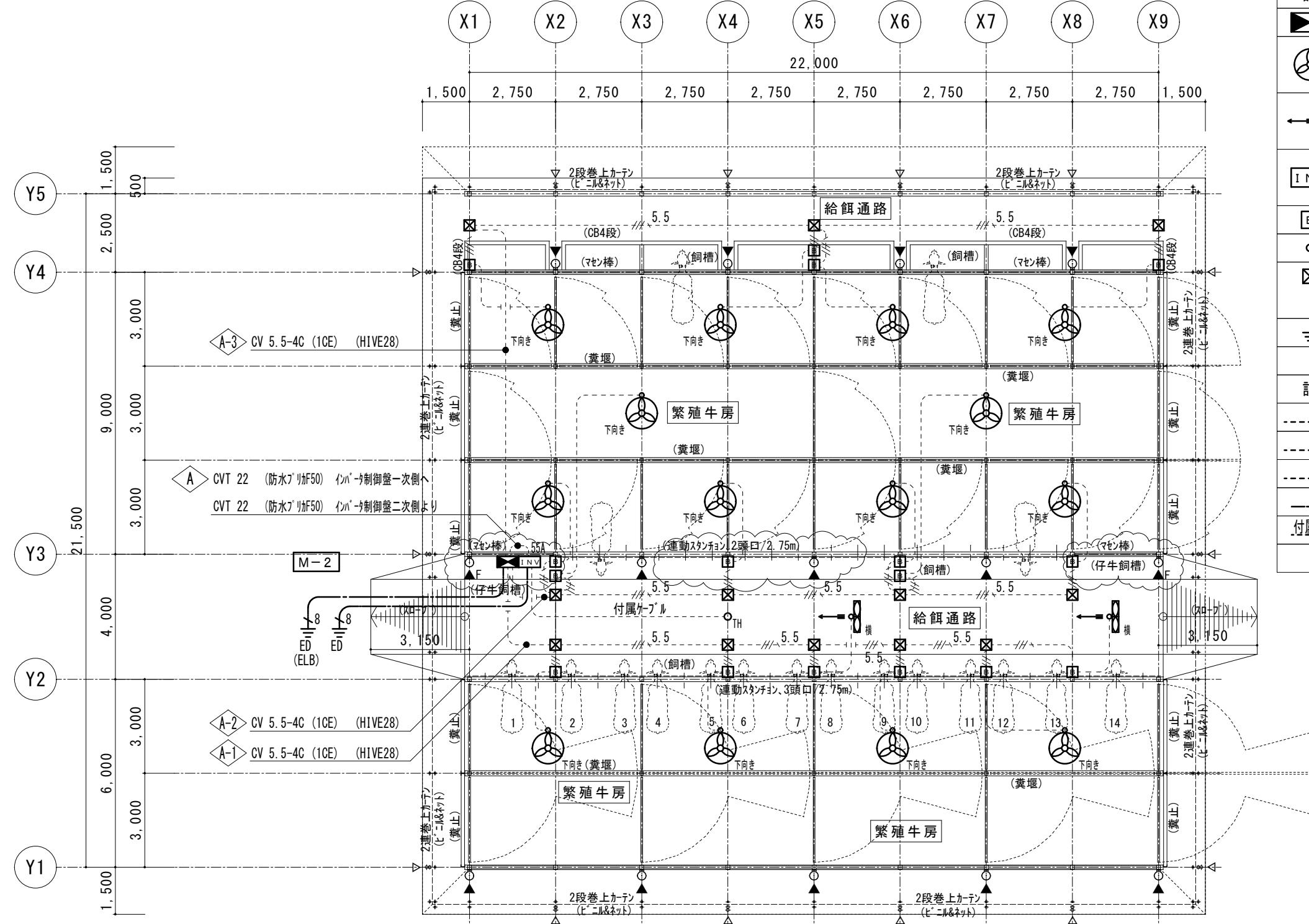
DESIGN  
CHECK

SCALE  
DATE

N.S  
2019-09

TITLE 令和元年度畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業  
武田畜産牛舎等新築工事  
ITEM 盤負荷リスト

No. E-03



■ 平面図 1/150 ■

記 事		 アトリエ Ei (SHOW) 一級建築士事務所 宮崎県知事登録 第 D2281 号 -級建築士大臣登録 第 206727 号 橋口 芳弘	COPY	DESIGN	SCALE 1/150	TITLE 令和元年度 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業 武田畜産 牛舎等 新築工事	No. E - 0 4
			DRAW	CHECK	DATE 2019-09	ITEM 【繁殖牛舎】 動力設備平面図	

## 凡例

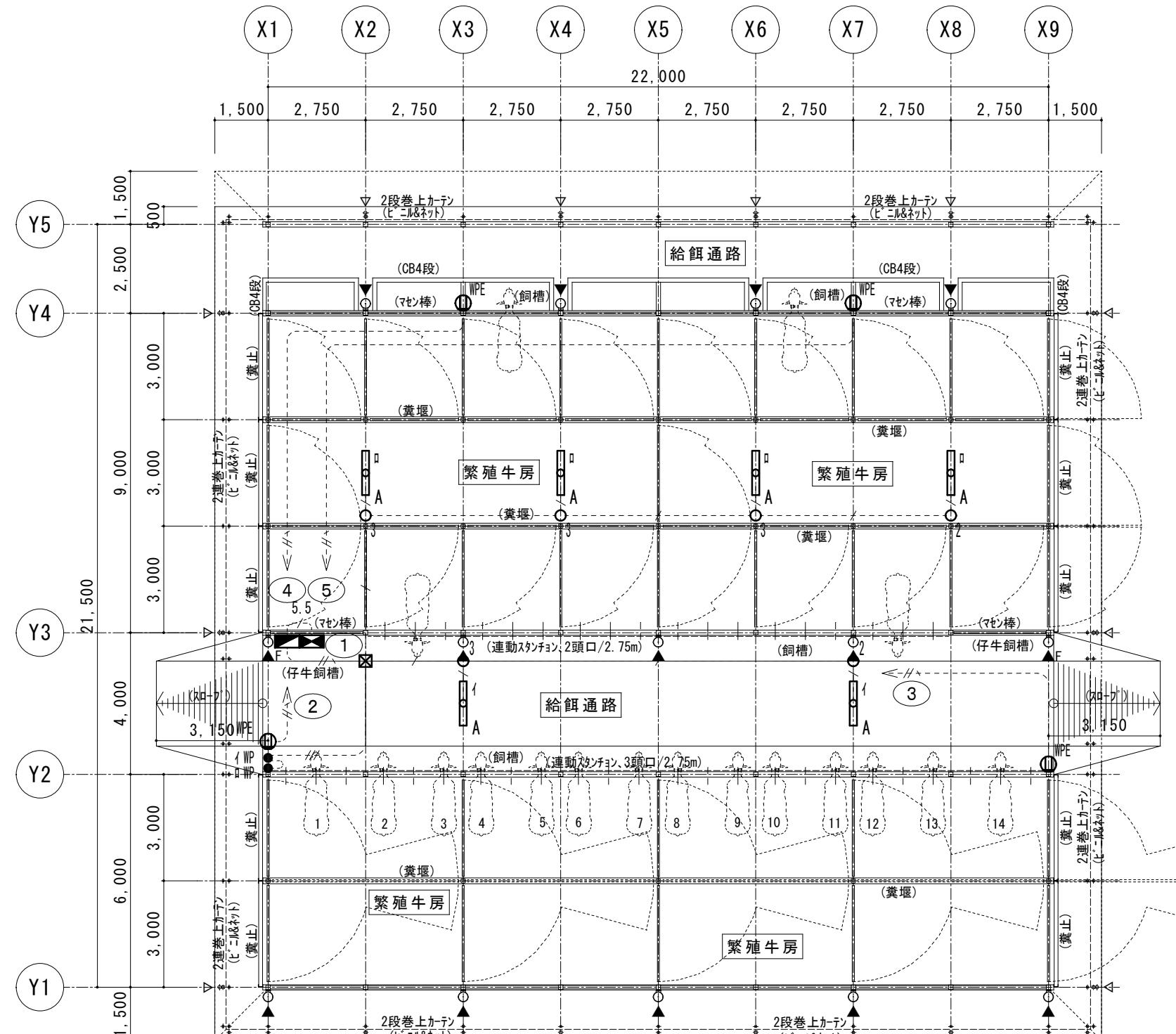
記号	名 称	備 考
■	電灯分電盤	
▲	動力盤	
A	LED 照明器具 直付 反射笠付 6900lm	露出BOX : 1SSB (VE22・1方出又は2方出)
● WP	角型防雨スイッチ 1P15A×1	露出BOX : 1SSB (VE22・1方出)
① WPE	防水コンセント 2P15AE×2, ET付	露出BOX : 1SSB (VE22・1方出)
☒ XXX	ブルボックス(樹脂製) x x x : サイズを示す。W0×H0×D0 ※特記なきは、W150×H100×D150を示す。	WPは防水型
O <sub>2</sub>	丸型露出ボックス 2方出 (VE22)	
O <sub>3</sub>	丸型露出ボックス 3方出 (VE22)	

記号	名 称	保護管
- - -	VVF 1.6-2C 行-アーチ止め	(HIVE16)
- - -	VVF 1.6-3C 行-アーチ止め	(HIVE22)
- - -	VVF 1.6-3C (1CE) 行-アーチ止め	(HIVE22)
- / -	VVF 2.0-3C (1CE) 行-アーチ止め	(HIVE22)
— 5.5	IV 5.5sq×1 地中埋設配管	(HIVE16)

照明器具姿図 (参考)

A	LED 照明器具 直付型 40形 6900lm 反射笠付
消費電力: 43.1W	

一般タイプ、6900lmタイプ  
消費電力43.1W、定格出力型、電圧100~242V  
本体：鏡板(白色粉末塗装)  
ライトバー(カバー)：ホリカーボネット(乳白)  
光源寿命40000時間(光束維持率85%)  
昼白色(5000K)、Ra83  
電源装置はライトバー側に内蔵  
パナソニック直付XLX460KENT LE9相当品

■ 平面図 1/150 ■

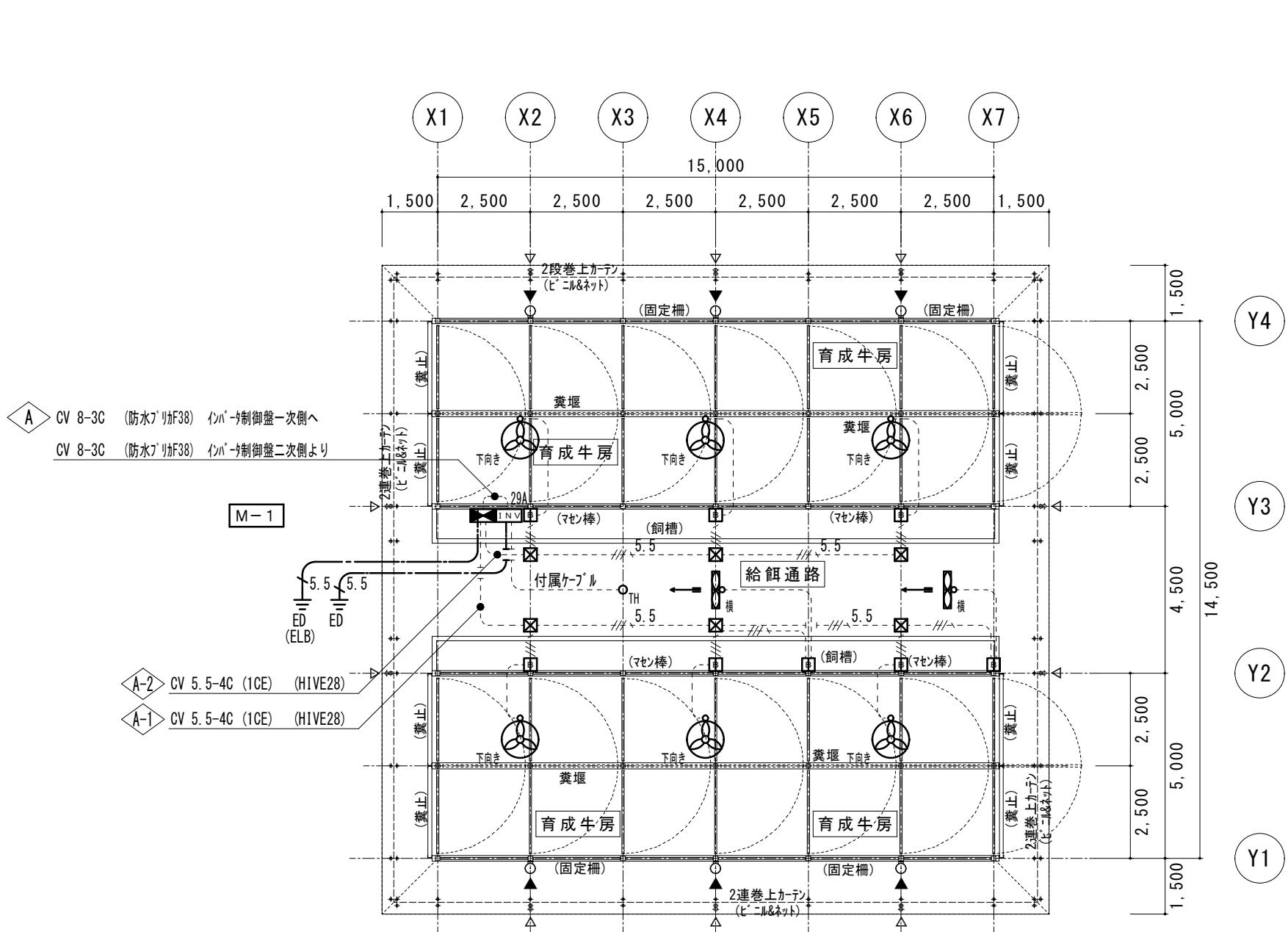
M-2

L-2



## 凡例

記号	名 称	備 考
■	動力盤	
○ 下向き	畜舎換気扇 3φ 200V 0.4kW 羽径1.0m (ガード無し)	パナソニック NK-14CZB
○ 横	畜舎換気扇 3φ 200V 0.4kW 羽径1.0m (ガード無し) ※風向き 東→西	パナソニック NK-14CZB
I N V 29A	自動インバータ制御盤 (一次側ノイズフィルター共)	パナソニック NK-VTB29-60 ノイズフィルター RNFTC50-20
■	ケースブレーカ MCCB 3P 30AF/2.5A 0.4kW	パナソニック BCD 3025K相当品
○ TH	温度センサー (インバータ制御盤付属品)	取付位置は打合せ
■ XXX	ブルボックス (樹脂製) x x x : サイズを示す。W0×H0×D0 ※特記なきは、W150×H100×D150を示す。	WPは防水型
±	接地工事	E D : D種 ED (ELB) : 漏電遮断器用
記号	名 称	保護管
---	VCT 2sq-4C (1CE)	露出配線 (HIVE22)
-HA-	CV 3.5sq-4C (1CE)	露出配線 (HIVE22)
-HA 5.5	CV 5.5sq-4C (1CE)	露出配線 (HIVE28)
— 5.5 —	IV 5.5sq × 1	地中埋設配管 (HIVE16)
付属ケーブル	温度センサー付属ケーブル	露出配線 (HIVE16)



■ 平面図 1/150 ■

記事



アトリエ丘 (SHOW)  
一級建築士事務所  
宮崎県知事登録第D2281号  
一級建築士大臣登録第206727号 橋口芳弘

COPY  
DRAW

DESIGN  
CHECK

SCALE  
DATE

1/150  
2019-09

TITLE 令和元年度 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業  
武田畜産牛舎等新築工事  
ITEM 【育成牛舎】 動力設備平面図

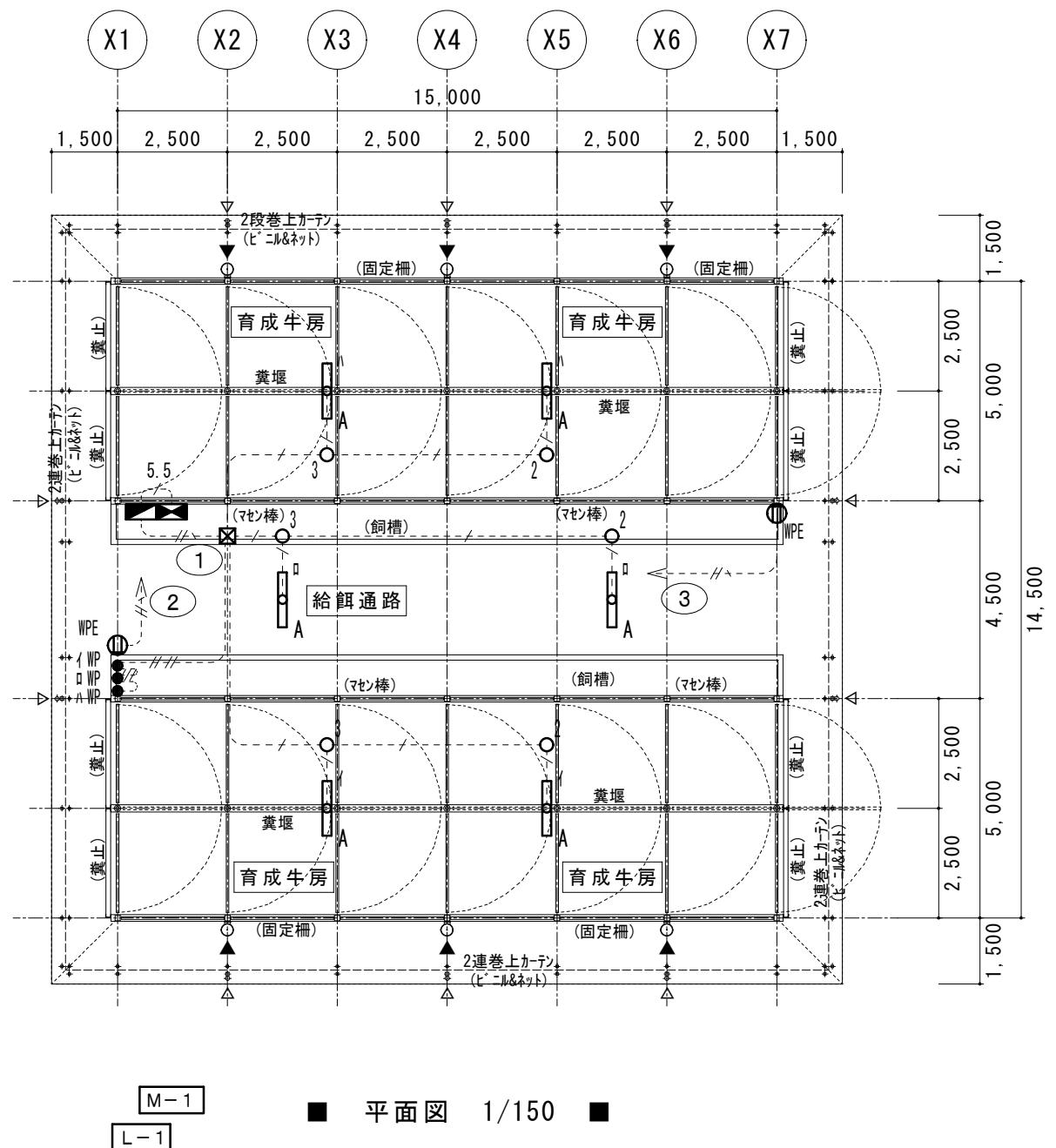
No. E-06

## 凡例

記号	名 称	備 考
■	電灯分電盤	
■	動力盤	
A	LED照明器具 直付 反射笠付 6900lm	露出BOX: 1SSB (VE22・1方出又は2方出)
● WP	角型防雨スイッチ 1P15A×1	露出BOX: 1SSB (VE22・1方出)
① WPE	防水コンセント 2P15AE×2, ET付	露出BOX: 1SSB (VE22・1方出)
☒ XXX	ブルボックス(樹脂製) x x x : サイズを示す。W0×H0×D0 ※特記なきは、W1500×H1000×D150を示す。	WPは防水型
O <sub>2</sub>	丸型露出ボックス 2方出 (VE22)	
O <sub>3</sub>	丸型露出ボックス 3方出 (VE22)	

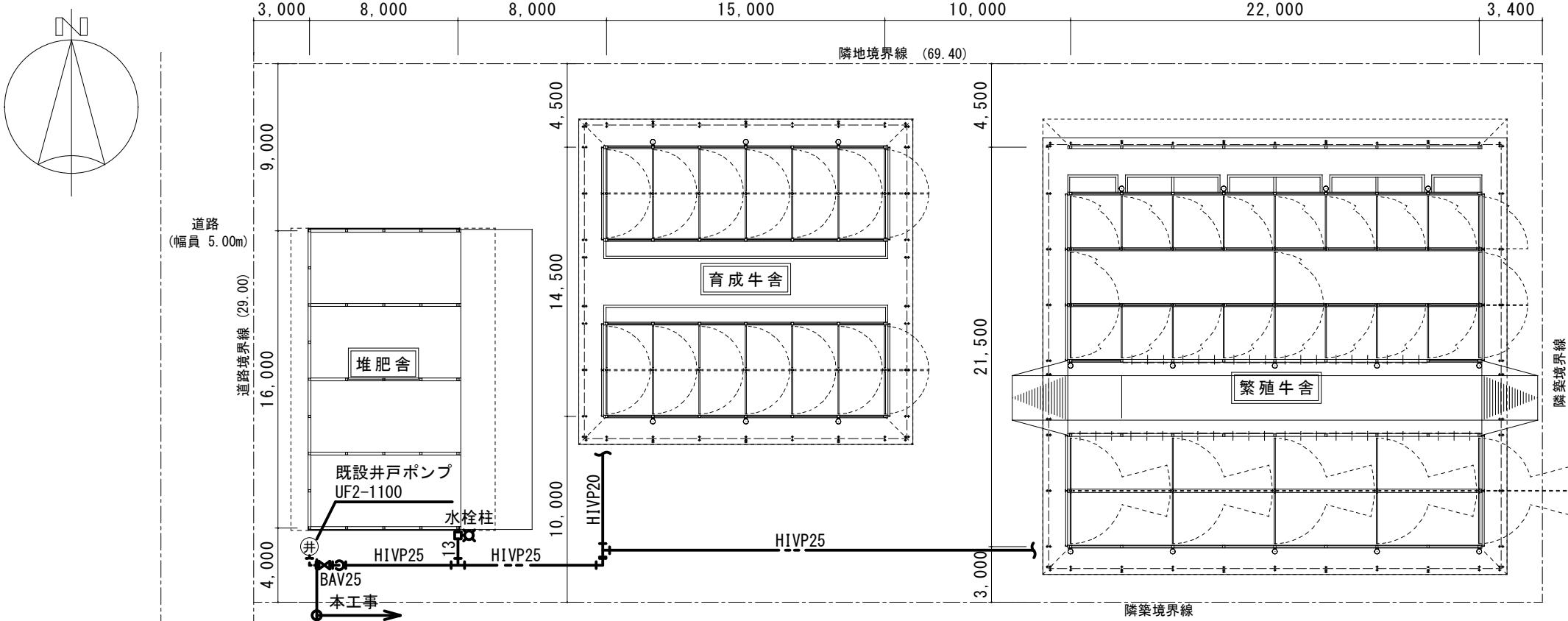
記号	名 称	保護管
-----	VVF 1.6-2C	ステープル止め (HIVE16)
-#--	VVF 1.6-3C	ステープル止め (HIVE22)
-##-	VVF 1.6-2C×2	ステープル止め (HIVE22)
-+--	VVF 1.6-3C (1CE)	ステープル止め (HIVE22)
-/-	VVF 2.0-3C (1CE)	ステープル止め (HIVE22)
— 5.5 —	IV 5.5sq×1	地中埋設配管 (HIVE16)

照明器具姿図 (参考)	
A	LED照明器具 直付型40形
	6900lm 反射笠付
消費電力: 43.1W	
 <p>一般タイプ、6900lmタイプ 消費電力43.1W、定格出力型、電圧100~242V 本体: 鋼板(白色粉末塗装) ライトバー(カバー): ポリカーボネート(乳白) 光源寿命40000時間(光束維持率85%) 昼白色(5000K)、Ra83 電源装置はライトバー側に内蔵 パナソニック直付XLX460KENT LE9相当品</p>	





■ 案内図 ■



■ 配置図 1/300 ■

記事	



アトリエ  
EIKI (SHOW)  
一級建築士事務所  
宮崎県知事登録 第 D2281 号  
一級建築士大臣登録 第 206727 号 橋口 芳弘

COPY

DRAW

DESIGN

CHECK

SCALE

DATE

1/300

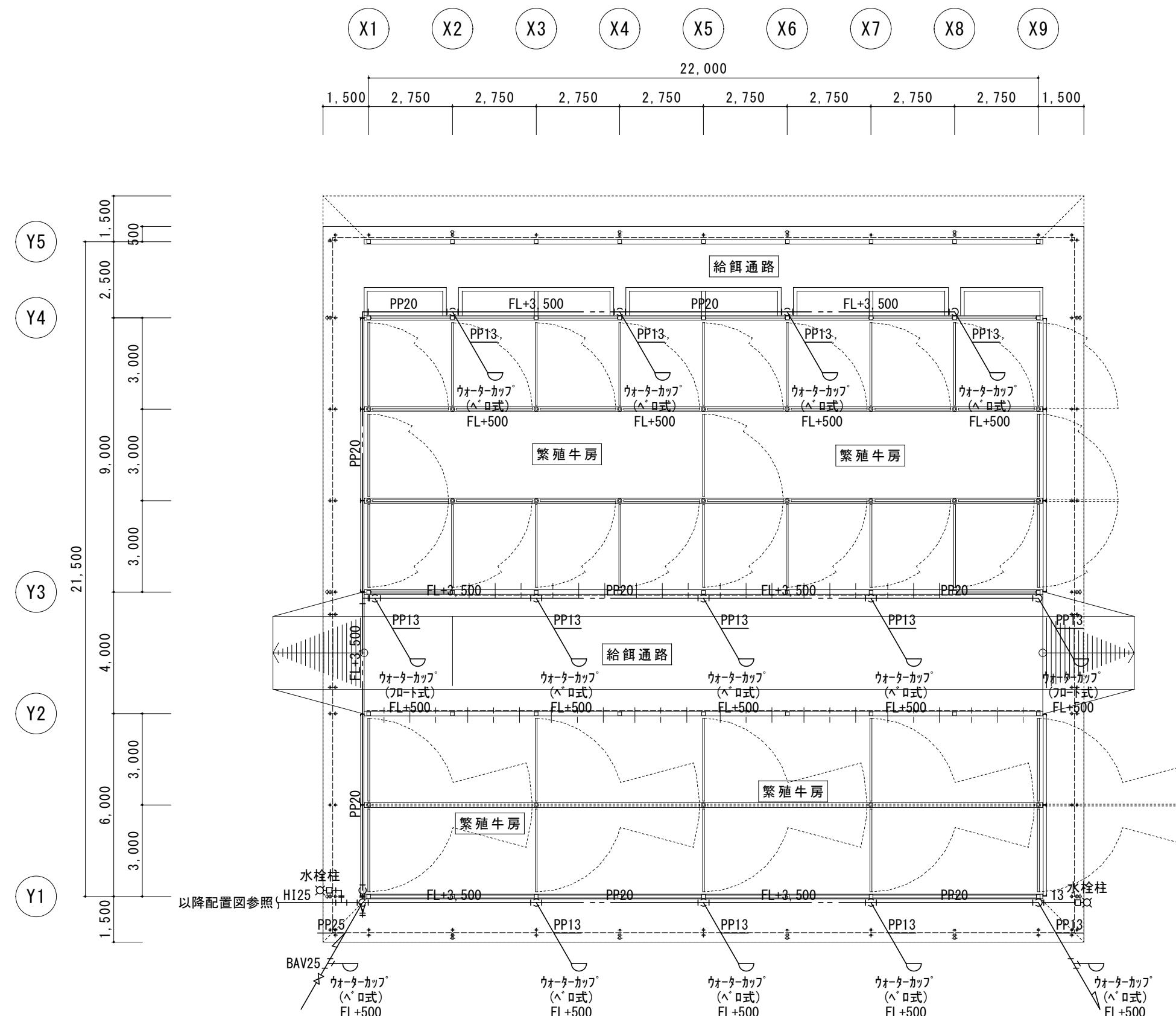
2019-09

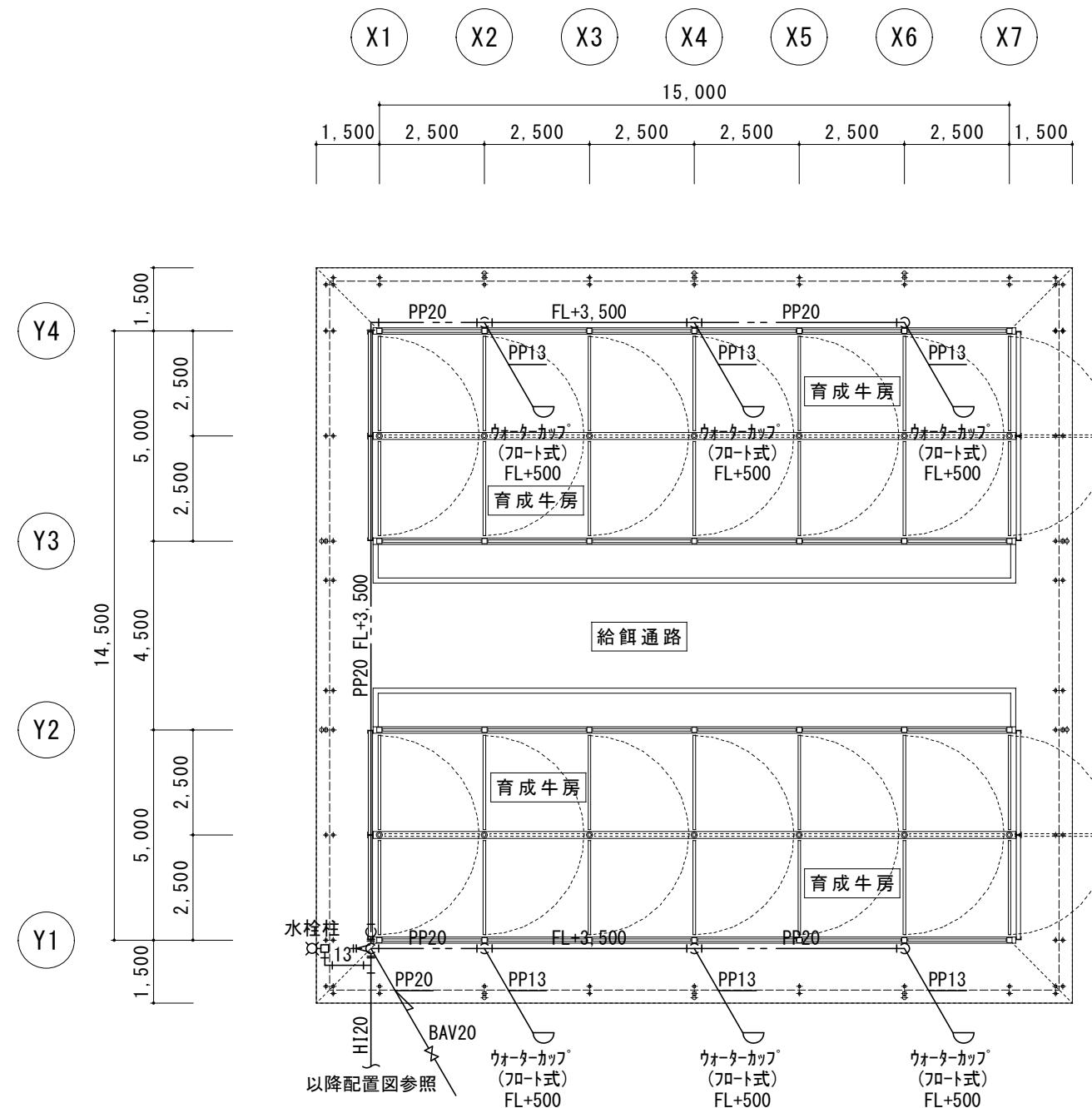
TITLE 令和元年度 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業

武田畜産 牛舎等 新築工事

ITEM 給水設備 案内図、配置図

No. P - 0 1





■ 平面図 1/150 ■

